

40.福岡県

目次

福岡県	40	-	4
1. 福岡・糸島医療圏	40	-	10
2. 粕屋医療圏	40	-	16
3. 宗像医療圏	40	-	22
4. 筑紫医療圏	40	-	28
5. 朝倉医療圏	40	-	34
6. 久留米医療圏	40	-	40
7. 八女・筑後医療圏	40	-	46
8. 有明医療圏	40	-	52
9. 飯塚医療圏	40	-	58
10. 直方・鞍手医療圏	40	-	64
11. 田川医療圏	40	-	70
12. 北九州医療圏	40	-	76
13. 京築医療圏	40	-	82

本書の見方

・「偏差値」について

各医療圏の人口当たり医療資源量の相対的な位置づけを知るために、偏差値を用いている。偏差値の計算方法は以下の通り。図表では偏差値の高低をセルの色分けで表示。

$$\text{偏差値} = 50 + 10 \times \frac{(\text{A医療圏のBの値}) - (\text{Bの全国平均値})}{(\text{Bの標準偏差})}$$

※全国平均とA医療圏のBという指標の値が一致すると偏差値が50になるよう、あえて344医療圏の平均でなく、全国平均値を用いて計算している。正確に計算した偏差値とはやや異なるが、指標が全国平均値と一致すると偏差値は50となり、その地域の指標が全国平均より高いか低いかを判断しやすい。

偏差値	65以上	55～65	45～55	35～45	35未満
セルの色					

・出所情報

図表1	人口、65歳以上人口、75歳以上人口(2015年)、高齢者世帯	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
図表2	要介護者数、要介護3以上人数	平成28年度介護保険事業状況報告(年報)
図表5、6	人口の推移	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月及び日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 を基に各年1月の推計値を算出
	需要の推移	必要なベッド数=(65～74歳人口)×(65～74歳の高齢者施設利用率)+(75～84歳人口)×(75～84歳の高齢者施設利用率)+(85歳以上人口)×(85歳以上の高齢者施設利用率)として算出
図表7	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計
図表7	介護保険施設定員(病床)数	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計
図表7	高齢者住宅定員数	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住(特定施設)の合計
図表8	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表9	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム	
図表10	サ高住(特定施設)、サ高住(非特定施設)	平成30年6月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表11	介護職員数(介護施設等)、看護師数(施設)	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表14	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月
図表15	回復期病床数	平成29年度病床機能報告 平成29年7月
図表15	地域包括ケア病床数	平成30年5月地方厚生局
図表17	訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハ、訪問入浴、短期入所、居宅介護支援	平成30年6月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウェルネスが市区町村別に集計したもの

都道府県別の地図および医療圏別の図表13、図表16の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1666号)

福岡県

■ 人口動態と要介護者の現状

福岡県は、人口5,101,556人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は1,321,168人、高齢化率(65歳以上人口割合)は26%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は179,951人、要介護認定率は14%と全国平均レベルである。うち要介護3以上は82,368人、要介護者数に占める割合は46%と低い。

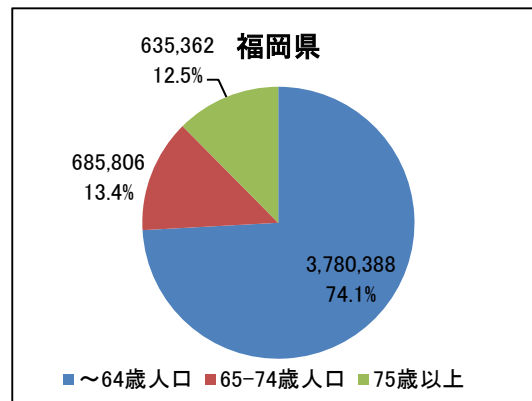
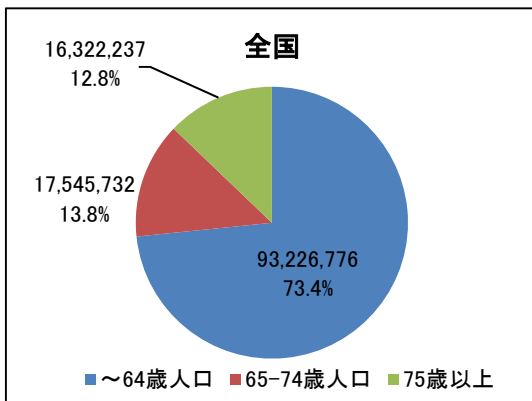
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
福岡県	5,101,556	1,321,168	635,362	26%	49	712,219	33%	37%

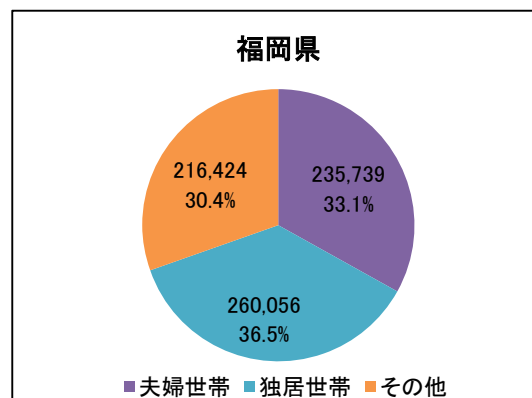
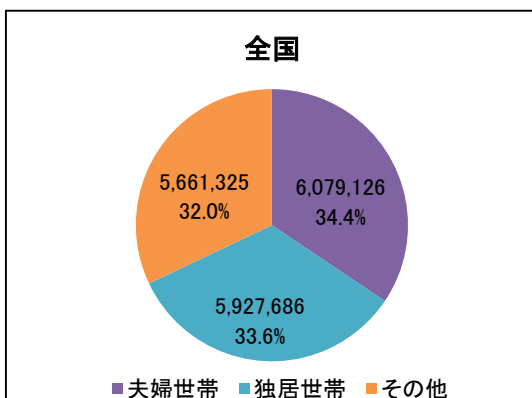
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
福岡県	179,951	14%	51	82,368	46%	43

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



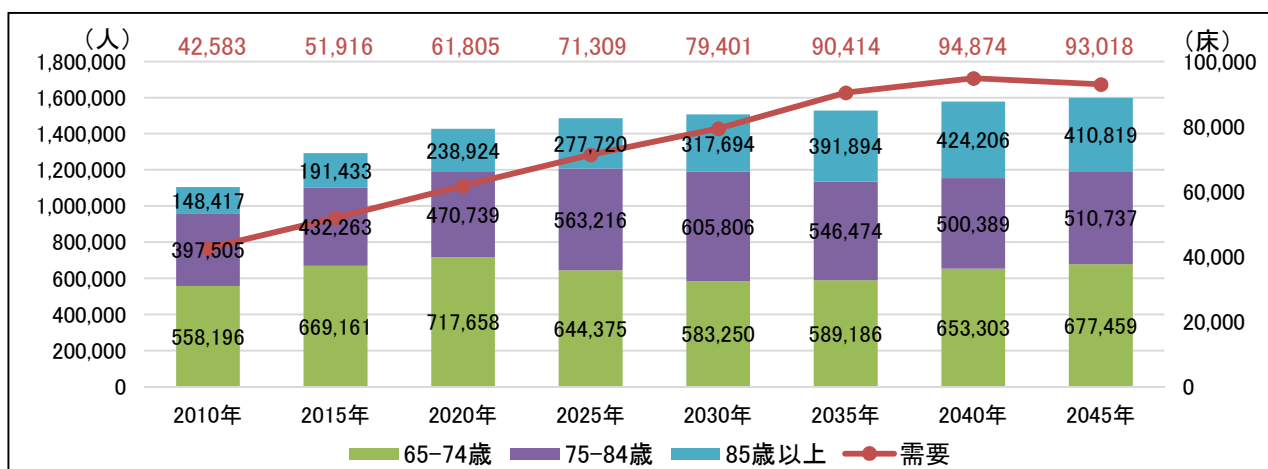
福岡県

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、福岡県の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が623,696(432,263+191,433)人であるが、ピーク時の2035年には938,368人まで増加すると推計され、2015年比50%増加する。

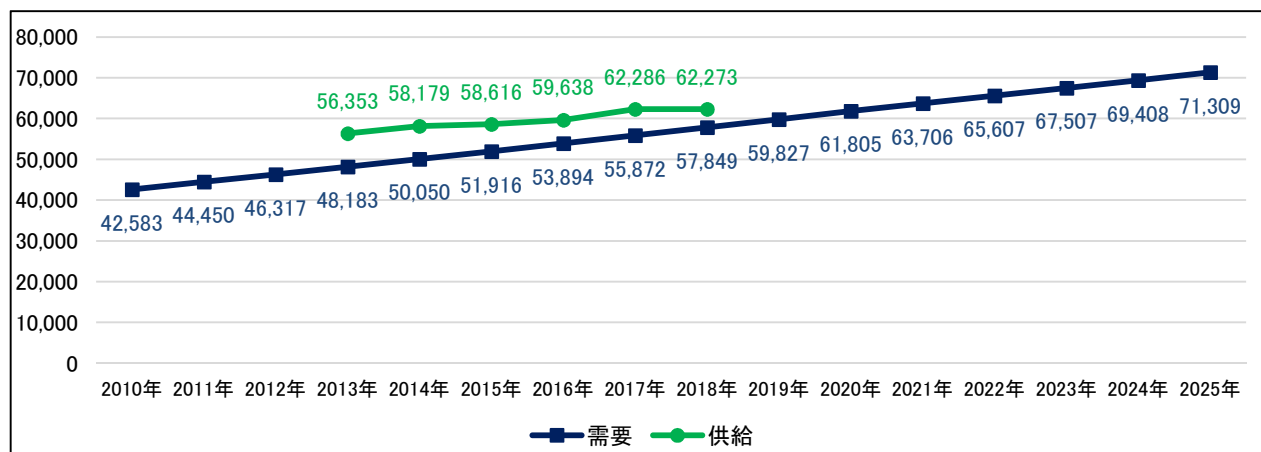
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、福岡県の施設需要のピークは2040年の94,874人であり、2015年の51,916人と比べ、83%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、福岡県の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要50,050人、供給58,179人と「供給>需要(+16%)」である。2018年は需要57,849人、供給62,273人と「供給>需要(+8%)」である。福岡県の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年のやや余裕がある状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



福岡県

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、64,820人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が41,553床(偏差値53)、高齢者住宅等が23,267床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム54、軽費ホーム51、グループホーム56、サ高住(特定施設)46である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値54と全国平均レベルをやや上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値56と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
福岡県	64,820	4.4%	102	57	41,553	4.1%	65	53	23,267	4.8%	37	56

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
福岡県	14,461	3.9%	23	51	23,231	4.0%	37	51	3,861	6.5%	6.1	56

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
福岡県	11,943	5.0%	18.8	54	1,033	4.4%	1.6	51	9,932	4.9%	15.6	56

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

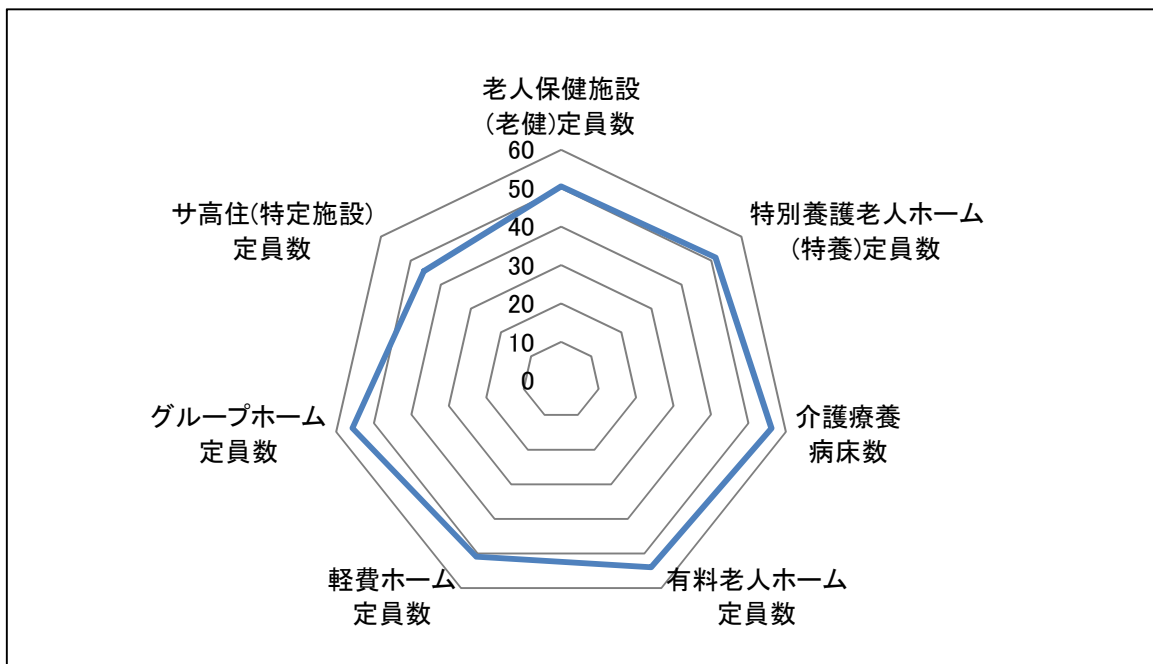
二次医療圏	サ高住(特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
福岡県	359	1.6%	0.6	46	209,785		12.9	(6.8)
					8,334	4.0%	13.1	50

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

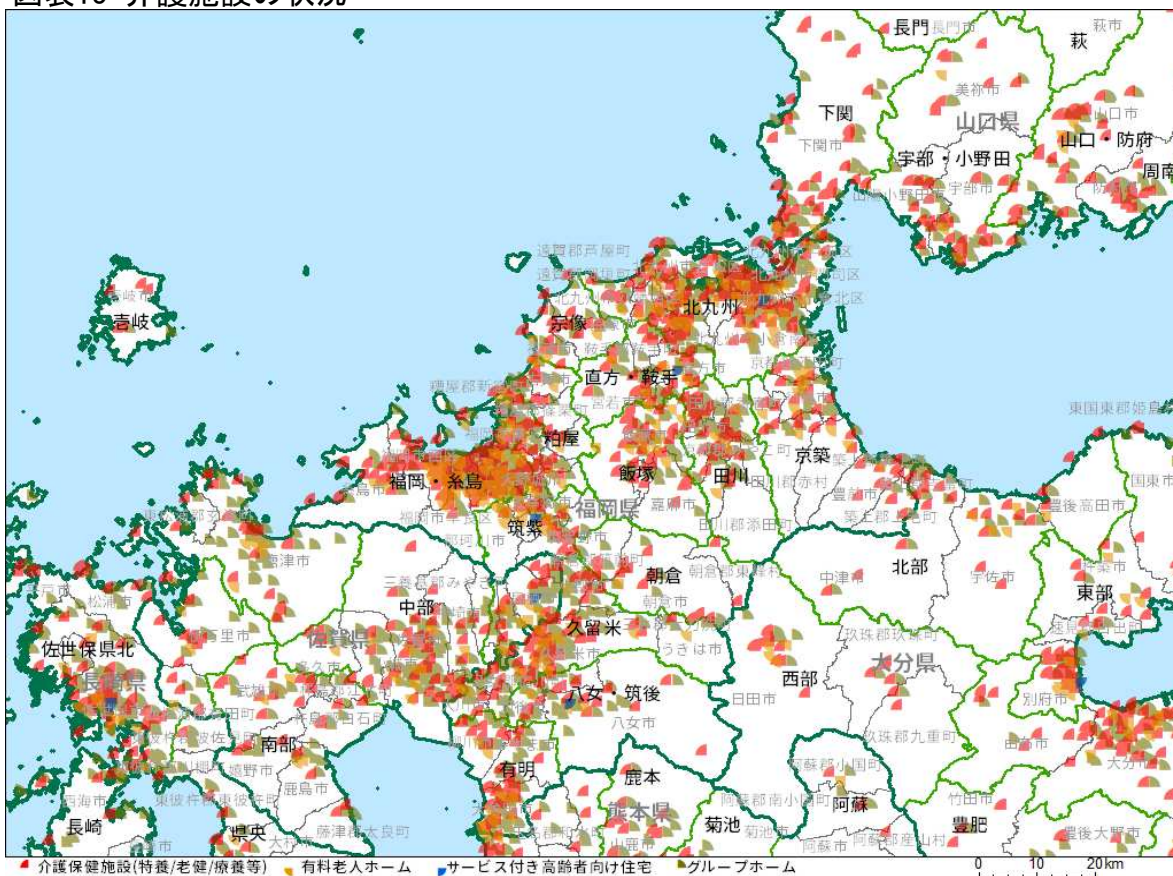
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
福岡県	52,593	4.1%	83	54	5,476	4.6%	8.6	56

福岡県

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



福岡県

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値57と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値60と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値56と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値60と多い。

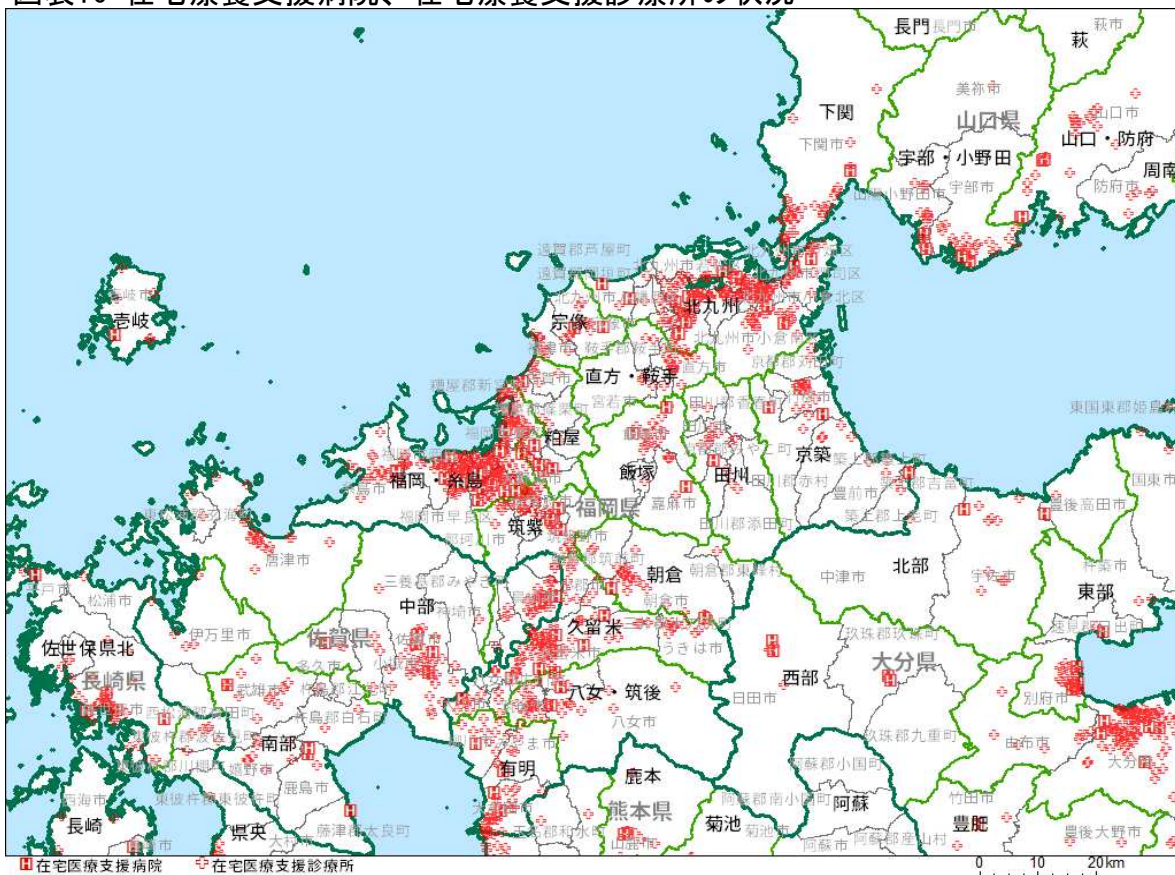
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
福岡県	83	6.0%	0.1	57	818	5.8%	1.3	60

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
福岡県	4,689	5.8%	91.9	56	6,024	8.2%	118.1	60

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



福岡県

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値54とやや多く、訪問看護が偏差値57と多く、通所介護が偏差値56と多い。通所リハが偏差値61と多く、訪問入浴が偏差値45とやや少なく、短期入所が偏差値48と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値51と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値51と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値51と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値57と全国平均レベルを上回る。

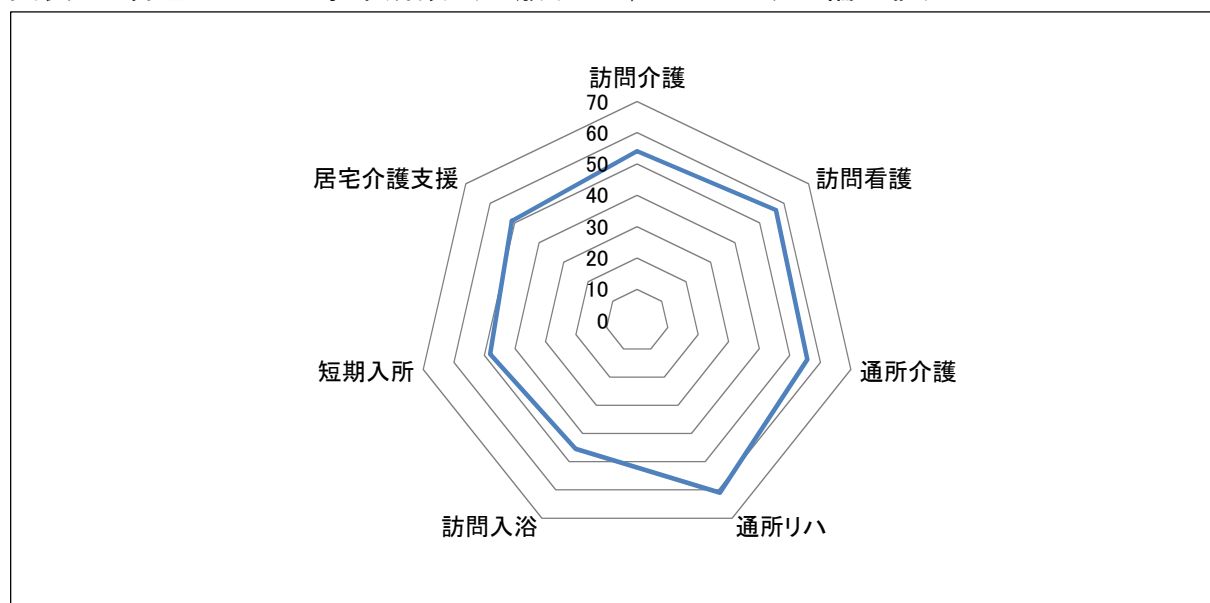
図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
福岡県	1,517	4.5%	2.4	54	521	4.7%	0.8	57	2,120	4.7%	3.3	56
二次医療圏	通所リハ	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
福岡県	442	5.9%	0.7	61	49	2.5%	0.1	45	378	3.6%	0.6	48
二次医療圏	居宅介護支援	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	40,664		2.5	(0.6)								
福岡県	1,623	4.0%	2.6	51								

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
福岡県	49,212	4.0%	77.5	51	8,904	4.0%	14.0	51	2,454	4.8%	3.9	57

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



福岡・糸島

■ 人口動態と要介護者の現状

福岡・糸島は、人口1,635,156人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は344,294人、高齢化率(65歳以上人口割合)は21%と低い。

要介護数(認定者)は44,455人、要介護認定率は13%とやや低い。うち要介護3以上は20,456人、要介護者数に占める割合は46%と低い。

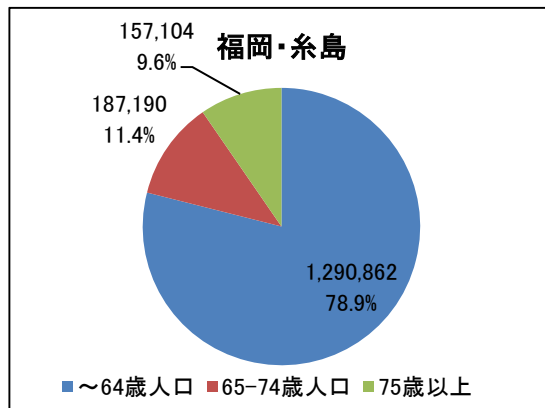
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
福岡・糸島	1,635,156	344,294	157,104	21%	39	201,507	30%	41%

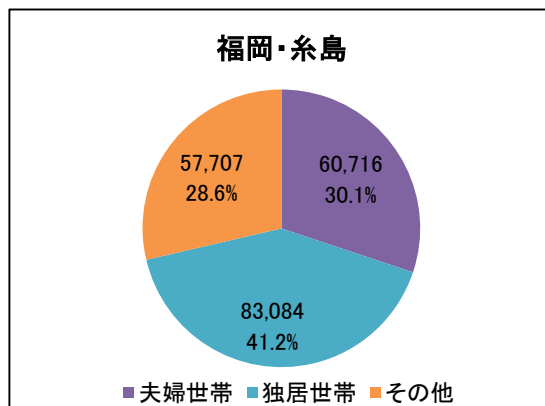
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
福岡・糸島	44,455	13%	47	20,456	46%	44

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



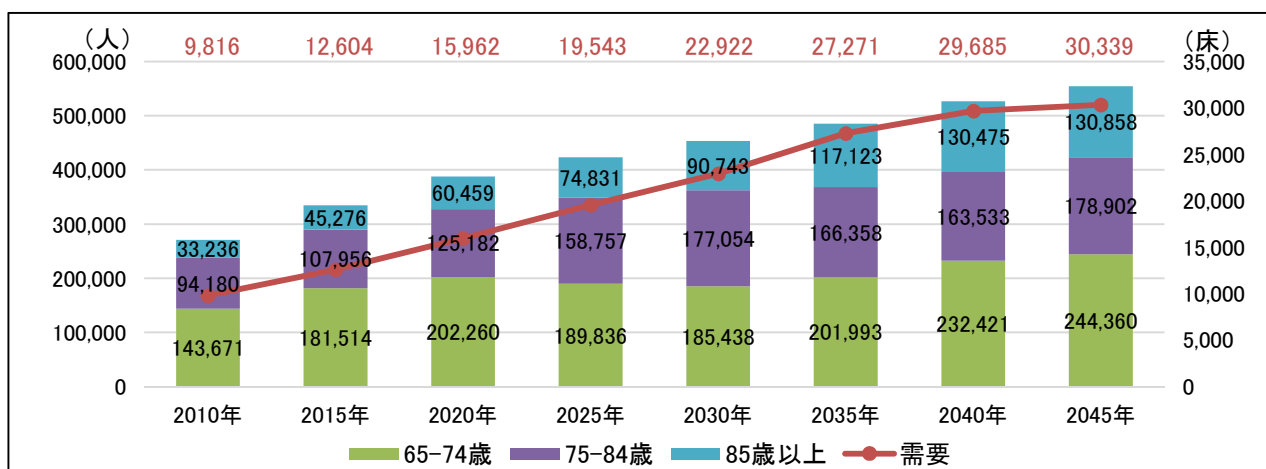
福岡・糸島

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、福岡・糸島の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2045年、75-84歳人口のピークは2045年、85歳以上人口のピークは2045年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が153,232(107,956+45,276)人であるが、ピーク時の2045年には309,760人まで増加すると推計され、2015年比102%増加する。

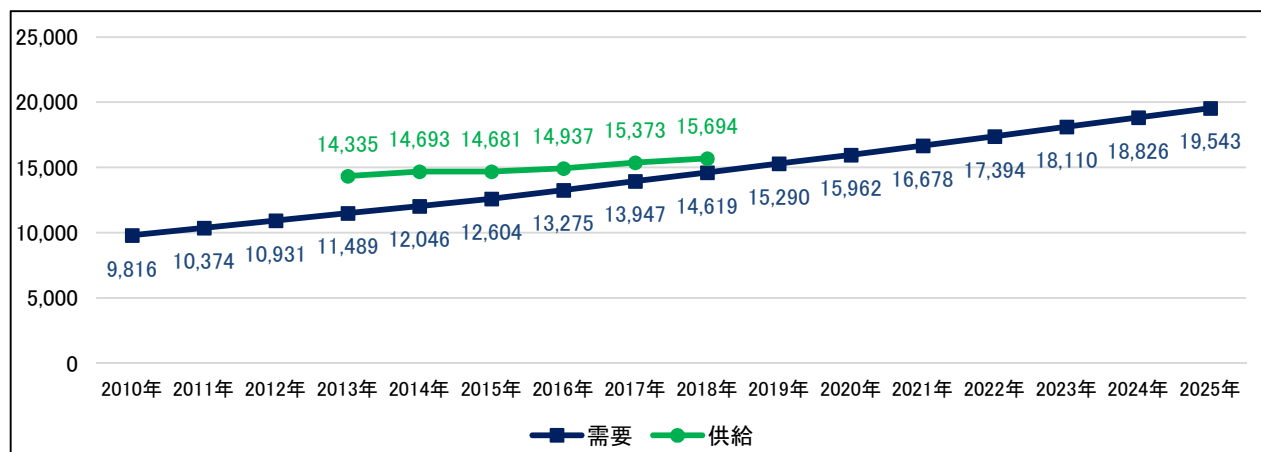
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、福岡・糸島の施設需要のピークは2045年の30,339人であり、2015年の12,604人と比べ、141%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、福岡・糸島の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要12,046人、供給14,693人と「供給>需要(+22%)」である。2018年は需要14,619人、供給15,694人と「供給>需要(+7%)」である。福岡・糸島の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年のやや余裕がある状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



福岡・糸島

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16,192人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,635床(偏差値50)、高齢者住宅等が6,557床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム61、軽費ホーム47、グループホーム53、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値54と全国平均レベルをやや上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値61と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
福岡・糸島	16,192	25.0%	103	58	9,635	23.2%	61	50	6,557	28.2%	42	60

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
福岡・糸島	2,941	20.3%	19	44	5,854	25.2%	37	52	840	21.8%	5.3	54

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
福岡・糸島	4,212	35.3%	26.8	61	135	13.1%	0.9	47	2,210	22.3%	14.1	53

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
福岡・糸島	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					3,071	36.8%	19.5	60

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
福岡・糸島	13,000	24.7%	83	54	1,492	27.2%	9.5	61

福岡・糸島

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値57と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値66と非常に多い。

人口当たり回復期病床は偏差値57と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値60と多い。

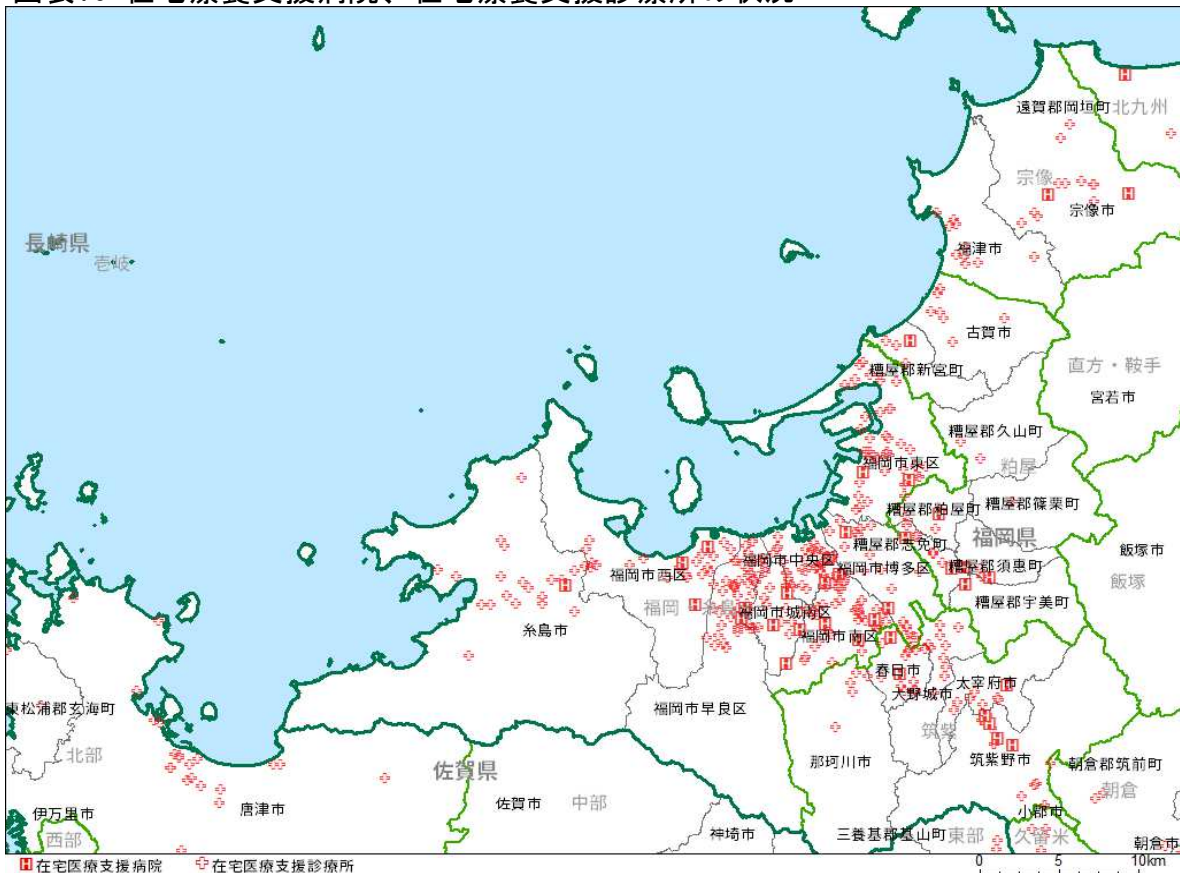
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
福岡・糸島	21	25.3%	0.1	57	244	29.8%	1.6	66

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
福岡・糸島	1,564	33.4%	95.6	57	1,923	31.9%	117.6	60

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



福岡・糸島

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値57と多く、訪問看護が偏差値66と非常に多く、通所介護が偏差値58と多い。通所リハが偏差値63と多く、訪問入浴が偏差値45とやや少なく、短期入所が偏差値47とやや少なく、居宅介護支援が偏差値57と多い。訪問介護利用者数は偏差値67と非常に多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値57と全国平均レベルを上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値67と全国平均レベルを大きく上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
福岡・糸島	412	27.2%	2.6	57	160	30.7%	1.0	66	567	26.7%	3.6	58

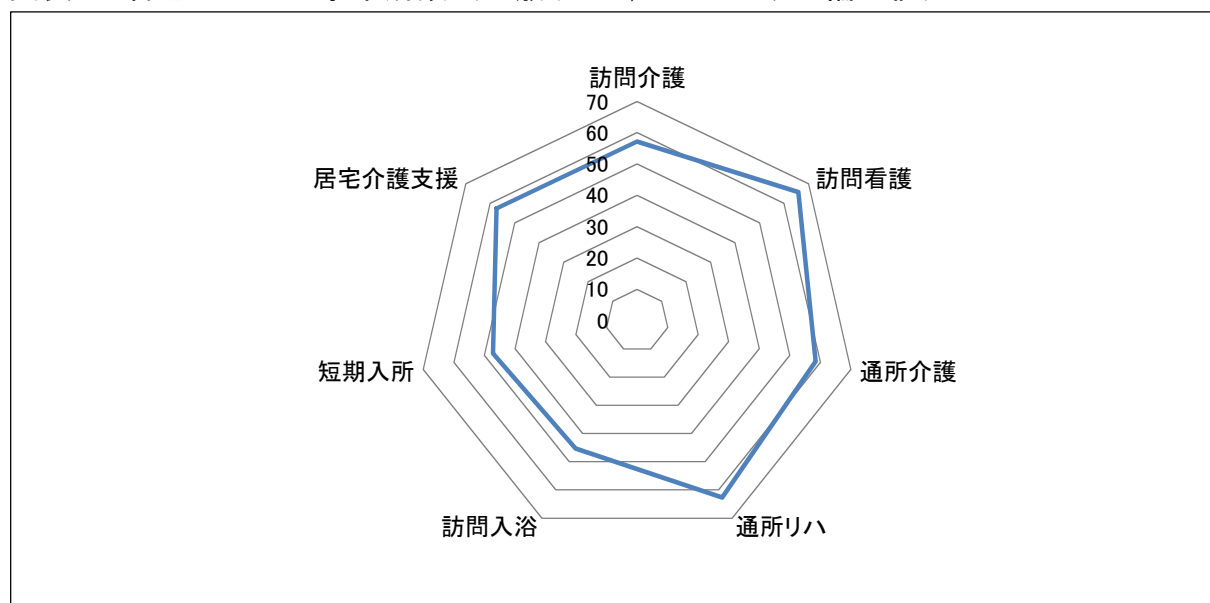
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
福岡・糸島	115	26.0%	0.7	63	12	24.5%	0.1	45	90	23.8%	0.6	47

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
福岡・糸島	458	28.2%	2.9	57

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
福岡・糸島	18,979	38.6%	120.8	67	2,756	30.9%	17.5	57	788	32.1%	5.0	67

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



粕屋

■ 人口動態と要介護者の現状

粕屋は、人口283,544人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は62,188人、高齢化率(65歳以上人口割合)は22%と低い。

要介護数(認定者)は6,809人、要介護認定率は11%と低い。うち要介護3以上は3,348人、要介護者数に占める割合は49%とやや高い。

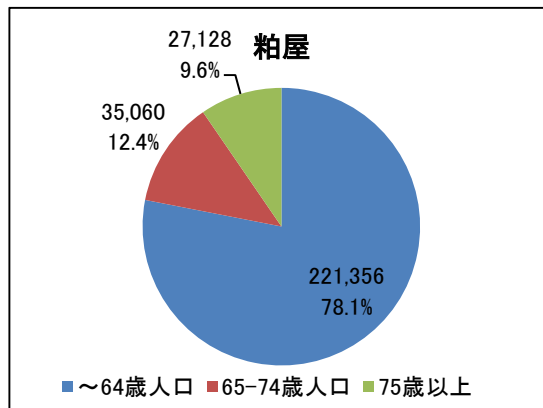
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
粕屋	283,544	62,188	27,128	22%	41	31,516	35%	28%

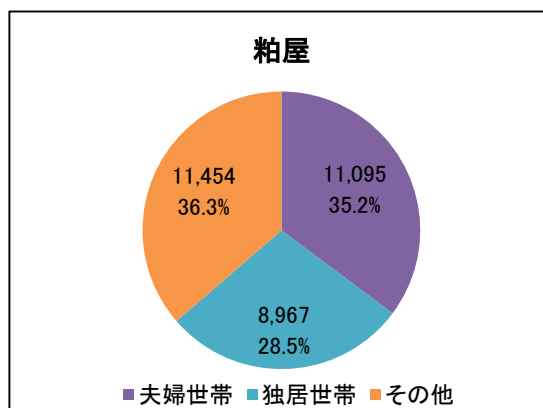
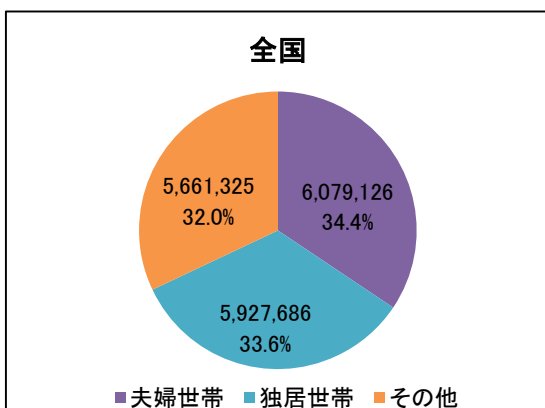
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
粕屋	6,809	11%	36	3,348	49%	53

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



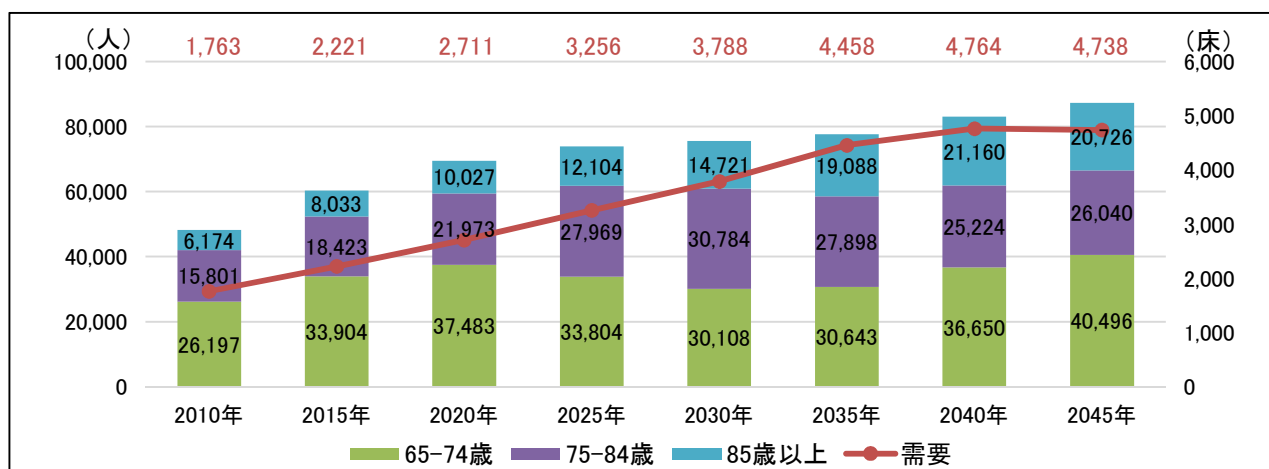
粕屋

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、粕屋の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2045年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が26,456(18,423+8,033)人であるが、ピーク時の2035年には46,986人まで増加すると推計され、2015年比78%増加する。

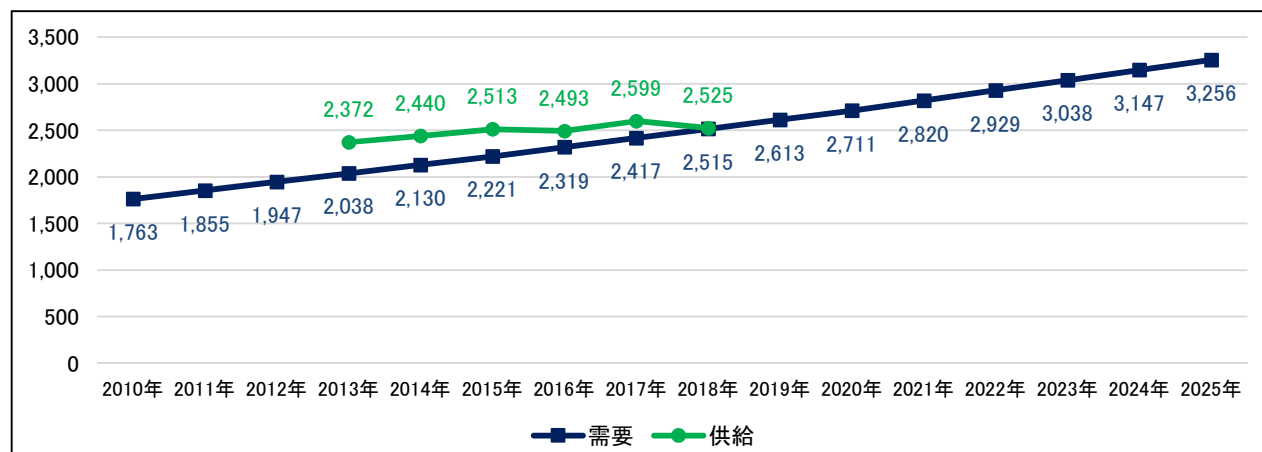
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、粕屋の施設需要のピークは2040年の4,764人であり、2015年の2,221人と比べ、114%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、粕屋の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要2,130人、供給2,440人と「供給>需要(+15%)」である。2018年は需要2,515人、供給2,525人と「供給>需要(+0.4%)」である。粕屋の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年のやや余裕がある状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



粕屋

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,741人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,919床(偏差値58)、高齢者住宅等が822床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設95、有料老人ホーム52、軽費ホーム50、グループホーム50、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値44と全国平均レベルを下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値62と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
粕屋	2,741	4.2%	101	57	1,919	4.6%	71	58	822	3.5%	30	51

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
粕屋	585	4.0%	22	48	755	3.2%	28	43	579	15.0%	21.3	95

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
粕屋	449	3.8%	16.6	52	40	3.9%	1.5	50	333	3.4%	12.3	50

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

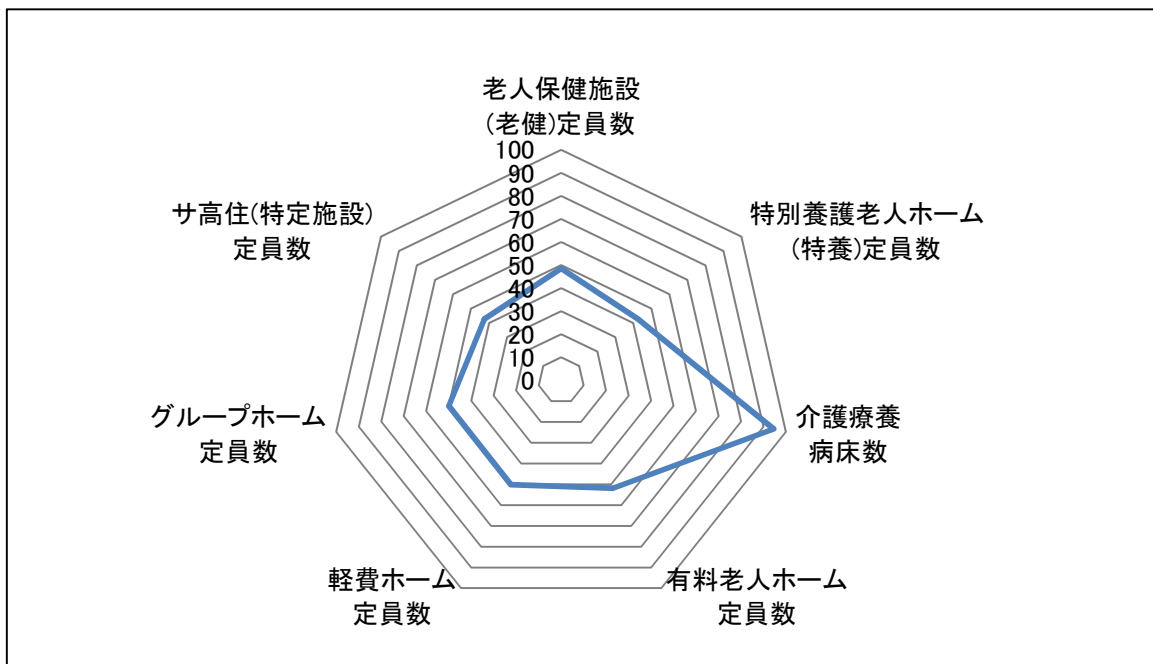
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
粕屋	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					358	4.3%	13.2	51

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

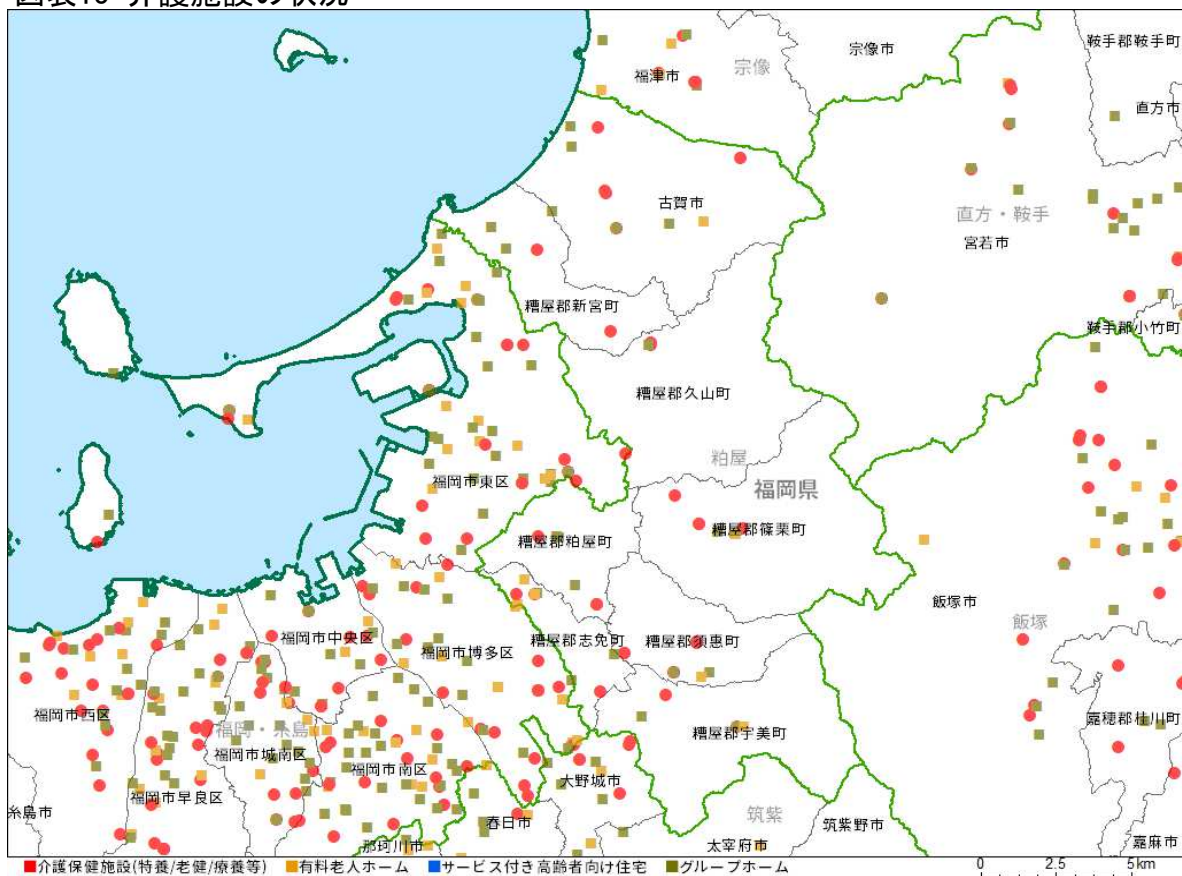
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
粕屋	1,947	3.7%	72	44	263	4.8%	9.7	62

粕屋

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



粕屋

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値75と非常に多い。在宅療養支援診療所数は偏差値53とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値49と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値53とやや多い。

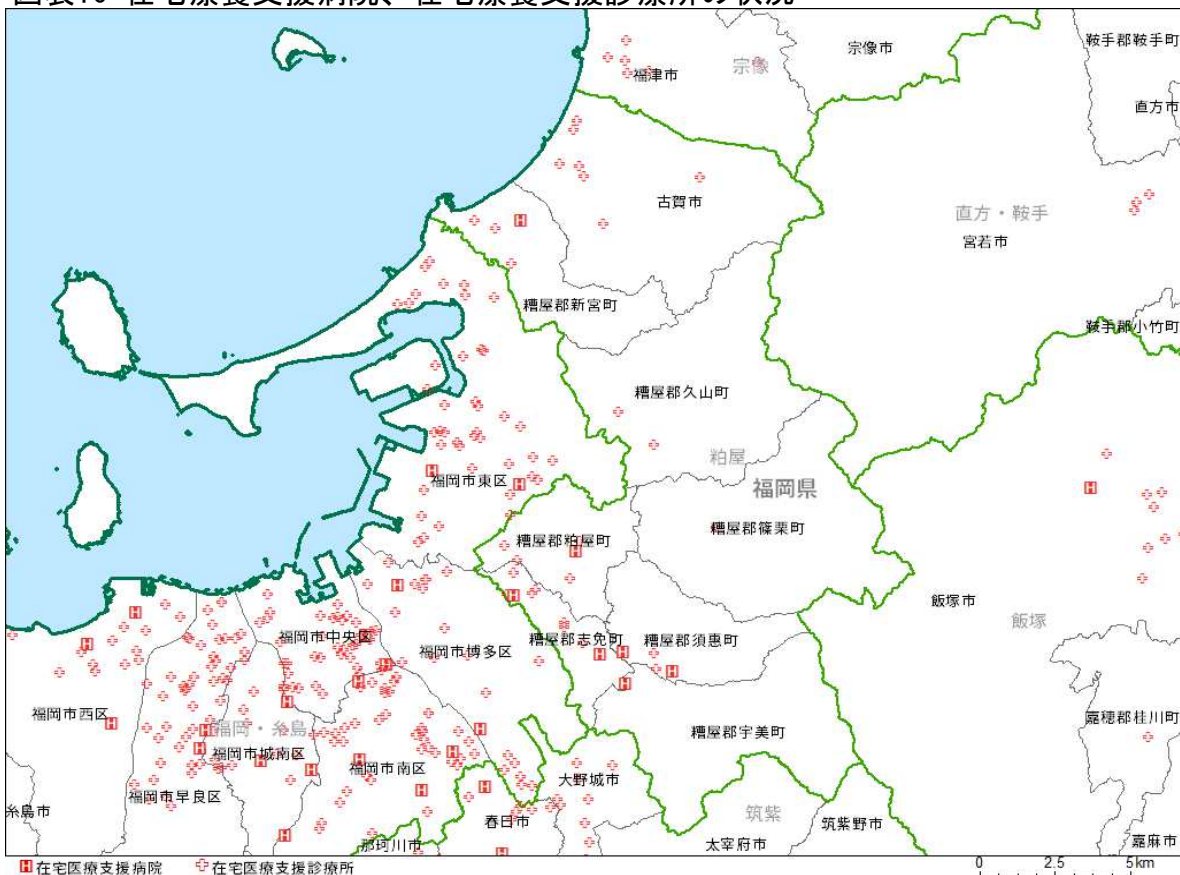
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
粕屋	7	8.4%	0.3	75	27	3.3%	1.0	53

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
粕屋	165	3.5%	58.2	49	207	3.4%	73.0	53

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



粕屋

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値47とやや少なく、訪問看護が偏差値58と多く、通所介護が偏差値56と多い。通所リハが偏差値70と非常に多く、訪問入浴がなし(偏差値38)、短期入所が偏差値45とやや少なく、居宅介護支援が偏差値44と少ない。訪問介護利用者数は偏差値37と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値53と全国平均レベルをやや上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
粕屋	49	3.2%	1.8	47	23	4.4%	0.8	58	91	4.3%	3.4	56

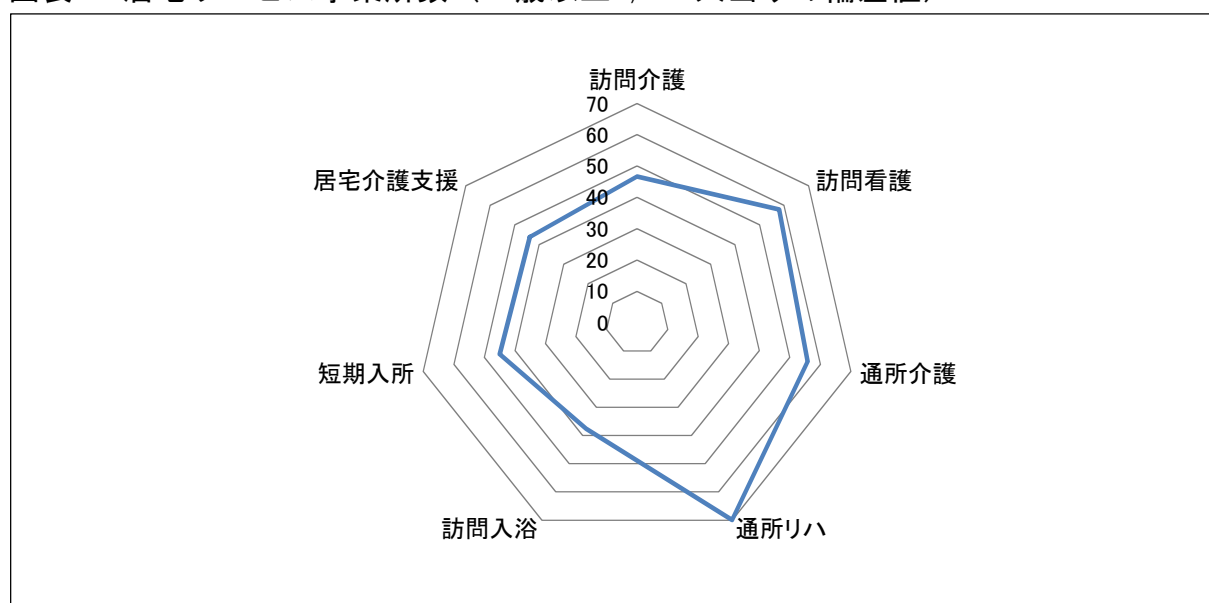
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
粕屋	24	5.4%	0.9	70	0	0.0%	0	38	14	3.7%	0.5	45

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
粕屋	58	3.6%	2.1	44

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
粕屋	1,083	2.2%	39.9	37	248	2.8%	9.2	42	95	3.9%	3.5	53

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



宗像

■ 人口動態と要介護者の現状

宗像は、人口155,297人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は42,578人、高齢化率(65歳以上人口割合)は27%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は5,081人、要介護認定率は12%と低い。うち要介護3以上は2,396人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

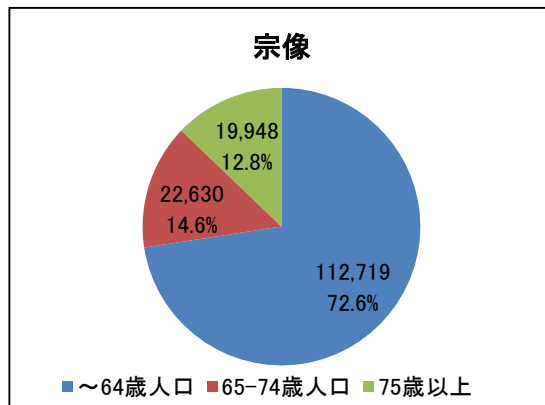
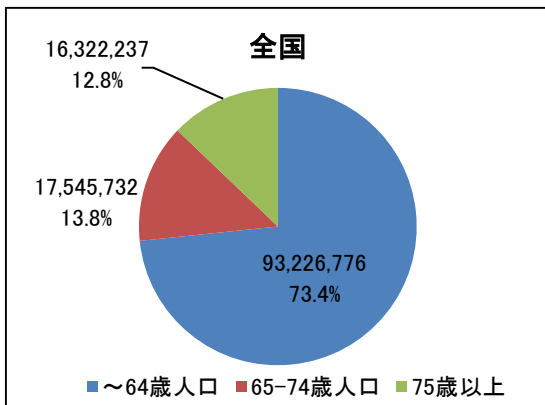
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
宗像	155,297	42,578	19,948	27%	52	22,415	40%	28%

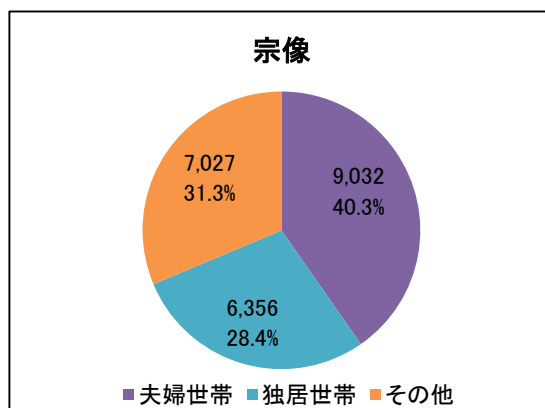
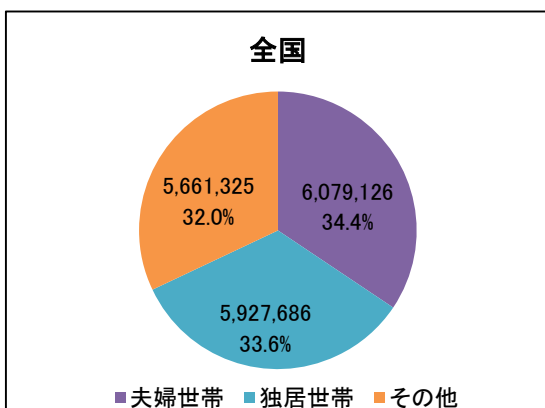
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
宗像	5,081	12%	41	2,396	47%	47

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



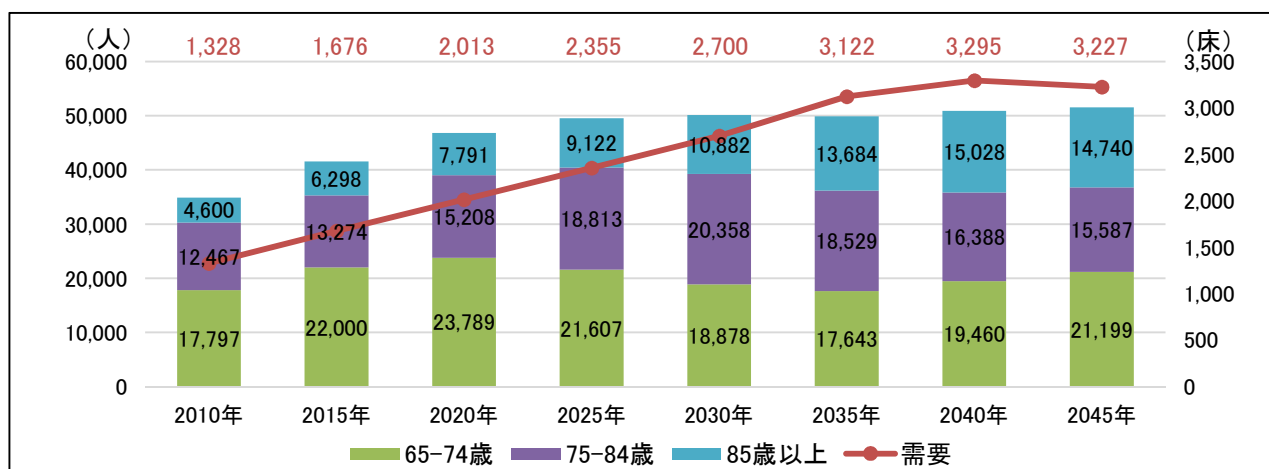
宗像

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、宗像の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が19,572(13,274+6,298)人であるが、ピーク時の2035年には32,213人まで増加すると推計され、2015年比65%増加する。

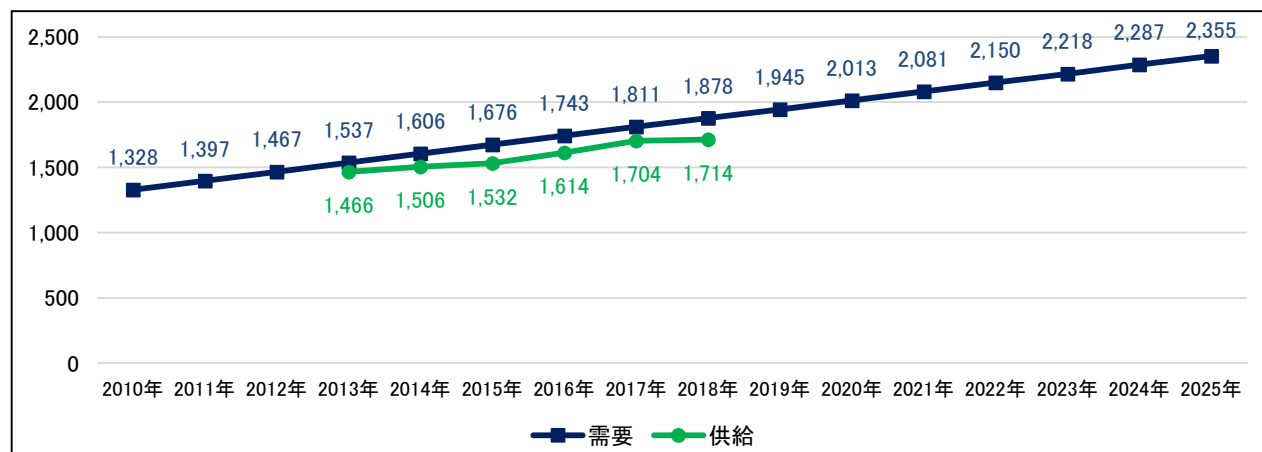
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、宗像の施設需要のピークは2040年の3,295人であり、2015年の1,676人と比べ、97%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、宗像の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,606人、供給1,506人と「供給<需要(-6%)」である。2018年は需要1,878人、供給1,714人と「供給<需要(-9%)」である。宗像の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、不足ぎみの状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



宗像

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,749人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,205床(偏差値49)、高齢者住宅等が544床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム52、軽費ホーム50、グループホーム45、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値46と全国平均レベルをやや下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値55と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
宗像	1,749	2.7%	88	48	1,205	2.9%	60	49	544	2.3%	27	48

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
宗像	345	2.4%	17	41	611	2.6%	31	45	249	6.4%	12.5	72

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
宗像	326	2.7%	16.3	52	29	2.8%	1.5	50	189	1.9%	9.5	45

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

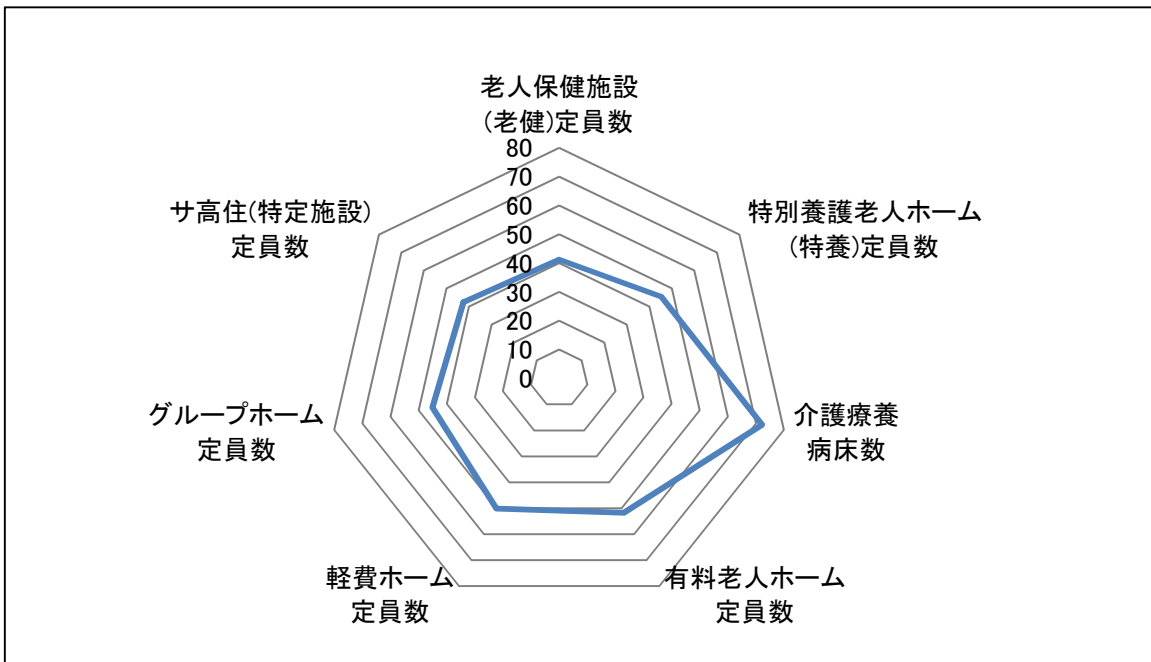
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
宗像	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					228	2.7%	11.4	48

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

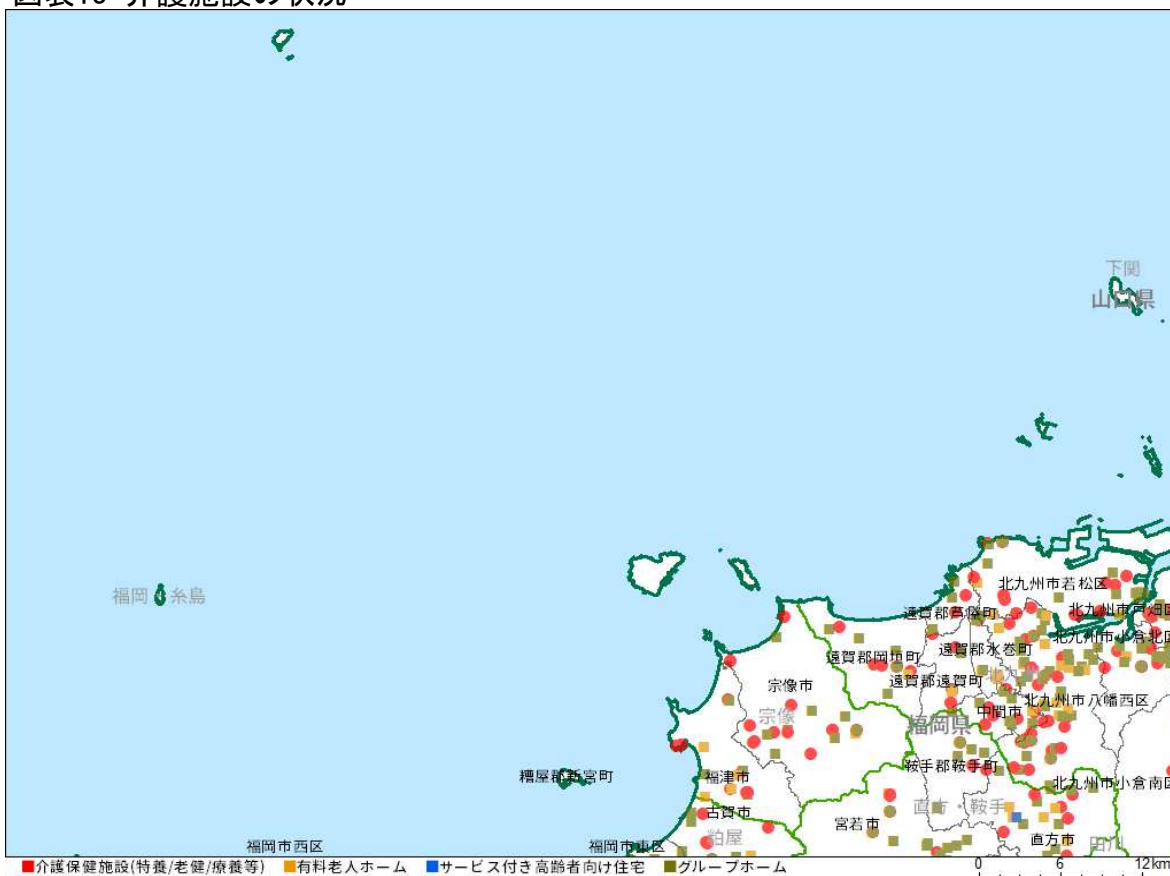
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
宗像	1,480	2.8%	74	46	167	3.0%	8.4	55

宗像

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



宗像

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値54とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値43と少ない。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値62と多い。

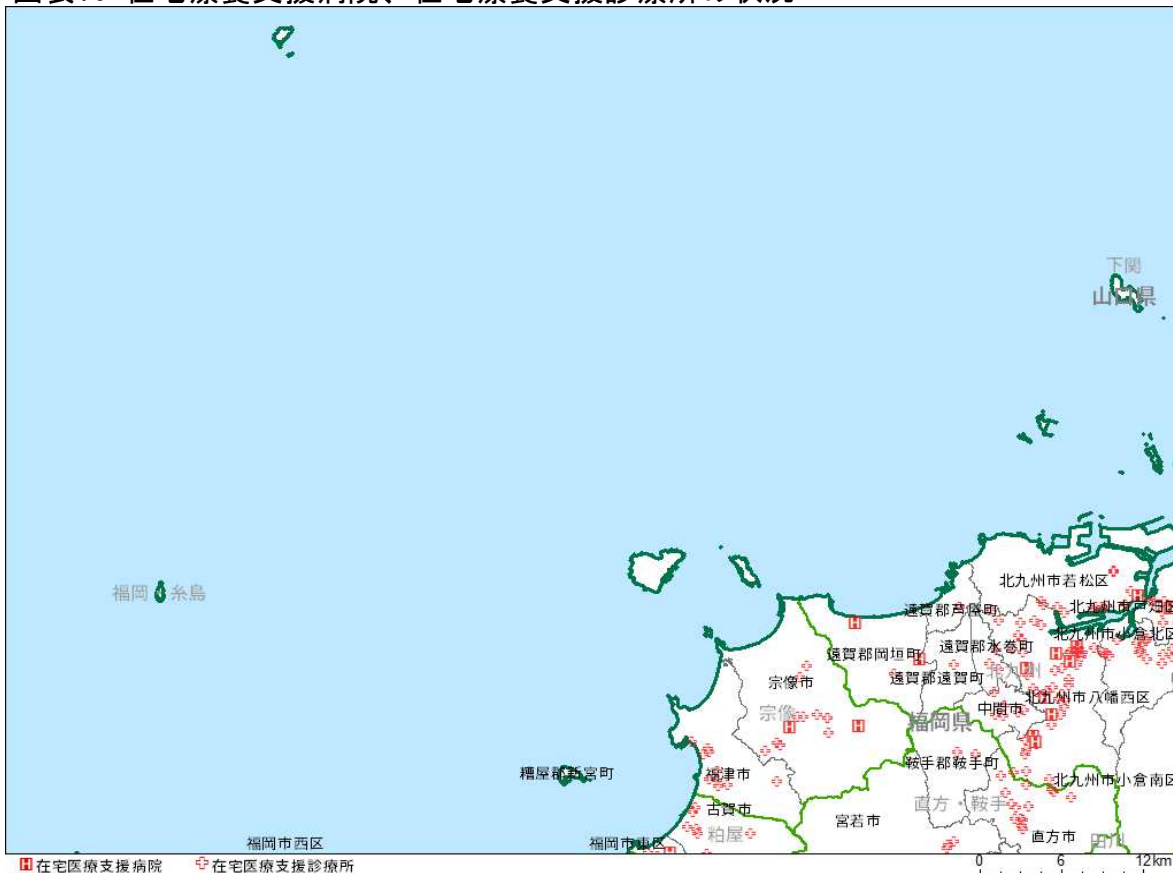
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
宗像	2	2.4%	0.1	52	21	2.6%	1.1	54

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
宗像	49	1.0%	31.6	43	193	3.2%	124.3	62

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



宗像

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値47とやや少なく、訪問看護が偏差値44と少なく、通所介護が偏差値53とやや多い。通所リハが偏差値59と多く、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値48と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値44と少ない。訪問介護利用者数は偏差値48と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値44と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値45と全国平均レベルをやや下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
宗像	36	2.4%	1.8	47	11	2.1%	0.6	44	61	2.9%	3.1	53

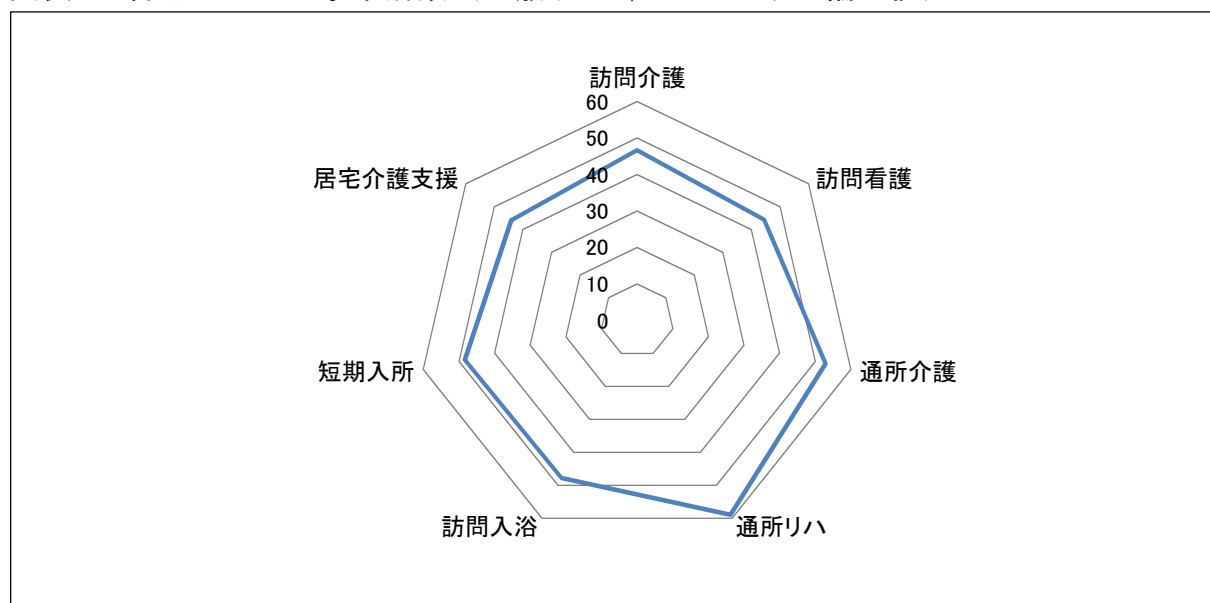
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
宗像	13	2.9%	0.7	59	2	4.1%	0.1	48	12	3.2%	0.6	48

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
宗像	43	2.6%	2.2	44

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
宗像	1,402	2.8%	70.3	48	206	2.3%	10.3	44	51	2.1%	2.6	45

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



筑紫

■ 人口動態と要介護者の現状

筑紫は、人口433,521人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は94,235人、高齢化率(65歳以上人口割合)は22%と低い。

要介護数(認定者)は10,255人、要介護認定率は11%と低い。うち要介護3以上は5,007人、要介護者に占める割合は49%と全国平均レベルである。

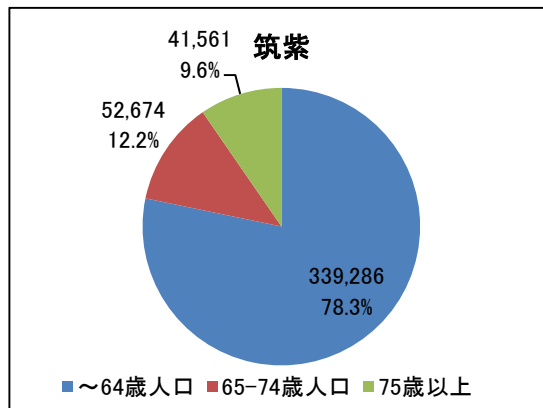
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
筑紫	433,521	94,235	41,561	22%	40	50,918	38%	29%

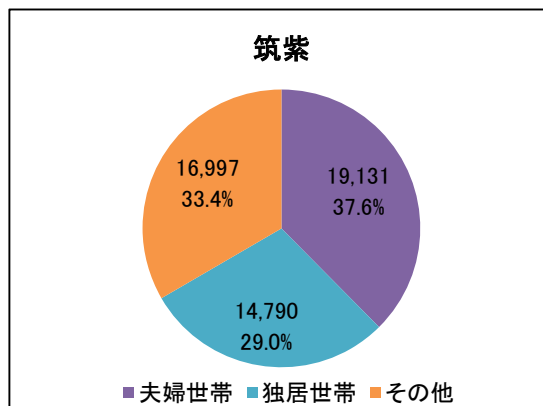
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
筑紫	10,255	11%	36	5,007	49%	52

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



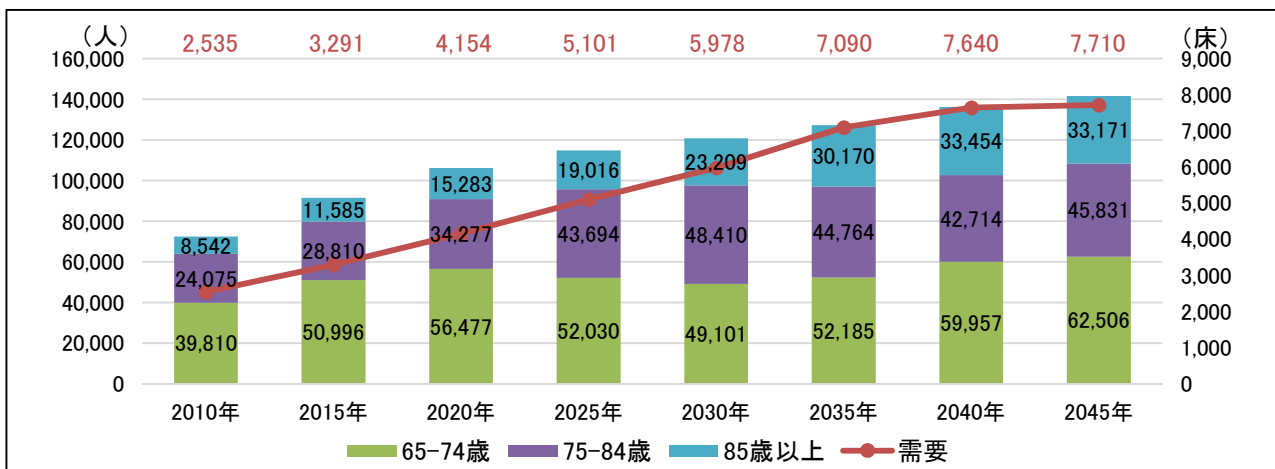
筑紫

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、筑紫の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2045年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が40,395(28,810+11,585)人であるが、ピーク時の2045年には79,002人まで増加すると推計され、2015年比96%増加する。

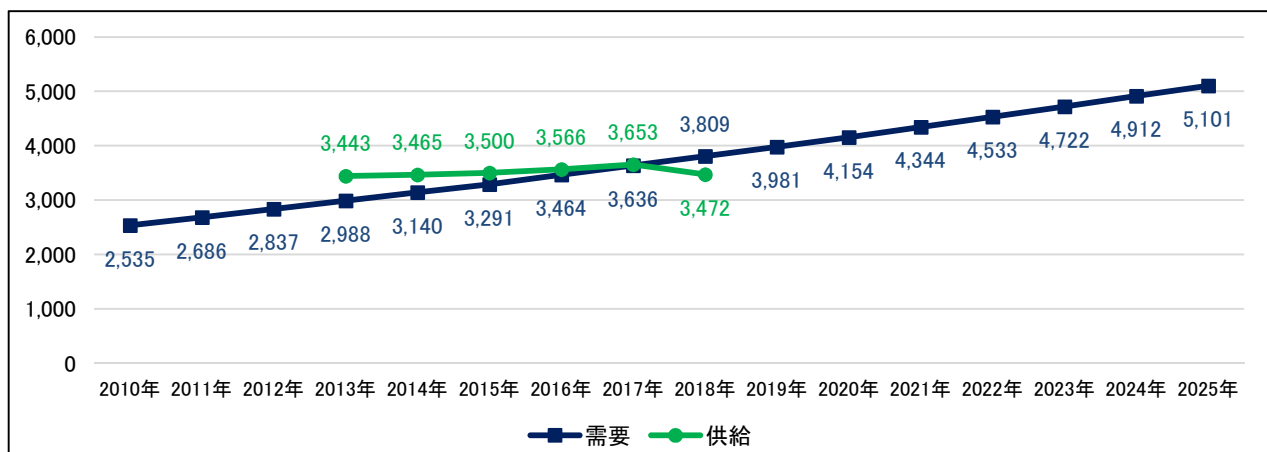
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、筑紫の施設需要のピークは2045年の7,710人であり、2015年の3,291人と比べ、134%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、筑紫の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要3,140人、供給3,465人と「供給>需要(+10%)」である。2018年は需要3,809人、供給3,472人と「供給<需要(-9%)」である。筑紫の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年のやや余裕がある状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



筑紫

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,629人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,065床(偏差値41)、高齢者住宅等が1,564床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設35、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム58、軽費ホーム49、グループホーム48、サ高住(特定施設)56である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値49と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
筑紫	3,629	5.6%	87	48	2,065	5.0%	50	41	1,564	6.7%	38	56

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
筑紫	560	3.9%	13	35	1,047	4.5%	25	40	458	11.9%	11.0	69

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
筑紫	961	8.0%	23.1	58	50	4.8%	1.2	49	453	4.6%	10.9	48

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

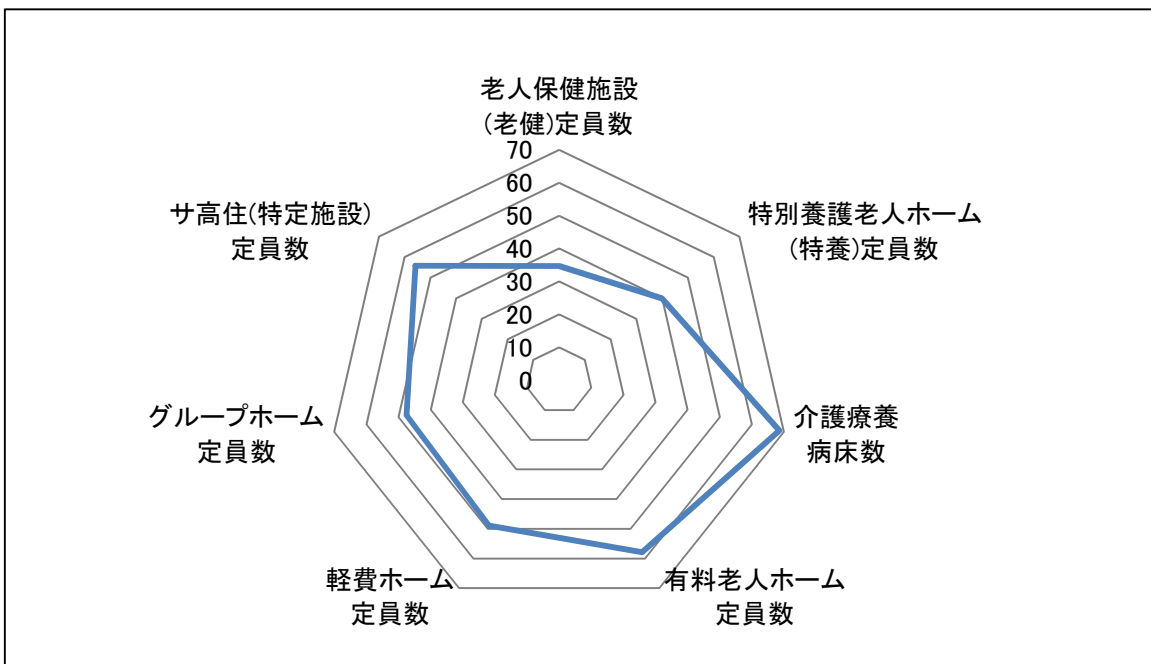
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
筑紫	100	27.9%	2.4	56	209,785		12.9	(6.8)
					568	6.8%	13.7	51

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

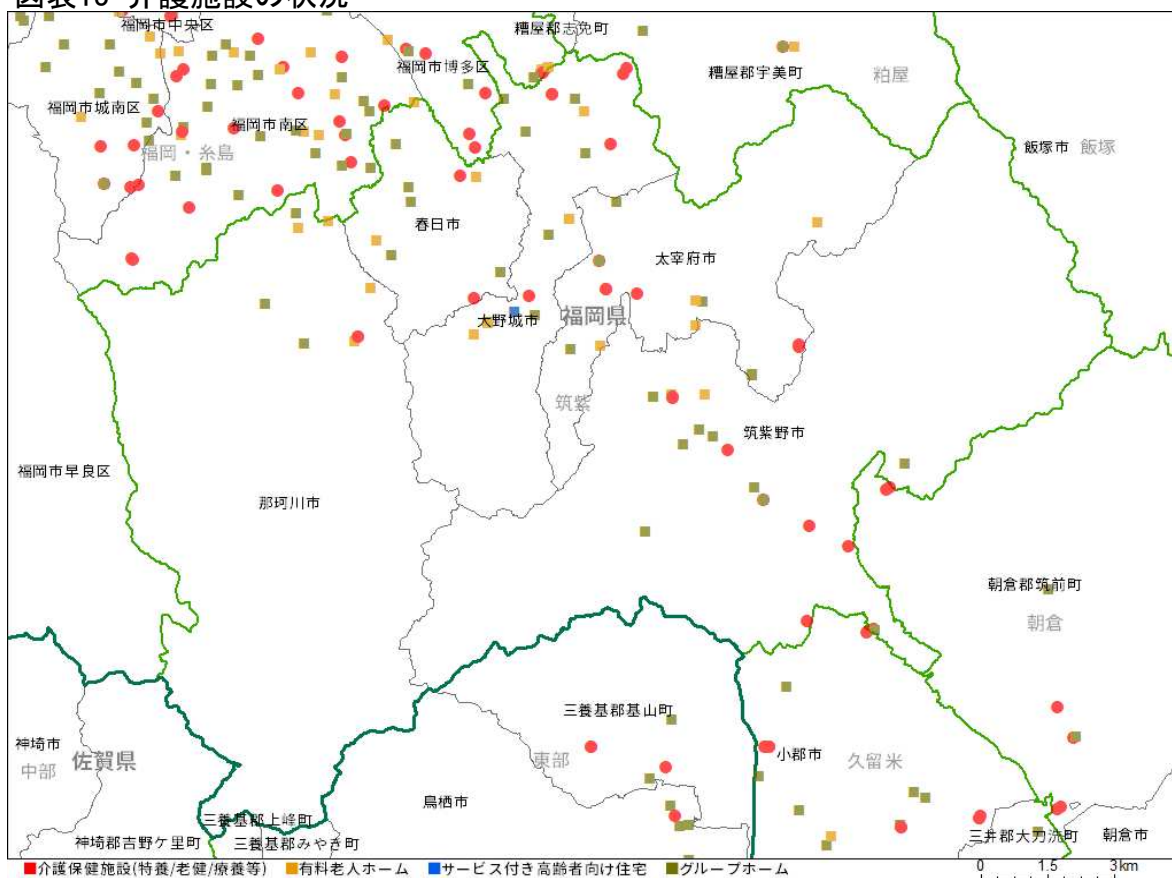
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
筑紫	2,890	5.5%	70	42	299	5.5%	7.2	49

筑紫

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



筑紫

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値65と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値54とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値46とやや少ない。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値50と全国平均レベルである。

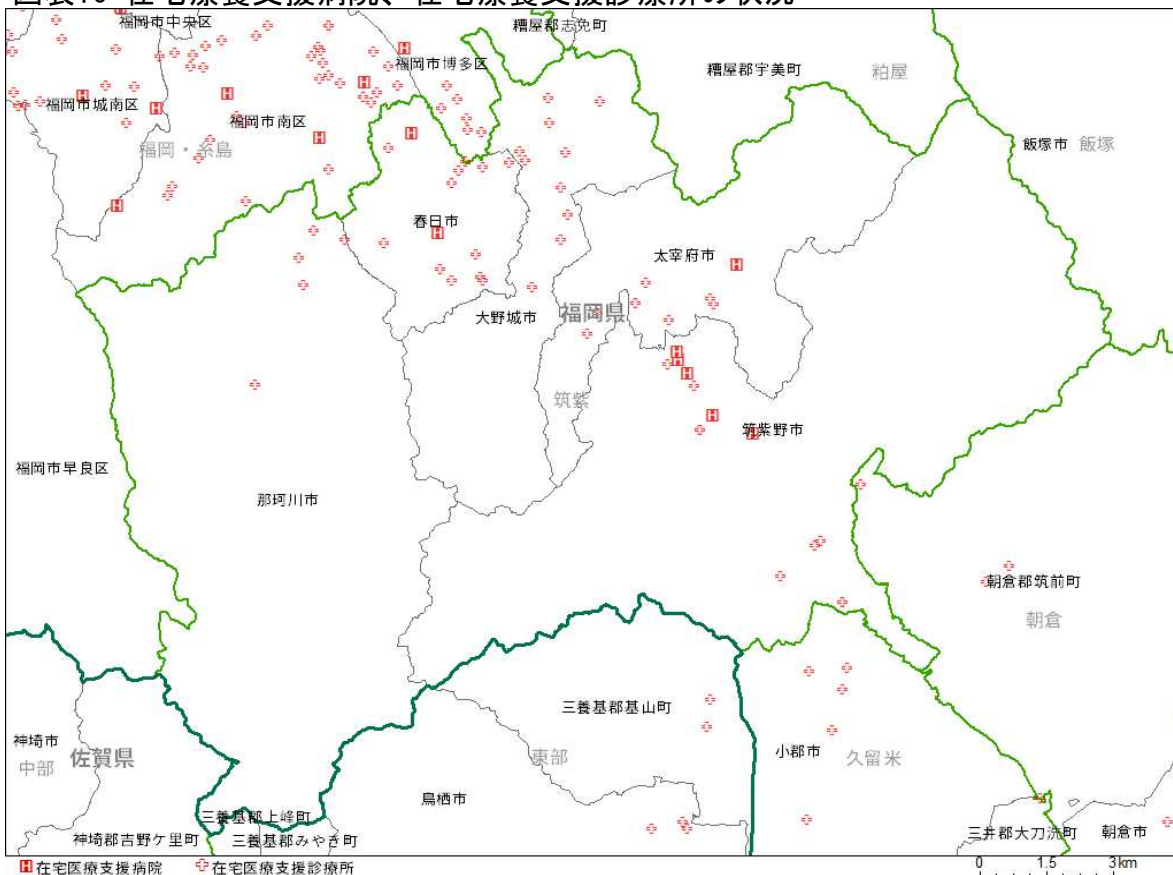
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
筑紫	8	9.6%	0.2	65	43	5.3%	1.0	54

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
筑紫	190	4.1%	43.8	46	258	4.3%	59.5	50

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



筑紫

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値49と全国平均レベル、訪問看護が偏差値62と多く、通所介護が偏差値54とやや多い。通所リハが偏差値59と多く、訪問入浴が偏差値50と全国平均レベル、短期入所が偏差値40と少なく、居宅介護支援が偏差値49と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値44と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値45と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値63と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
筑紫	84	5.5%	2.0	49	39	7.5%	0.9	62	132	6.2%	3.2	54

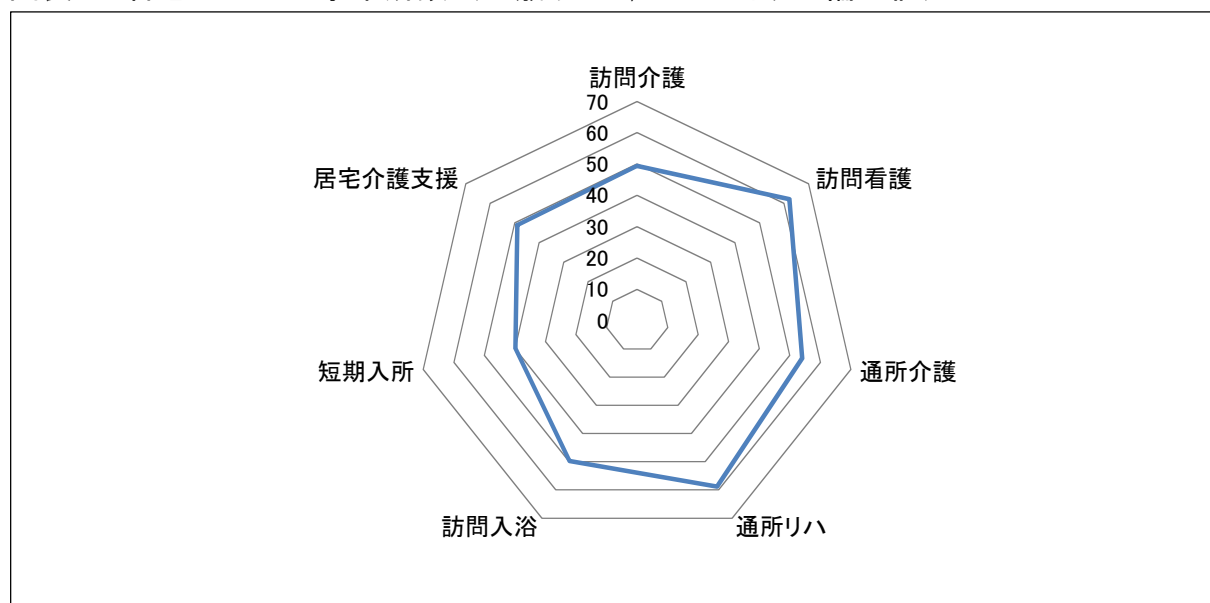
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
筑紫	27	6.1%	0.6	59	5	10.2%	0.1	50	16	4.2%	0.4	40

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
筑紫	101	6.2%	2.4	49

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
筑紫	2,485	5.0%	59.8	44	457	5.1%	11.0	45	188	7.7%	4.5	63

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



朝倉

■ 人口動態と要介護者の現状

朝倉は、人口83,924人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は26,021人、高齢化率(65歳以上人口割合)は31%と高い。

要介護数(認定者)は3,631人、要介護認定率は14%とやや高い。うち要介護3以上は1,747人、要介護者数に占める割合は48%と全国平均レベルである。

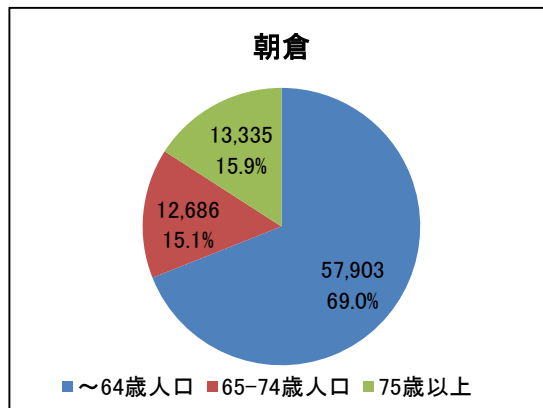
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
朝倉	83,924	26,021	13,335	31%	59	11,035	34%	29%

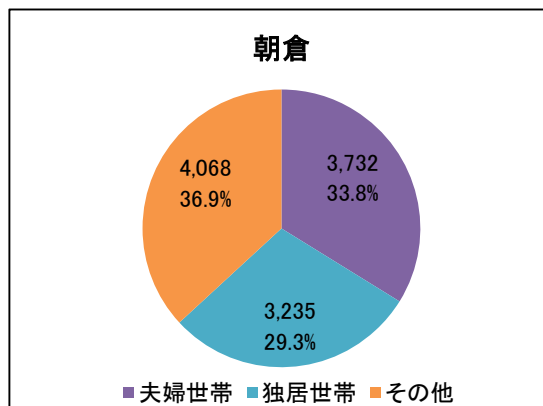
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
朝倉	3,631	14%	53	1,747	48%	50

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



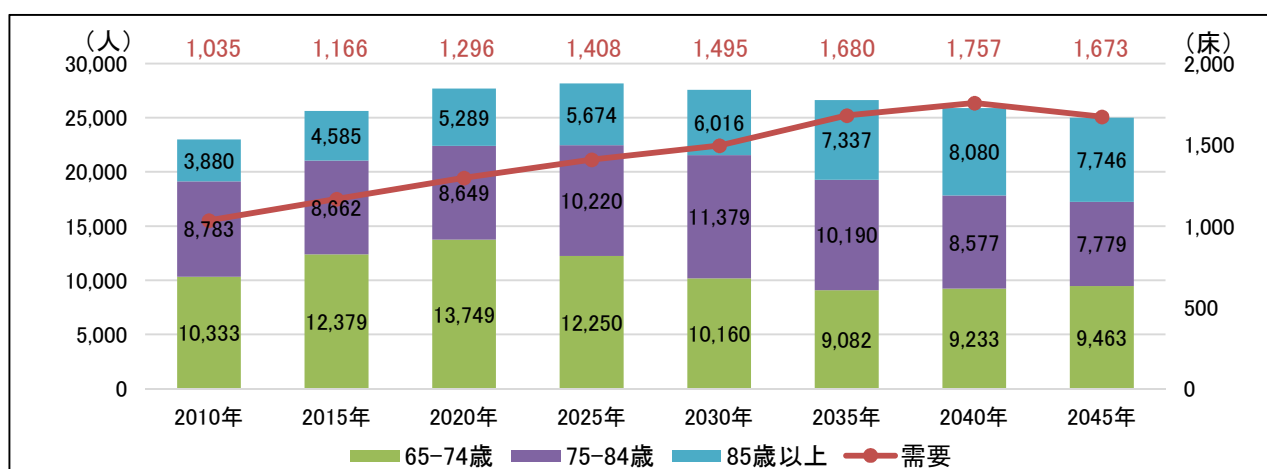
朝倉

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、朝倉の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が13,247(8,662+4,585)人であるが、ピーク時の2035年には17,527人まで増加すると推計され、2015年比32%増加する。

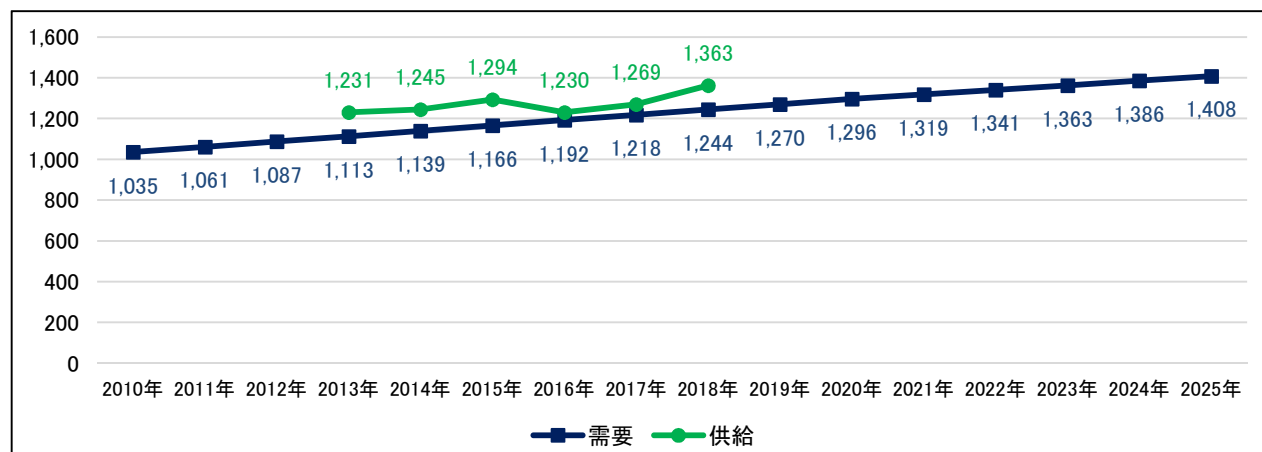
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、朝倉の施設需要のピークは2040年の1,757人であり、2015年の1,166人と比べ、51%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、朝倉の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,139人、供給1,245人と「供給>需要(+9%)」である。2018年は需要1,244人、供給1,363人と「供給>需要(+10%)」である。朝倉の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、やや余裕がある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



朝倉

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,377人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,208床(偏差値74)、高齢者住宅等が169床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設82、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値62と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値57と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
朝倉	1,377	2.1%	103	58	1,208	2.9%	91	74	169	0.7%	13	37

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
朝倉	548	3.8%	41	82	660	2.8%	49	64	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
朝倉	43	0.4%	3.2	40	0	0.0%	0	43	126	1.3%	9.4	45

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

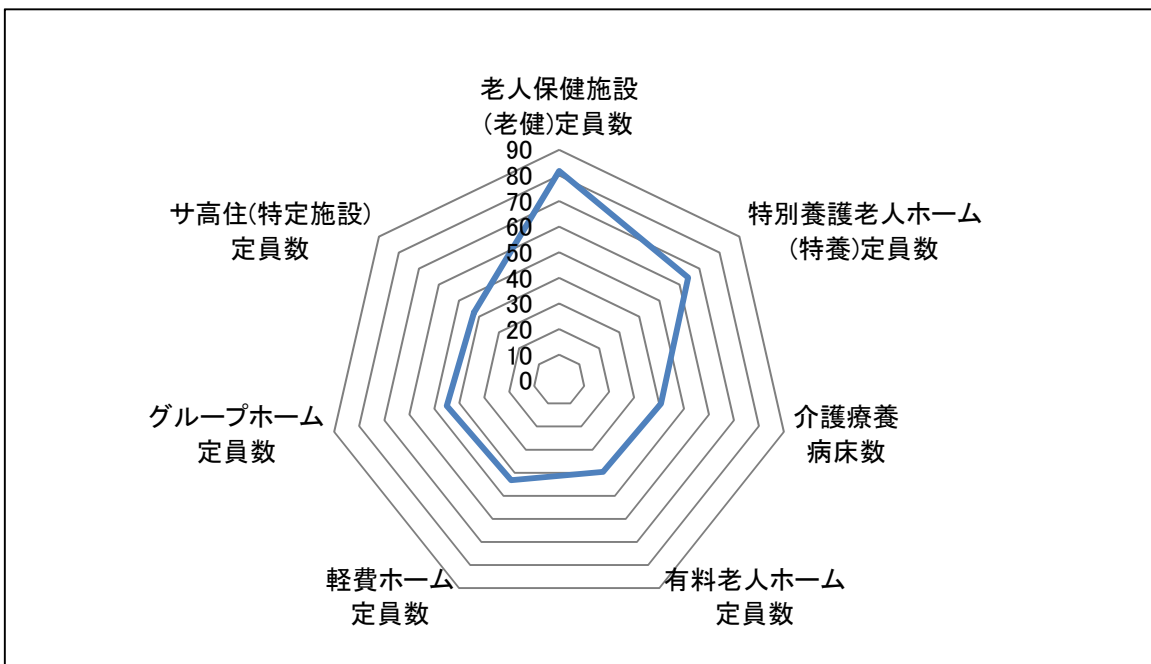
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
朝倉	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					169	2.0%	12.7	50

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

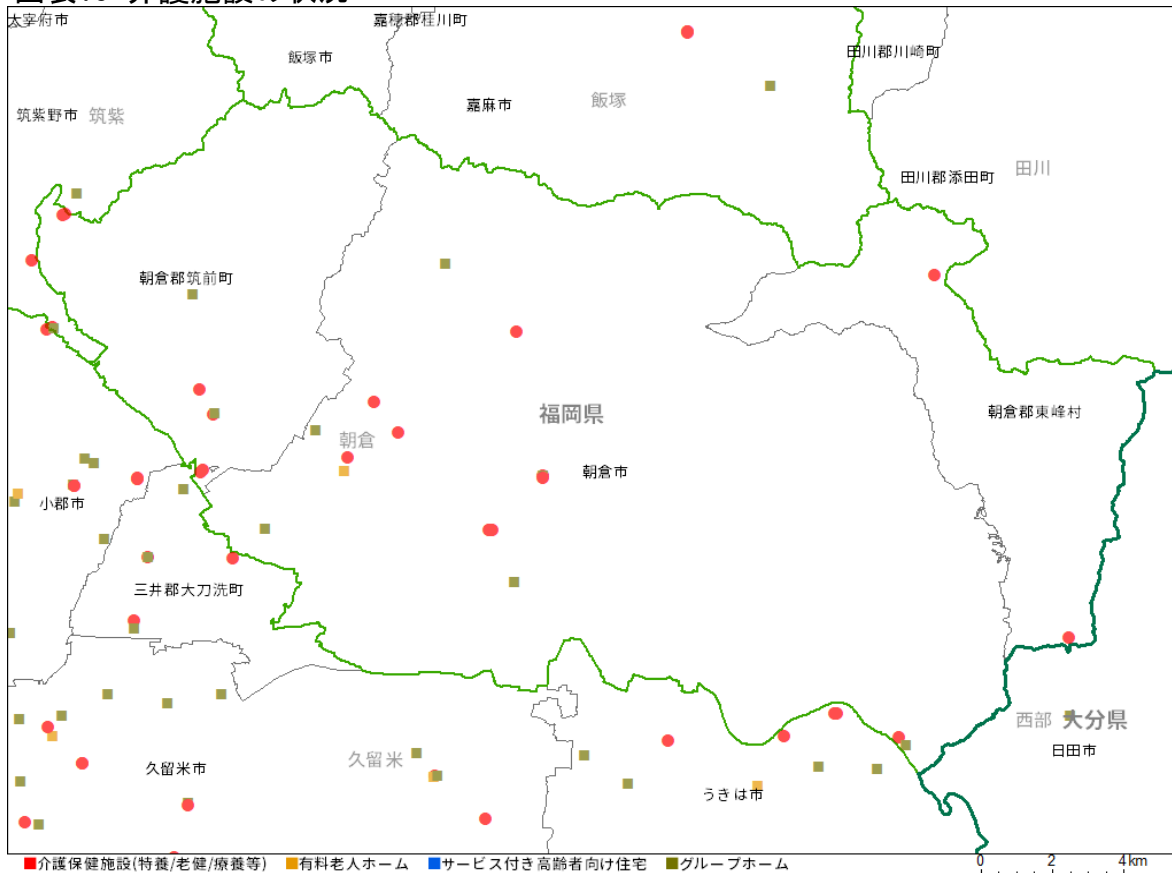
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
朝倉	1,235	2.3%	93	62	118	2.2%	8.8	57

朝倉

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



朝倉

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値80と非常に多い。

人口当たり回復期病床は偏差値59と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値62と多い。

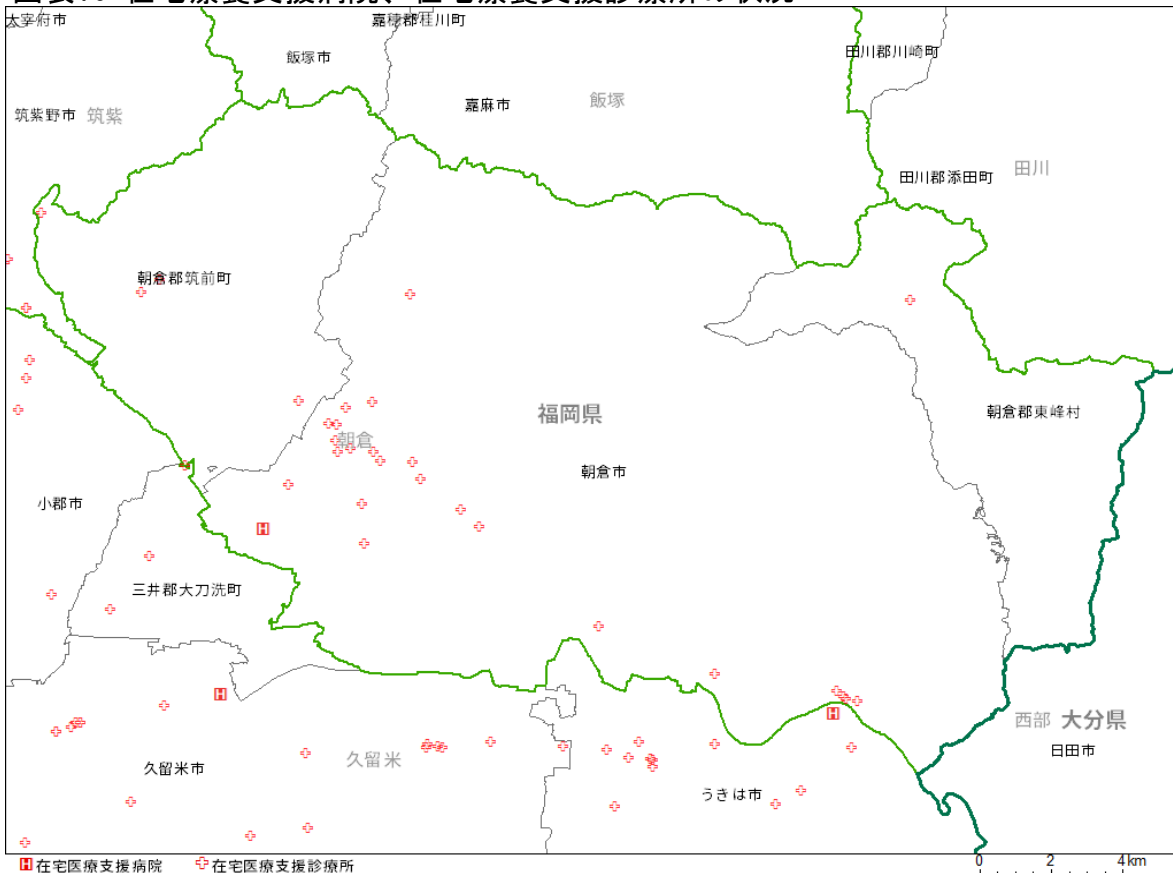
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
朝倉	1	1.2%	0.1	49	29	3.5%	2.2	80

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
朝倉	88	1.9%	104.9	59	106	1.8%	126.3	62

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



朝倉

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値39と少なく、訪問看護が偏差値33と非常に少なく、通所介護が偏差値46とやや少ない。通所リハが偏差値67と非常に多く、訪問入浴がなし(偏差値38)、短期入所が偏差値54とやや多く、居宅介護支援が偏差値38と少ない。訪問介護利用者数は偏差値33と非常に少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値34と全国平均レベルを大きく下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値33と全国平均レベルを大きく下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
朝倉	16	1.1%	1.2	39	4	0.8%	0.3	33	32	1.5%	2.4	46

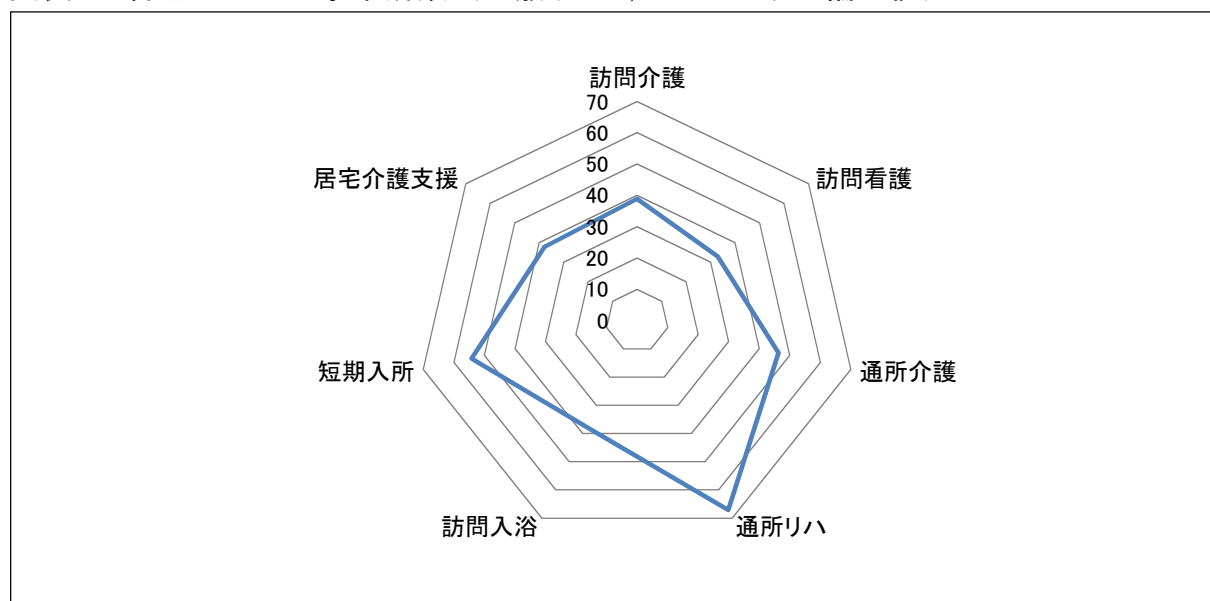
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
朝倉	11	2.5%	0.8	67	0	0.0%	0	38	10	2.6%	0.7	54

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
朝倉	24	1.5%	1.8	38

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
朝倉	384	0.8%	28.8	33	60	0.7%	4.5	34	18	0.7%	1.4	33

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



久留米

■ 人口動態と要介護者の現状

久留米は、人口456,196人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は122,107人、高齢化率(65歳以上人口割合)は27%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は16,653人、要介護認定率は14%と全国平均レベルである。うち要介護3以上は7,319人、要介護者数に占める割合は44%と低い。

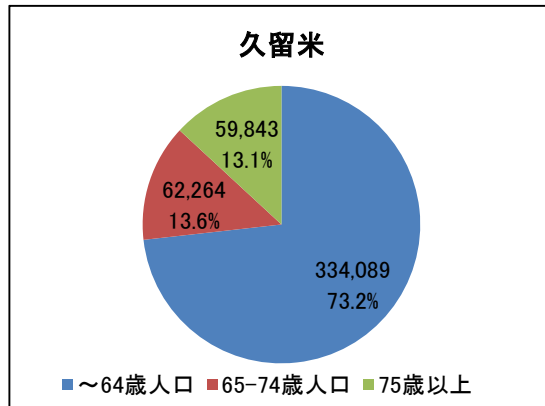
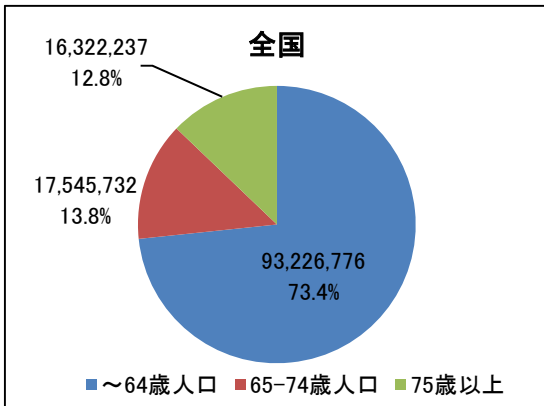
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
久留米	456,196	122,107	59,843	27%	50	57,274	34%	31%

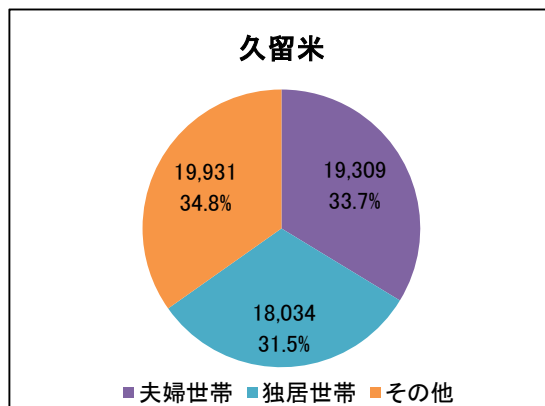
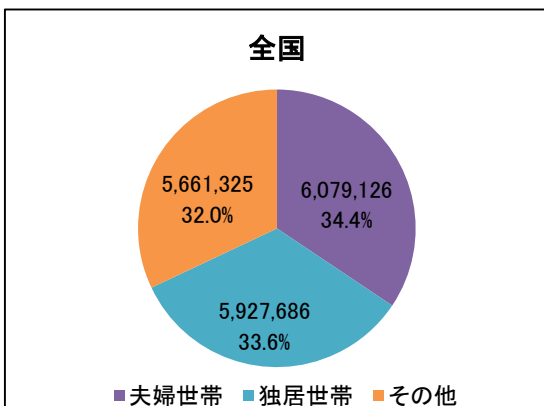
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
久留米	16,653	14%	51	7,319	44%	37

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



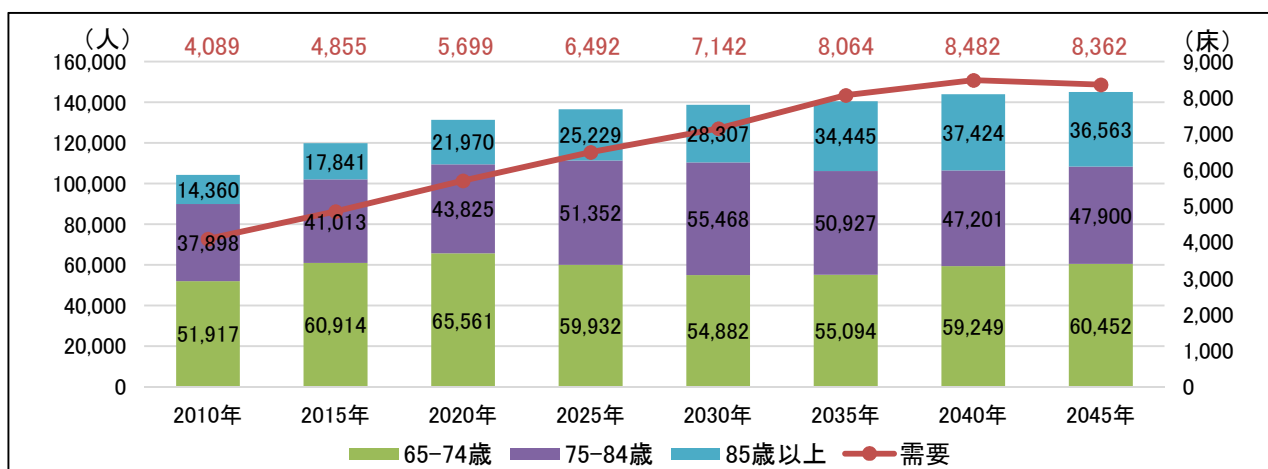
久留米

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、久留米の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が58,854(41,013+17,841)人であるが、ピーク時の2035年には85,372人まで増加すると推計され、2015年比45%増加する。

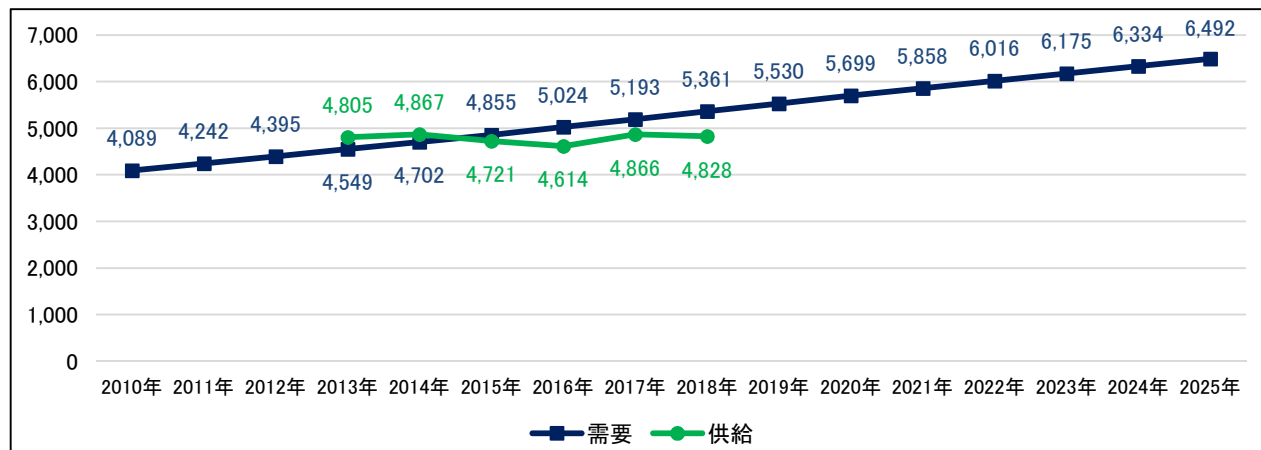
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、久留米の施設需要のピークは2040年の8,482人であり、2015年の4,855人と比べ、75%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、久留米の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要4,702人、供給4,867人と「供給>需要(+4%)」である。2018年は需要5,361人、供給4,828人と「供給<需要(-10%)」である。久留米の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



久留米

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,331人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,377床(偏差値46)、高齢者住宅等が1,954床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム45、軽費ホーム48、グループホーム67、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値59と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値51と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
久留米	5,331	8.2%	89	49	3,377	8.1%	56	46	1,954	8.4%	33	52

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
久留米	1,260	8.7%	21	48	1,691	7.3%	28	43	426	11.0%	7.1	59

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
久留米	553	4.6%	9.2	45	60	5.8%	1.0	48	1,341	13.5%	22.4	67

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

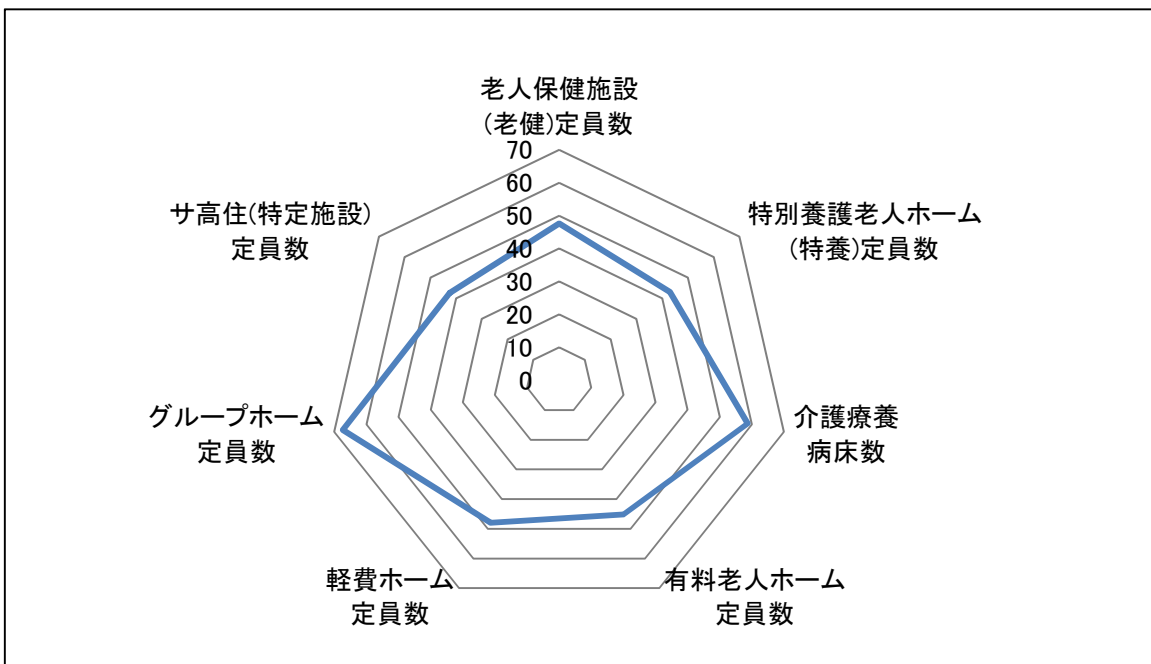
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
久留米	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					771	9.3%	12.9	50

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

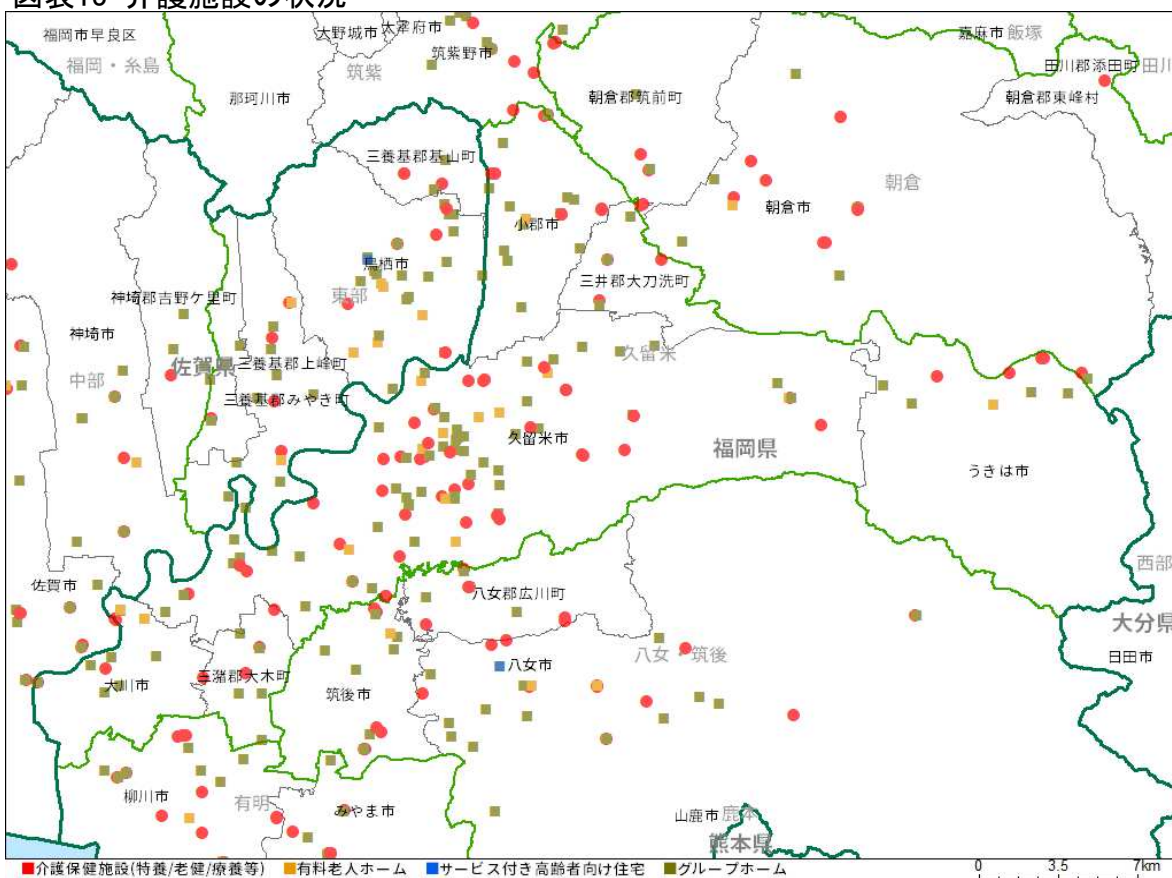
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
久留米	5,328	10.1%	89	59	458	8.4%	7.7	51

久留米

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



久留米

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値64と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値69と非常に多い。

人口当たり回復期病床は偏差値67と非常に多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値56と多い。

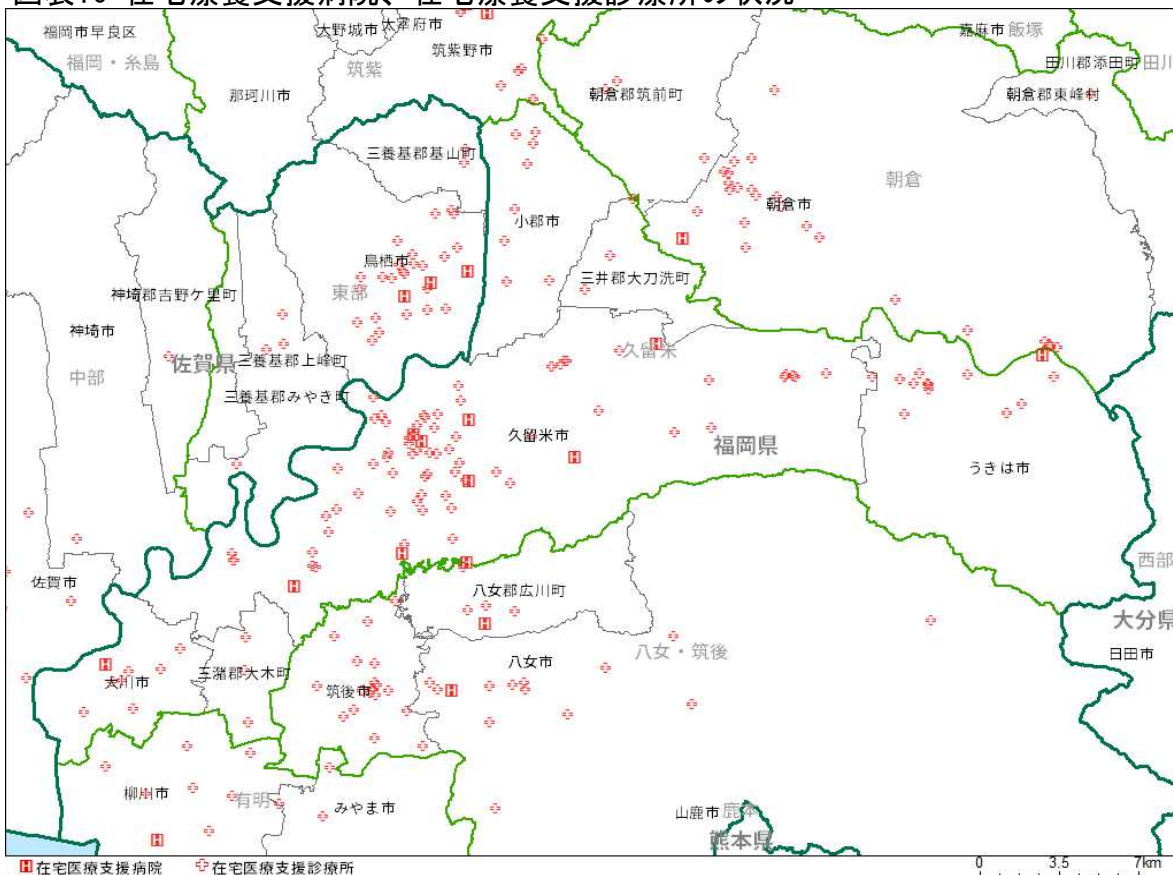
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
久留米	11	13.3%	0.2	64	101	12.3%	1.7	69

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
久留米	643	13.7%	140.9	67	418	6.9%	91.6	56

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



久留米

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値46とやや少なく、訪問看護が偏差値54とやや多く、通所介護が偏差値48と全国平均レベルである。通所リハが偏差値68と非常に多く、訪問入浴が偏差値49と全国平均レベル、短期入所が偏差値54とやや多く、居宅介護支援が偏差値47とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値38と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値44と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値57と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
久留米	107	7.1%	1.8	46	46	8.8%	0.8	54	155	7.3%	2.6	48

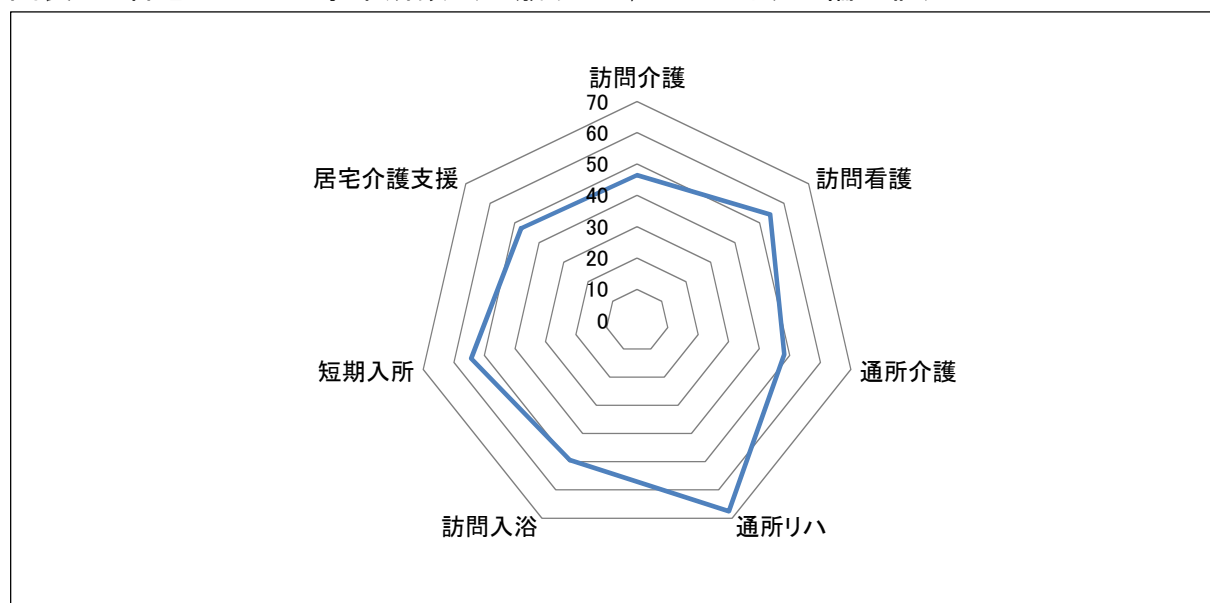
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
久留米	50	11.3%	0.8	68	7	14.3%	0.1	49	45	11.9%	0.8	54

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
久留米	140	8.6%	2.3	47

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
久留米	2,632	5.3%	44.0	38	609	6.8%	10.2	44	236	9.6%	3.9	57

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



八女・筑後

■ 人口動態と要介護者の現状

八女・筑後は、人口132,930人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は39,486人、高齢化率(65歳以上人口割合)は30%と高い。

要介護数(認定者)は5,497人、要介護認定率は14%とやや高い。うち要介護3以上は2,522人、要介護者数に占める割合は46%と低い。

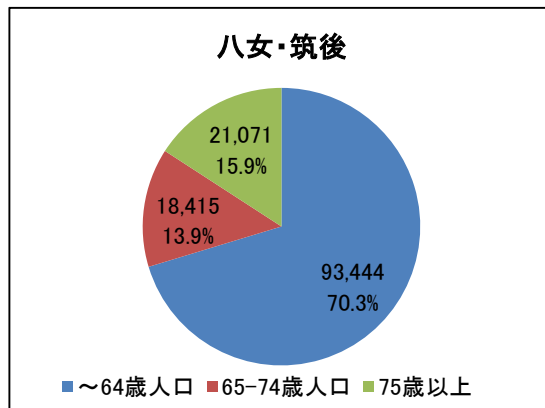
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
八女・筑後	132,930	39,486	21,071	30%	56	16,709	35%	30%

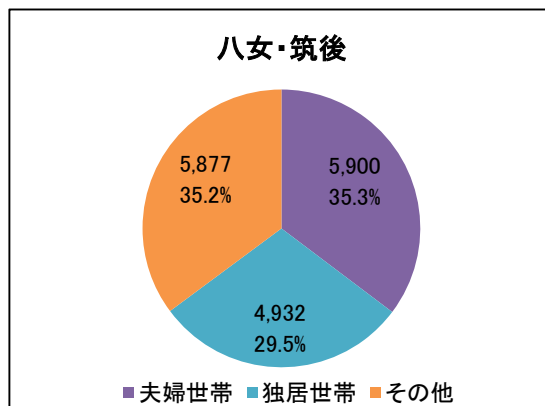
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
八女・筑後	5,497	14%	53	2,522	46%	43

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



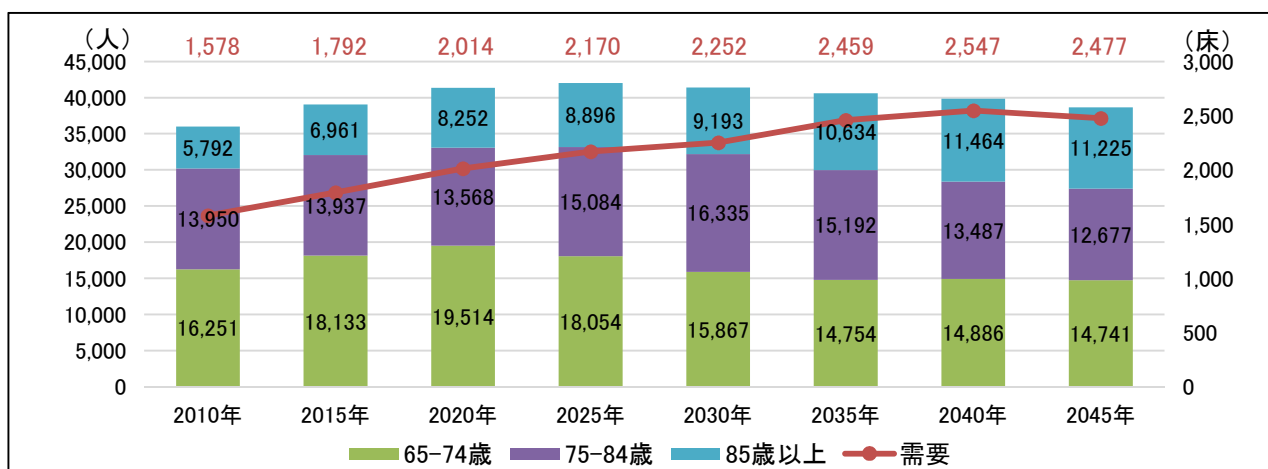
八女・筑後

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、八女・筑後の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が20,898(13,937+6,961)人であるが、ピーク時の2035年には25,826人まで増加すると推計され、2015年比24%増加する。

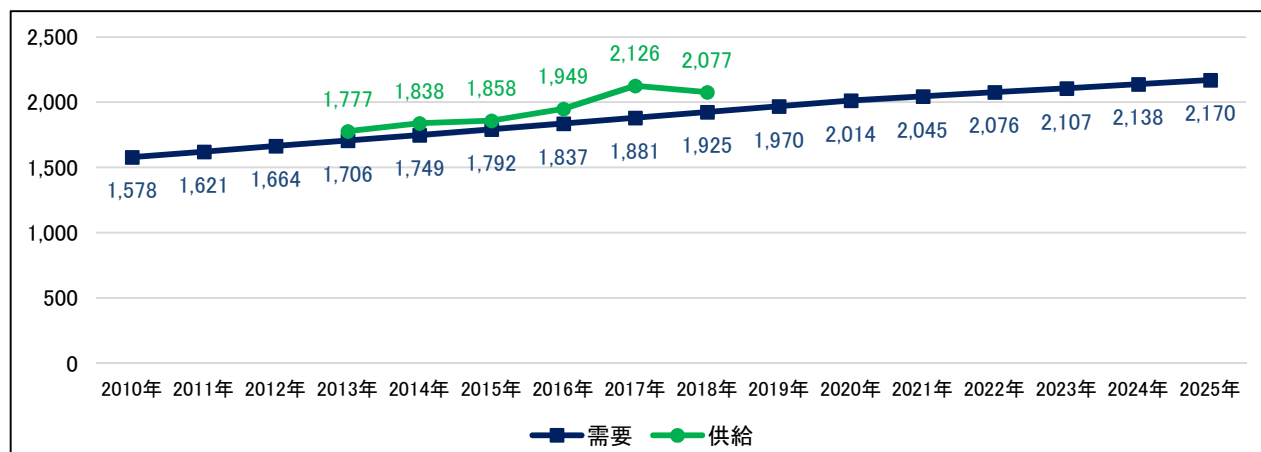
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、八女・筑後の施設需要のピークは2040年の2,547人であり、2015年の1,792人と比べ、42%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、八女・筑後の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,749人、供給1,838人と「供給>需要(+5%)」である。2018年は需要1,925人、供給2,077人と「供給>需要(+8%)」である。八女・筑後の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、やや余裕がある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



八女・筑後

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,091人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,579床(偏差値61)、高齢者住宅等が512床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム60、サ高住(特定施設)54である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値62と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値52と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
八女・筑後	2,091	3.2%	99	55	1,579	3.8%	75	61	512	2.2%	24	46

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
八女・筑後	654	4.5%	31	65	925	4.0%	44	59	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
八女・筑後	89	0.7%	4.2	40	0	0.0%	0	43	378	3.8%	17.9	60

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
八女・筑後	45	12.5%	2.1	54	209,785		12.9	(6.8)
					148	1.8%	7.0	41

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
八女・筑後	1,940	3.7%	92	62	163	3.0%	7.7	52

八女・筑後

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値71と非常に多い。

人口当たり回復期病床は偏差値59と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値70と非常に多い。

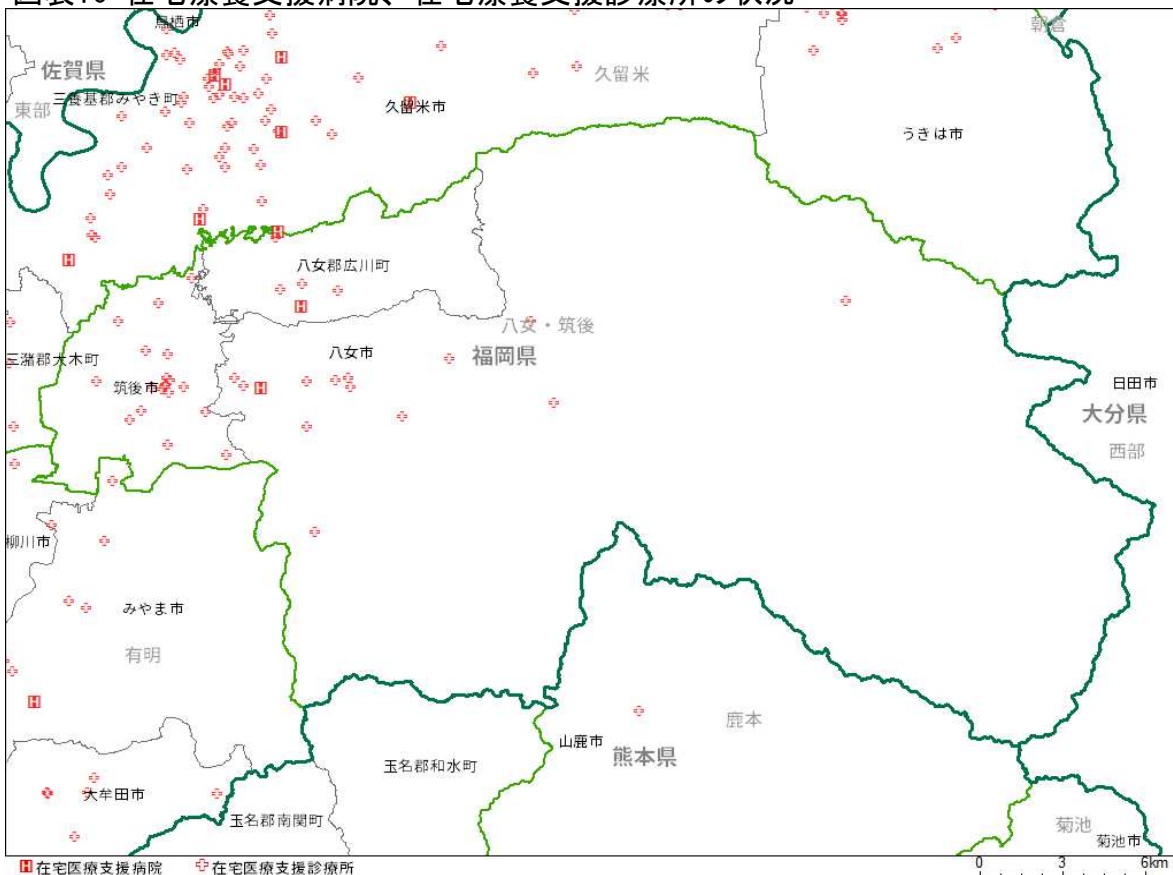
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
八女・筑後	2	2.4%	0.1	51	38	4.6%	1.8	71

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
八女・筑後	139	3.0%	104.6	59	226	3.8%	170.0	70

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



八女・筑後

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値42と少なく、訪問看護が偏差値43と少なく、通所介護が偏差値54とやや多い。通所リハが偏差値57と多く、訪問入浴が偏差値42と少なく、短期入所が偏差値53とやや多く、居宅介護支援が偏差値40と少ない。訪問介護利用者数は偏差値36と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値45と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値53と全国平均レベルをやや上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
八女・筑後	31	2.0%	1.5	42	11	2.1%	0.5	43	67	3.2%	3.2	54

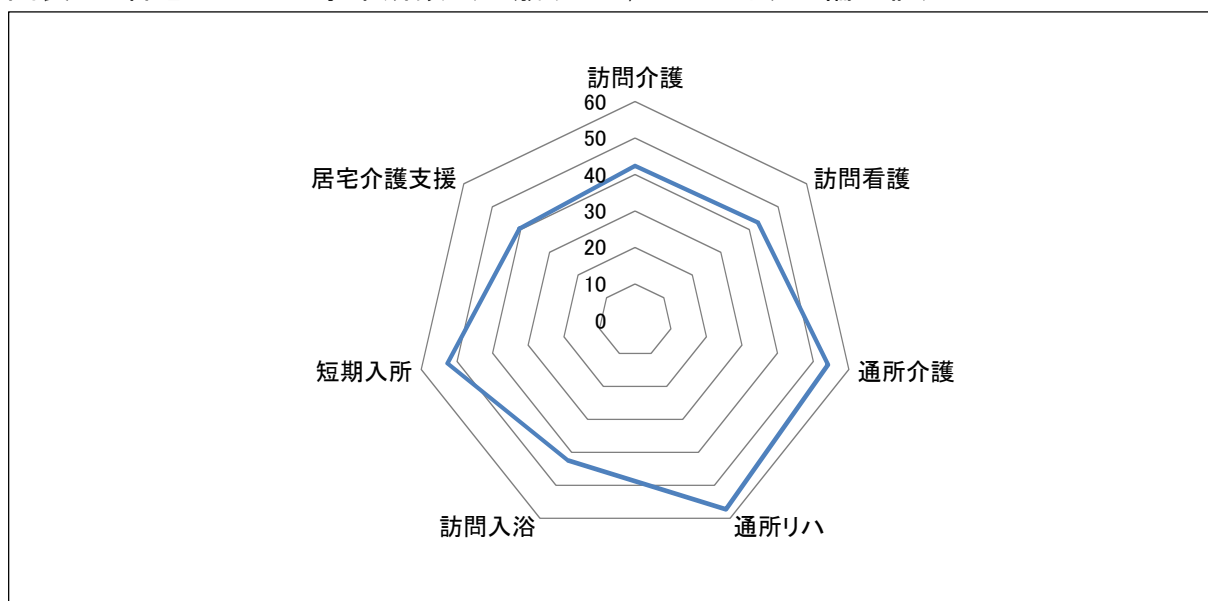
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
八女・筑後	13	2.9%	0.6	57	1	2.0%	0.0	42	15	4.0%	0.7	53

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
八女・筑後	41	2.5%	1.9	40

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
八女・筑後	784	1.6%	37.2	36	222	2.5%	10.6	45	73	3.0%	3.5	53

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



有明

■ 人口動態と要介護者の現状

有明は、人口223,276人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は75,403人、高齢化率(65歳以上人口割合)は34%と高い。

要介護数(認定者)は10,775人、要介護認定率は14%とやや高い。うち要介護3以上は5,063人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

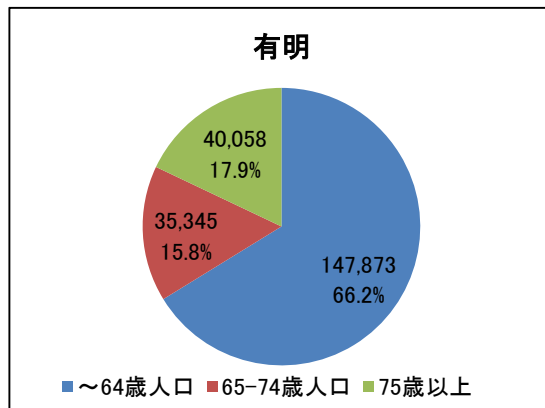
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
有明	223,276	75,403	40,058	34%	64	36,387	32%	36%

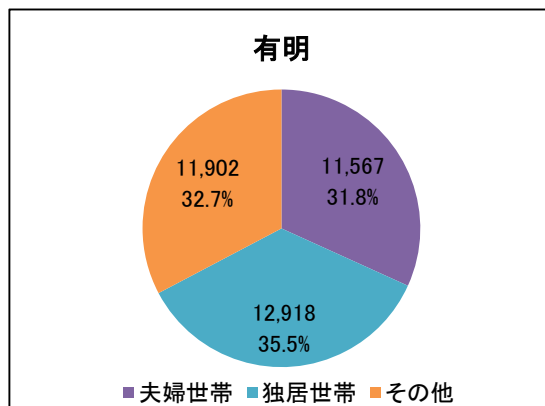
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
有明	10,775	14%	55	5,063	47%	46

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



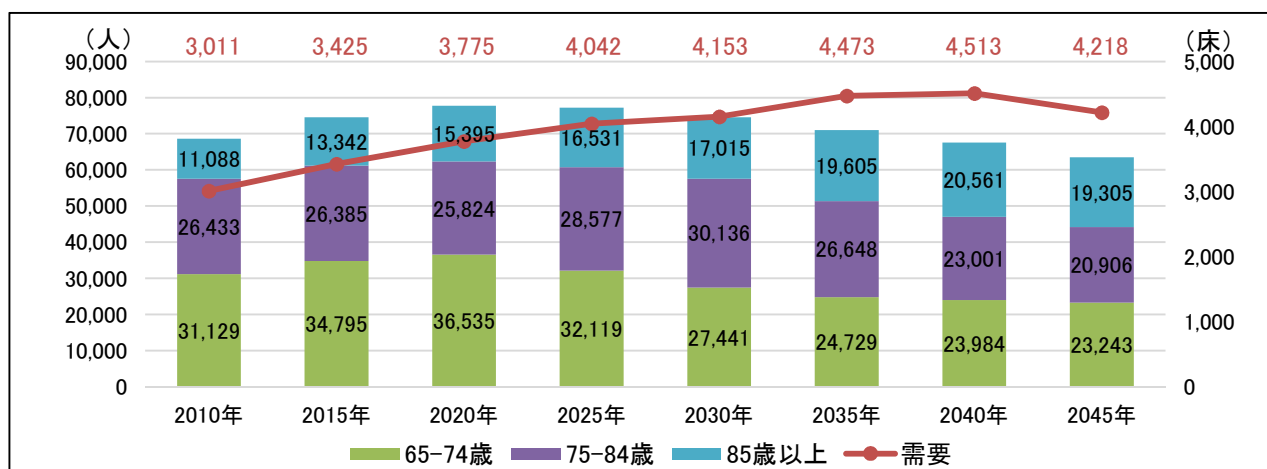
有明

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、有明の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が39,727(26,385+13,342)人であるが、ピーク時の2030年には47,151人まで増加すると推計され、2015年比19%増加する。

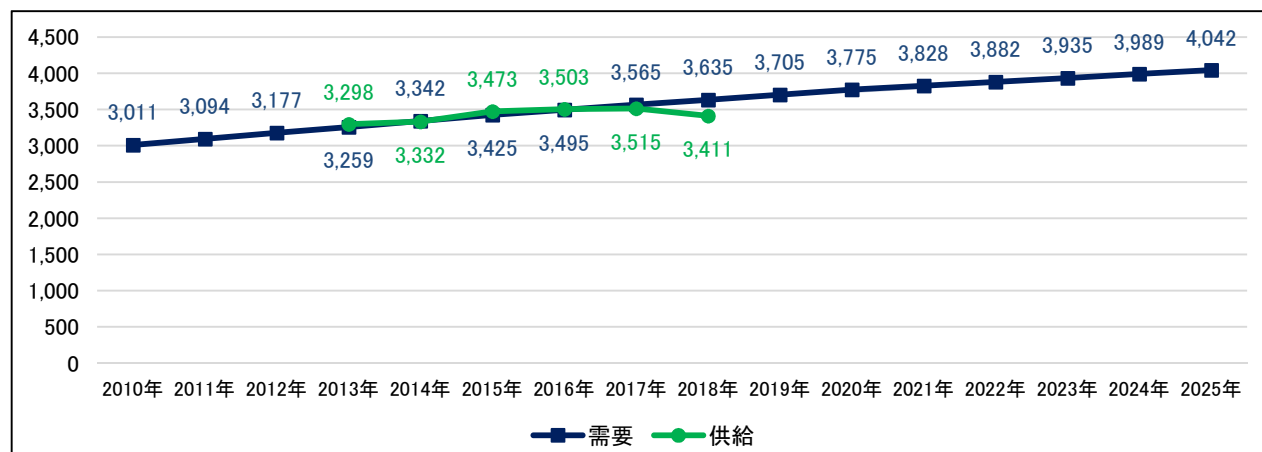
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、有明の施設需要のピークは2040年の4,513人であり、2015年の3,425人と比べ、32%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、有明の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要3,342人、供給3,332人と「供給<需要(0%)」である。2018年は需要3,635人、供給3,411人と「供給<需要(-6%)」である。有明の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



有明

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,625人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,799床(偏差値57)、高齢者住宅等が826床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム44、軽費ホーム46、グループホーム50、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値56と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値62と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
有明	3,625	5.6%	90	50	2,799	6.7%	70	57	826	3.6%	21	43

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
有明	1,158	8.0%	29	61	1,384	6.0%	35	49	257	6.7%	6.4	57

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
有明	319	2.7%	8.0	44	20	1.9%	0.5	46	487	4.9%	12.2	50

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

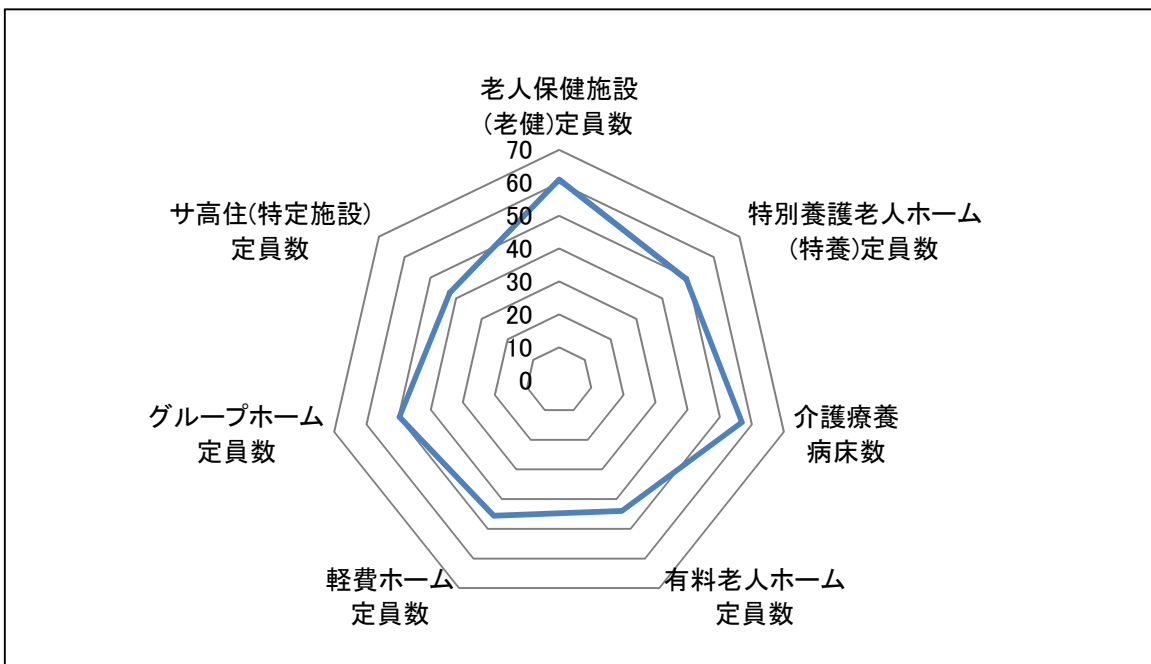
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
有明	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					434	5.2%	10.8	47

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

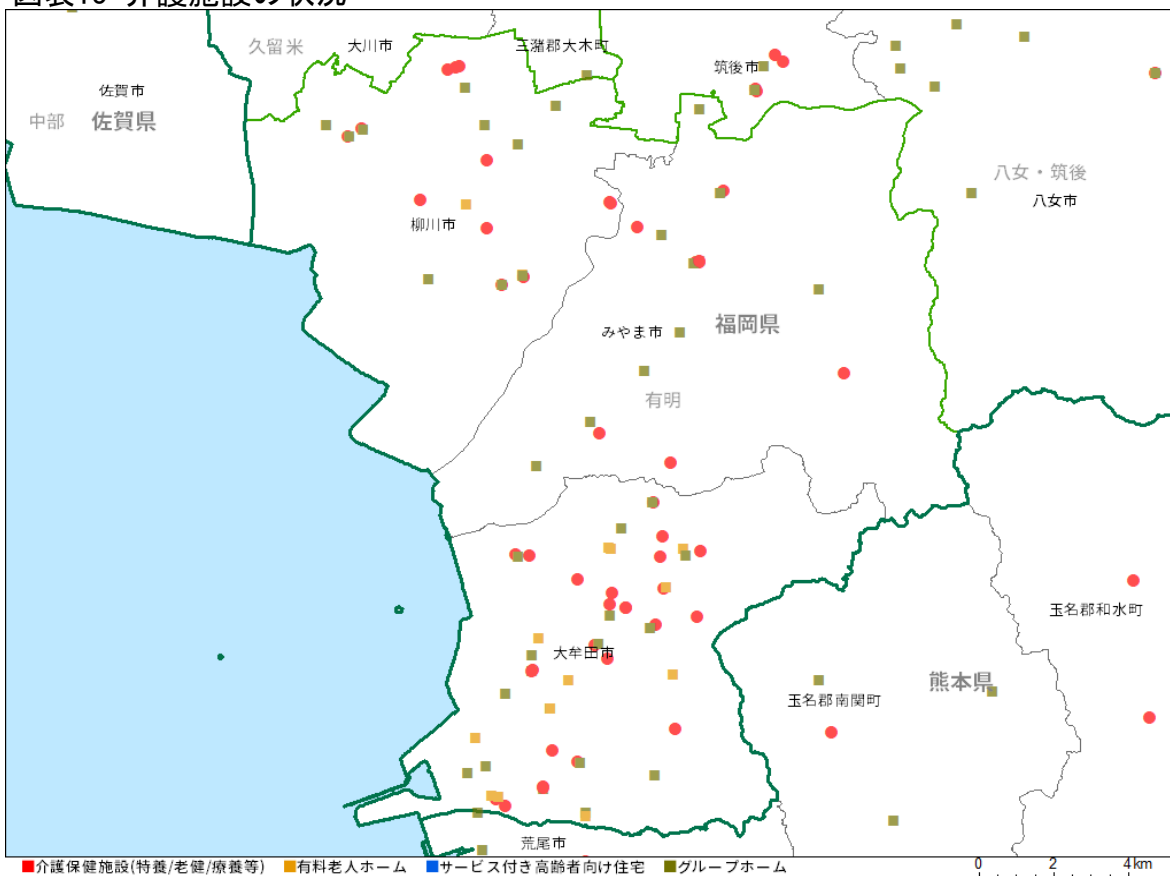
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
有明	3,417	6.5%	85	56	392	7.2%	9.8	62

有明

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



有明

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値53とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値70と非常に多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値69と非常に多い。

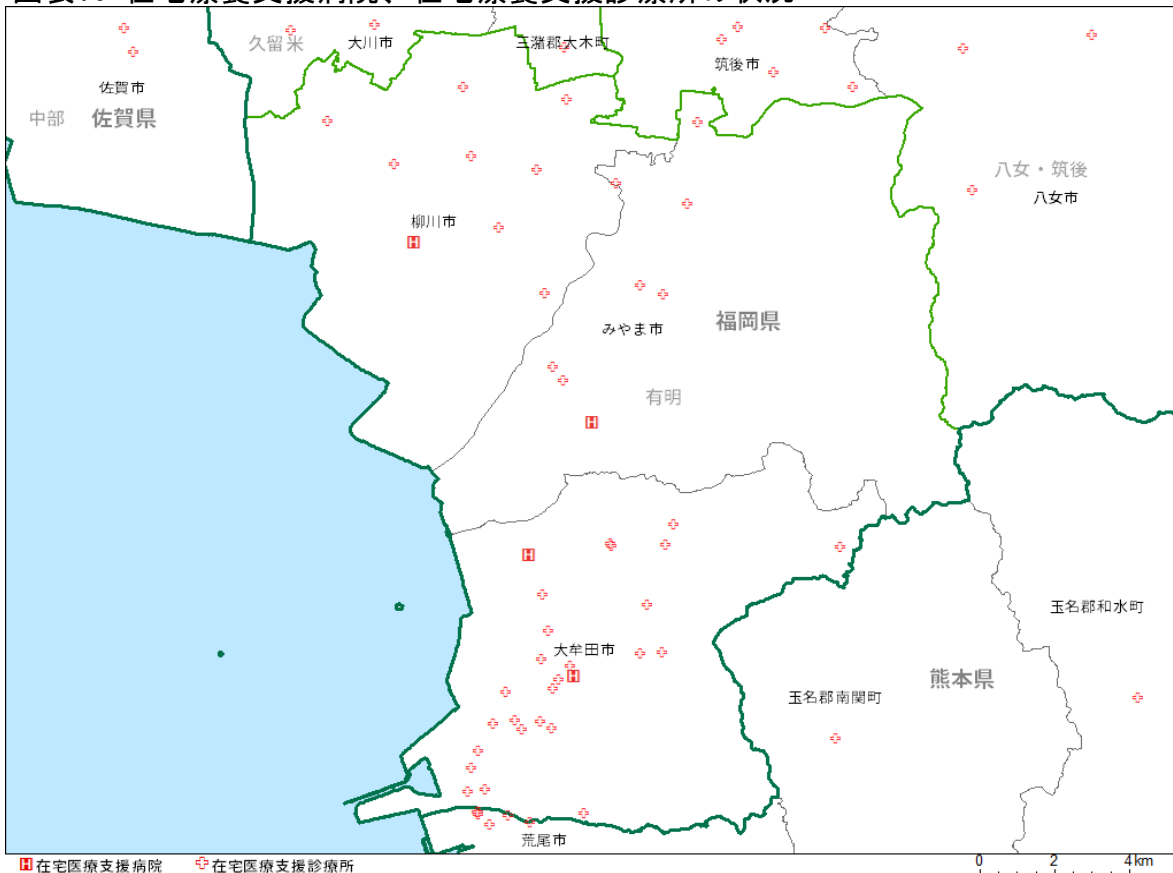
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
有明	4	4.8%	0.1	52	41	5.0%	1.0	53

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
有明	345	7.4%	154.5	70	368	6.1%	164.8	69

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



有明

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値50と全国平均レベル、訪問看護が偏差値47とやや少なく、通所介護が偏差値47とやや少ない。通所リハが偏差値69と非常に多く、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値46とやや少なく、居宅介護支援が偏差値45とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値39と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値47と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値45と全国平均レベルをやや下回る。

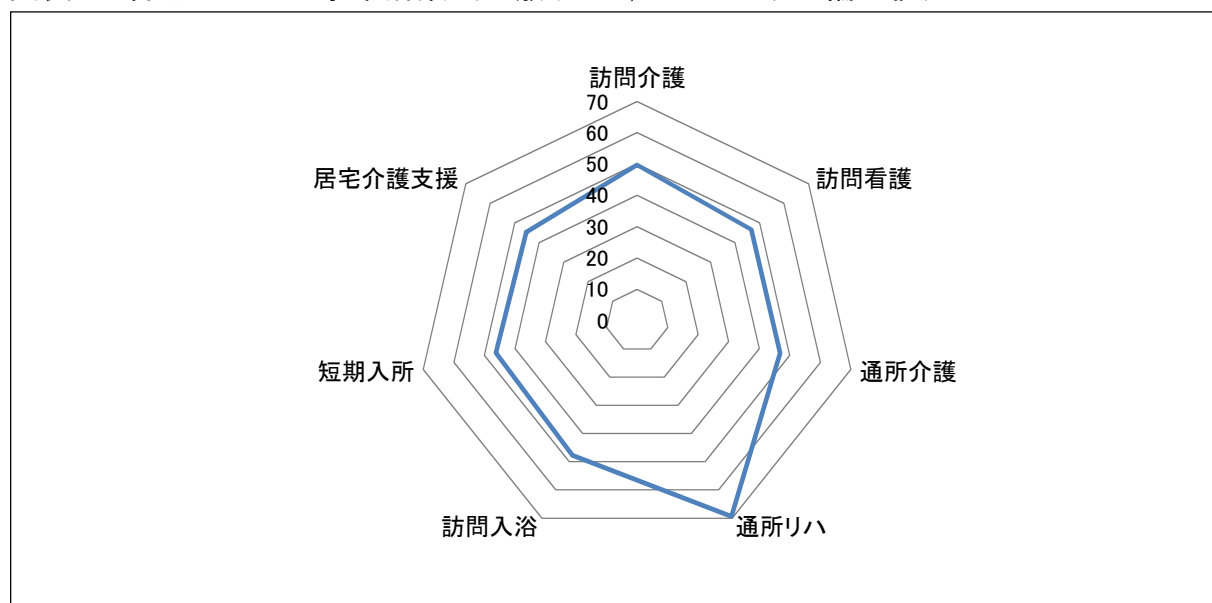
図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
有明	82	5.4%	2.0	50	24	4.6%	0.6	47	98	4.6%	2.4	47
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
有明	35	7.9%	0.9	69	4	8.2%	0.1	48	22	5.8%	0.5	46
二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	40,664		2.5	(0.6)								
有明	89	5.5%	2.2	45								

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
有明	1,847	3.8%	46.1	39	487	5.5%	12.2	47	105	4.3%	2.6	45

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



飯塚

■ 人口動態と要介護者の現状

飯塚は、人口181,385人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は55,468人、高齢化率(65歳以上人口割合)は31%と高い。

要介護数(認定者)は8,073人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は3,846人、要介護者数に占める割合は48%と全国平均レベルである。

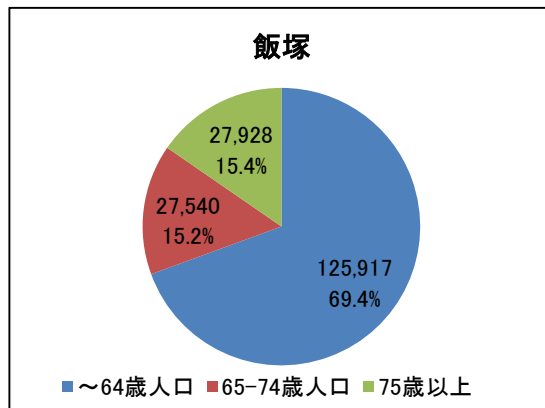
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
飯塚	181,385	55,468	27,928	31%	58	29,797	31%	39%

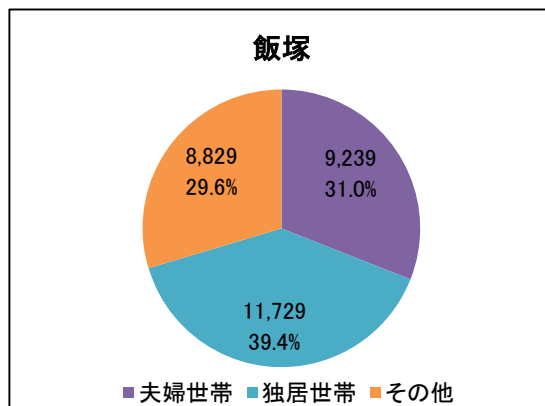
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
飯塚	8,073	15%	56	3,846	48%	48

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



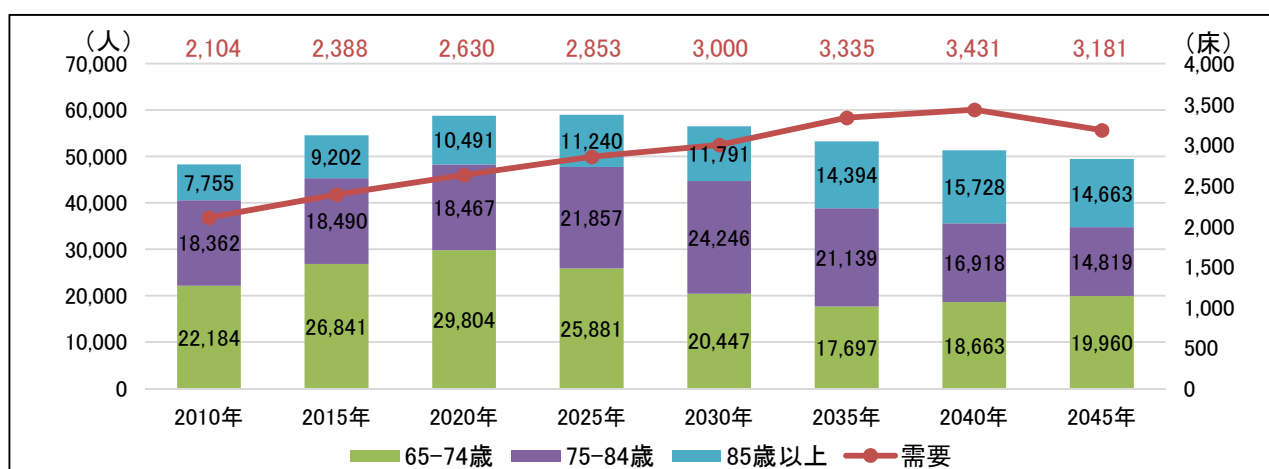
飯塚

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、飯塚の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が27,692(18,490+9,202)人であるが、ピーク時の2030年には36,037人まで増加すると推計され、2015年比30%増加する。

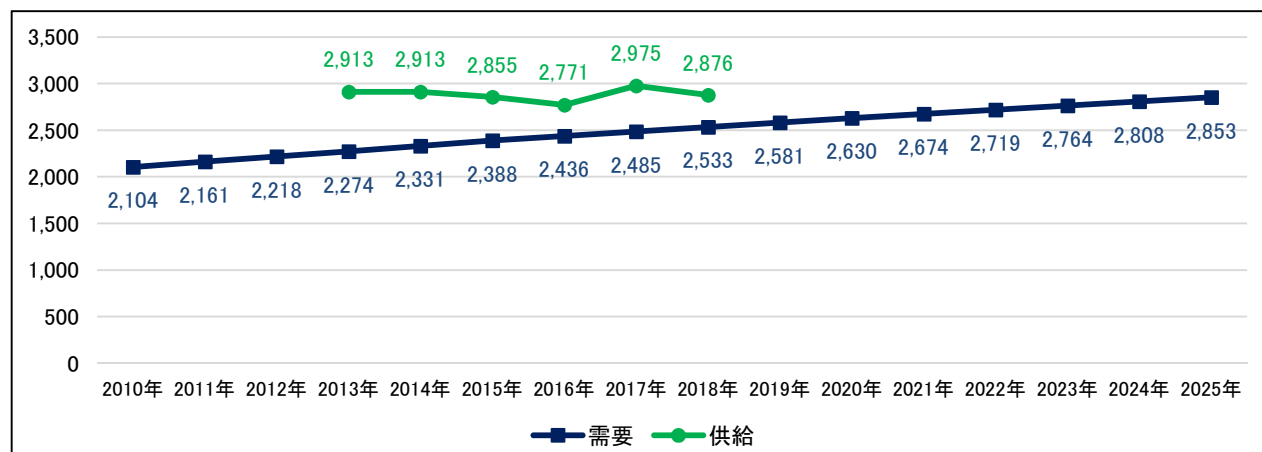
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、飯塚の施設需要のピークは2040年の3,431人であり、2015年の2,388人と比べ、44%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、飯塚の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要2,331人、供給2,913人と「供給>需要(+25%)」である。2018年は需要2,533人、供給2,876人と「供給>需要(+14%)」である。飯塚の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の余裕のある状況から、2018年のやや余裕がある状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



飯塚

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,104人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,209床(偏差値64)、高齢者住宅等が895床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム49、軽費ホーム57、グループホーム55、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値57と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値58と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
飯塚	3,104	4.8%	111	63	2,209	5.3%	79	64	895	3.8%	32	52

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
飯塚	810	5.6%	29	61	1,282	5.5%	46	61	117	3.0%	4.2	51

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
飯塚	385	3.2%	13.8	49	80	7.7%	2.9	57	430	4.3%	15.4	55

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

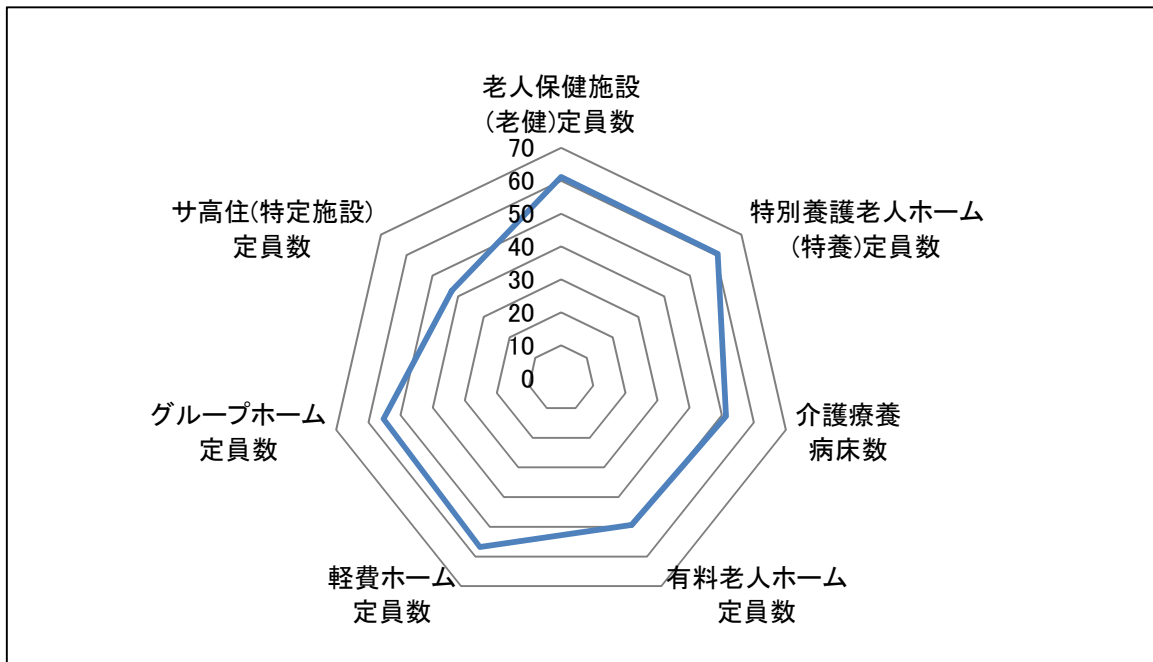
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
飯塚	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					485	5.8%	17.4	57

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

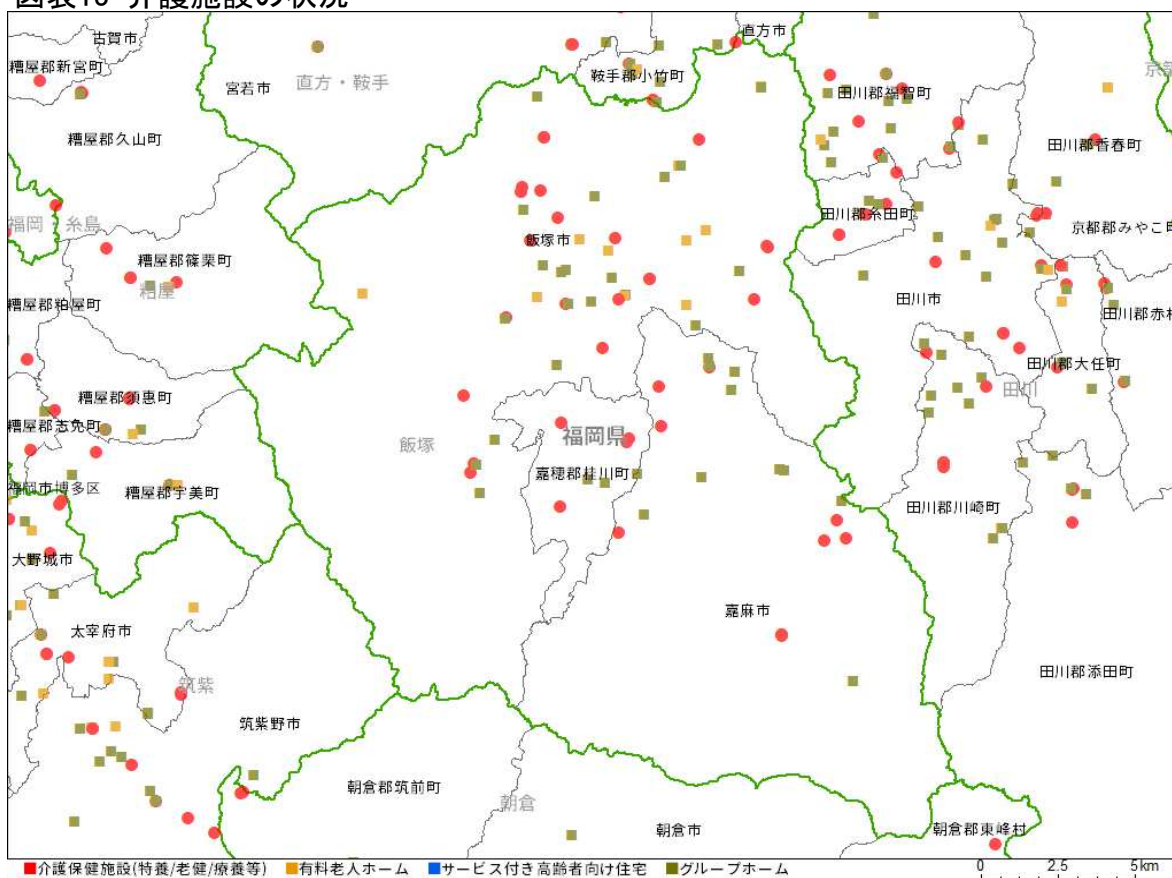
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
飯塚	2,417	4.6%	87	57	250	4.6%	8.9	58

飯塚

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



飯塚

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。在宅療養支援診療所数は偏差値47とやや少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値51と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値96と非常に多い。

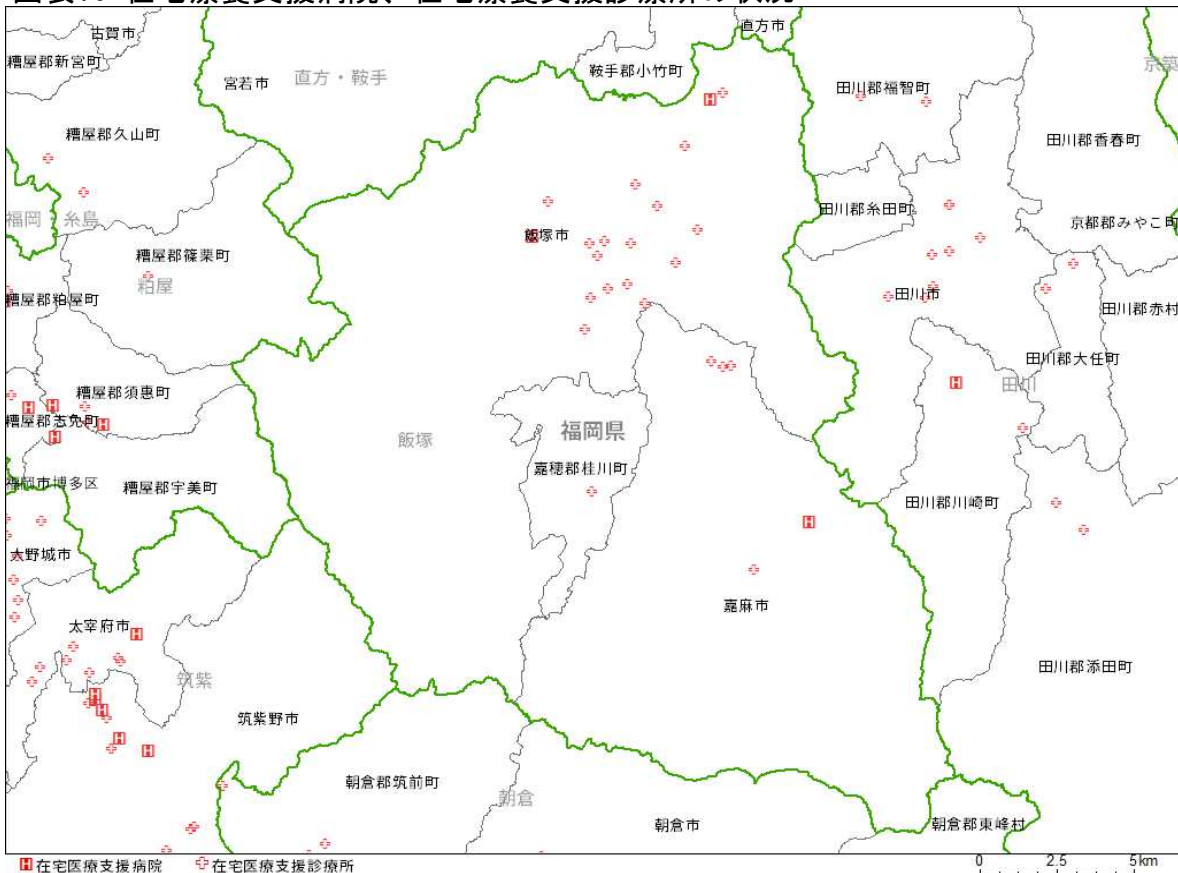
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
飯塚	3	3.6%	0.1	53	21	2.6%	0.8	47

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
飯塚	122	2.6%	67.3	51	585	9.7%	322.5	96

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



飯塚

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値70と非常に多く、訪問看護が偏差値60と多く、通所介護が偏差値63と多い。通所リハが偏差値55とやや多く、訪問入浴が偏差値41と少なく、短期入所が偏差値54とやや多く、居宅介護支援が偏差値57と多い。訪問介護利用者数は偏差値51と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値58と全国平均レベルを上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値53と全国平均レベルをやや上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
飯塚	101	6.7%	3.6	70	25	4.8%	0.9	60	114	5.4%	4.1	63

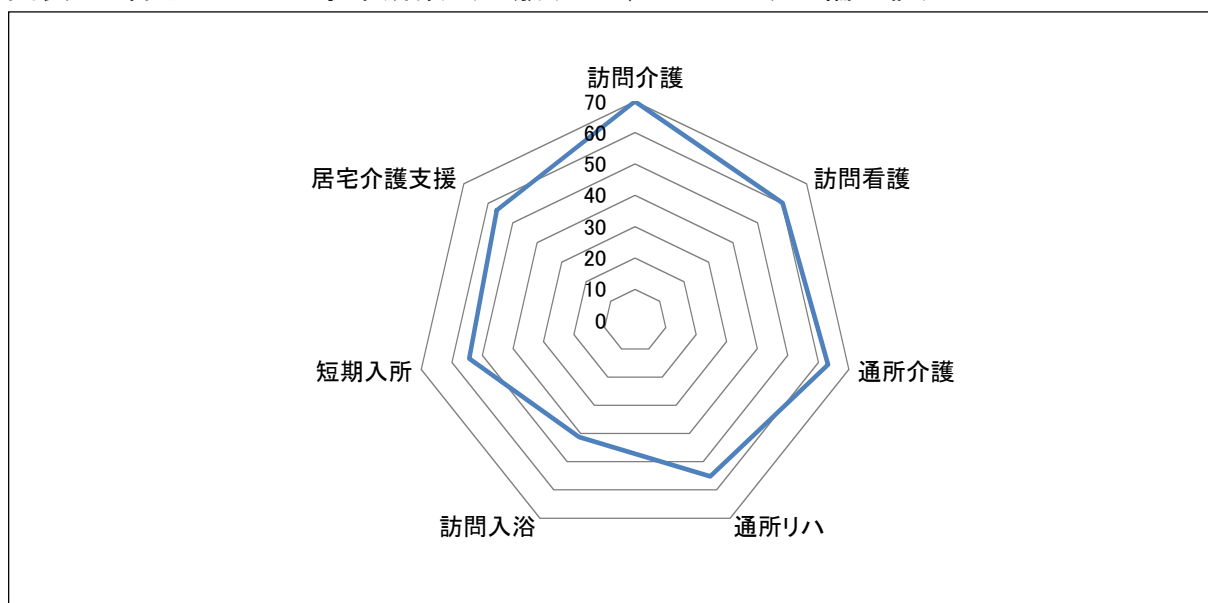
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
飯塚	16	3.6%	0.6	55	1	2.0%	0.0	41	21	5.6%	0.8	54

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
飯塚	80	4.9%	2.9	57

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
飯塚	2,128	4.3%	76.2	51	509	5.7%	18.2	58	97	3.9%	3.5	53

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



直方・鞍手

■ 人口動態と要介護者の現状

直方・鞍手は、人口109,075人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は35,796人、高齢化率(65歳以上人口割合)は33%と高い。

要介護数(認定者)は5,276人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は2,471人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

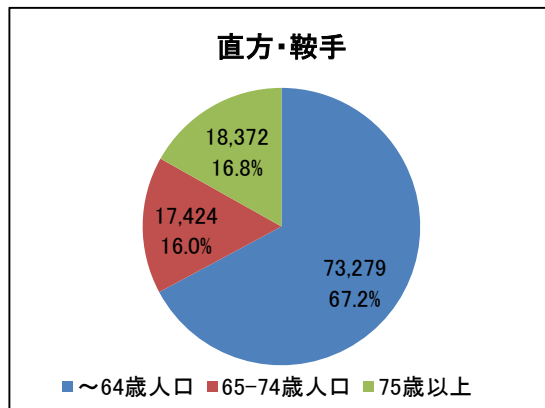
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
直方・鞍手	109,075	35,796	18,372	33%	62	18,845	32%	37%

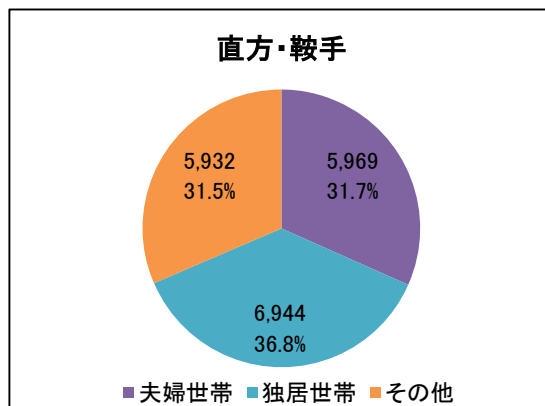
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
直方・鞍手	5,276	15%	57	2,471	47%	46

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



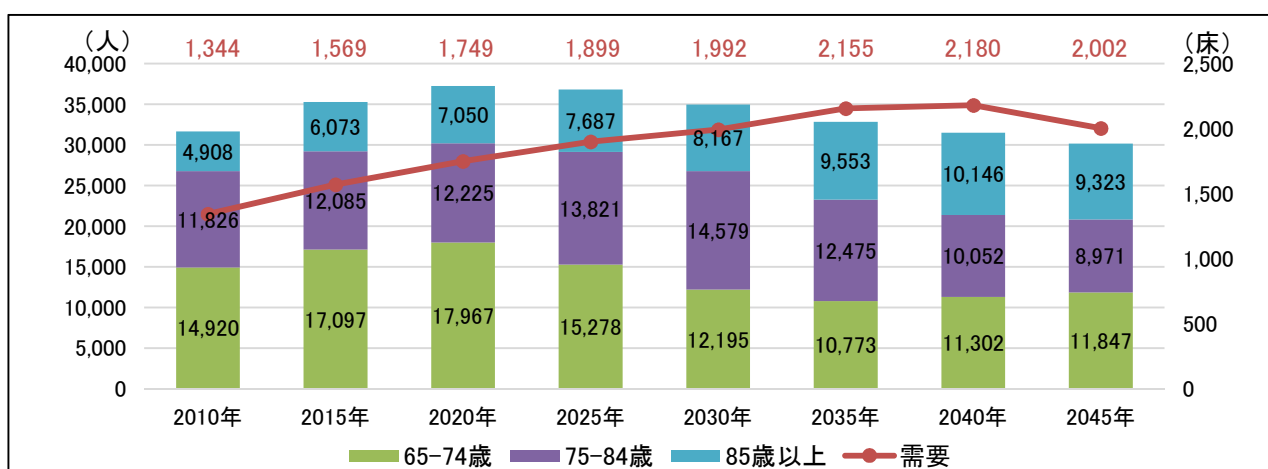
直方・鞍手

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、直方・鞍手の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が18,158(12,085+6,073)人であるが、ピーク時の2030年には22,746人まで増加すると推計され、2015年比25%増加する。

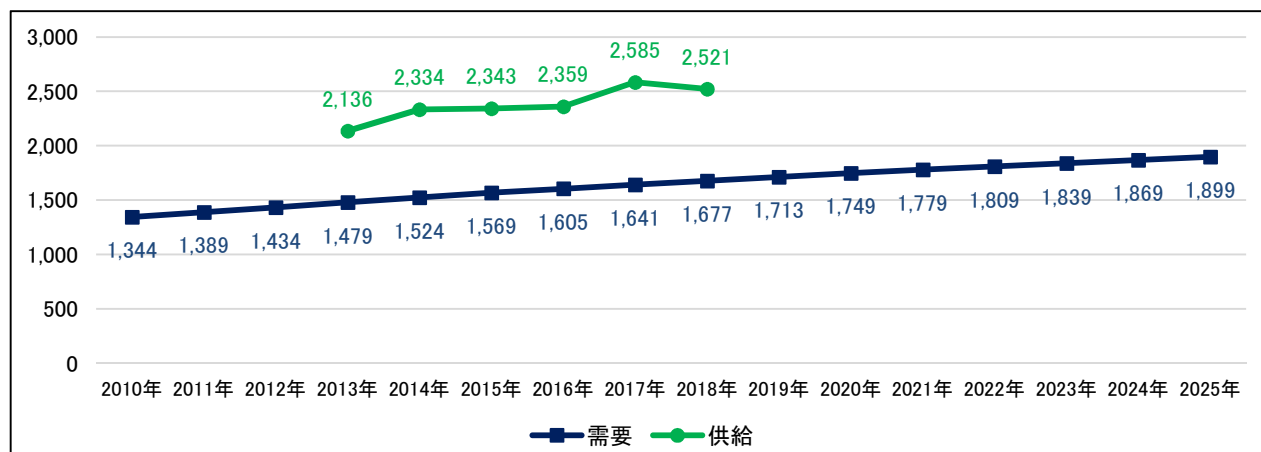
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、直方・鞍手の施設需要のピークは2040年の2,180人であり、2015年の1,569人と比べ、39%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、直方・鞍手の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,524人、供給2,334人と「供給>需要(+53%)」である。2018年は需要1,677人、供給2,521人と「供給>需要(+50%)」である。直方・鞍手の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、かなり余裕のある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



直方・鞍手

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,465人(75歳以上1,000人当たりの偏差値78)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,330床(偏差値59)、高齢者住宅等が1,135床(偏差値76)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設69、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム64、軽費ホーム69、グループホーム68、サ高住(特定施設)63である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値64と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値67と全国平均レベルを大きく上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
直方・鞍手	2,465	3.8%	134	78	1,330	3.2%	72	59	1,135	4.9%	62	76

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
直方・鞍手	614	4.2%	33	69	570	2.5%	31	46	146	3.8%	7.9	61

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
直方・鞍手	543	4.5%	29.6	64	100	9.7%	5.4	69	423	4.3%	23.0	68

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

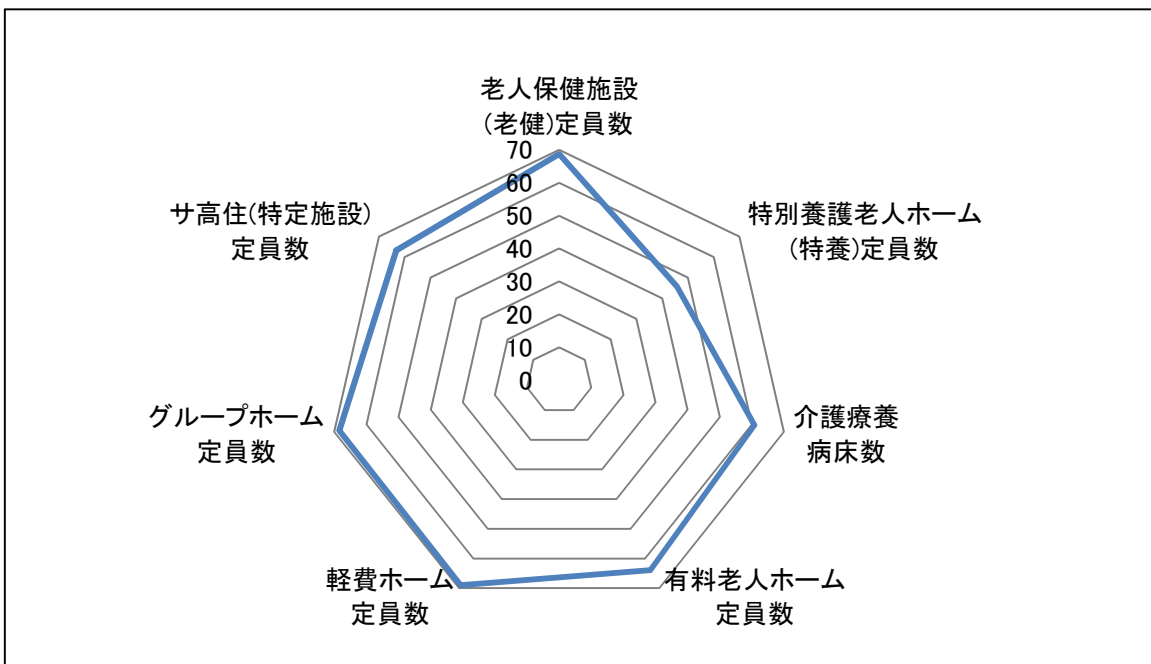
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
直方・鞍手	69	19.2%	3.8	63	209,785		12.9	(6.8)
					320	3.8%	17.4	57

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

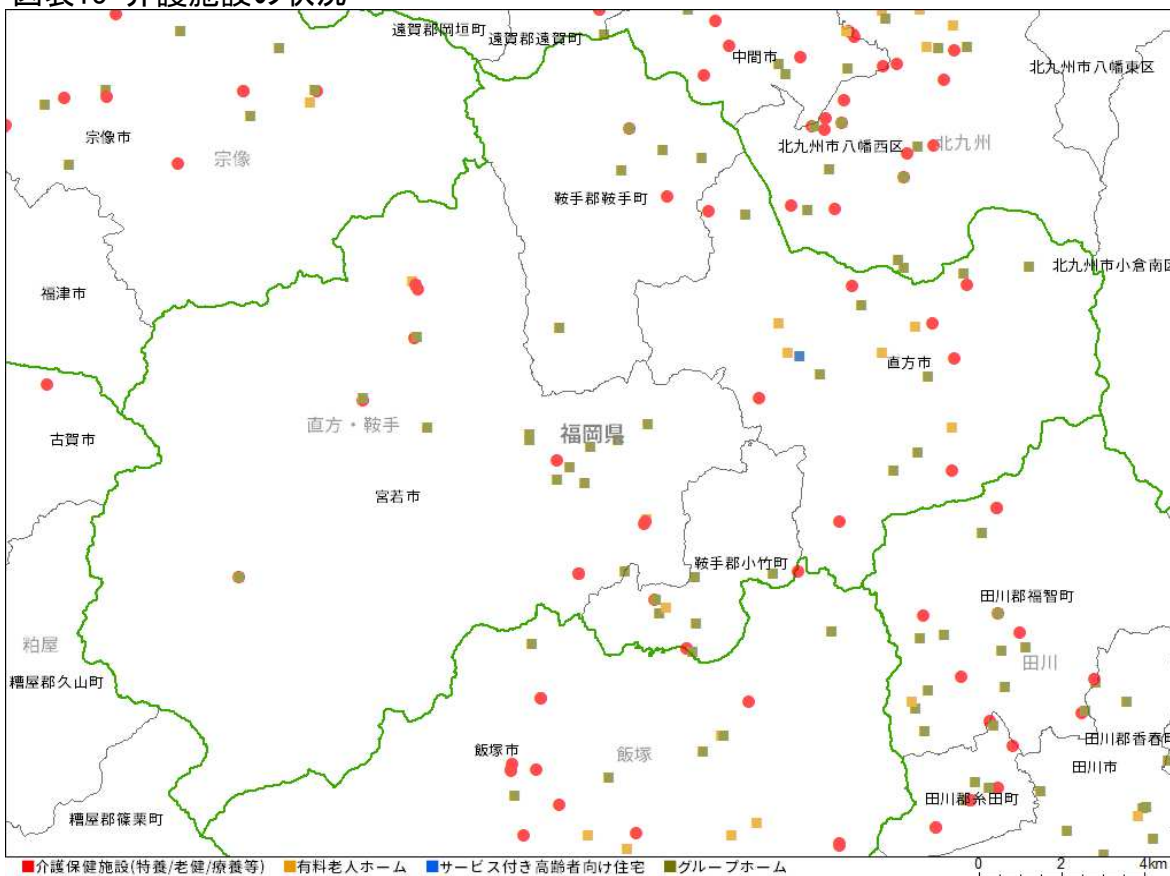
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
直方・鞍手	1,733	3.3%	94	64	196	3.6%	10.7	67

直方・鞍手

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



直方・鞍手

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値57と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値58と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値64と多い。

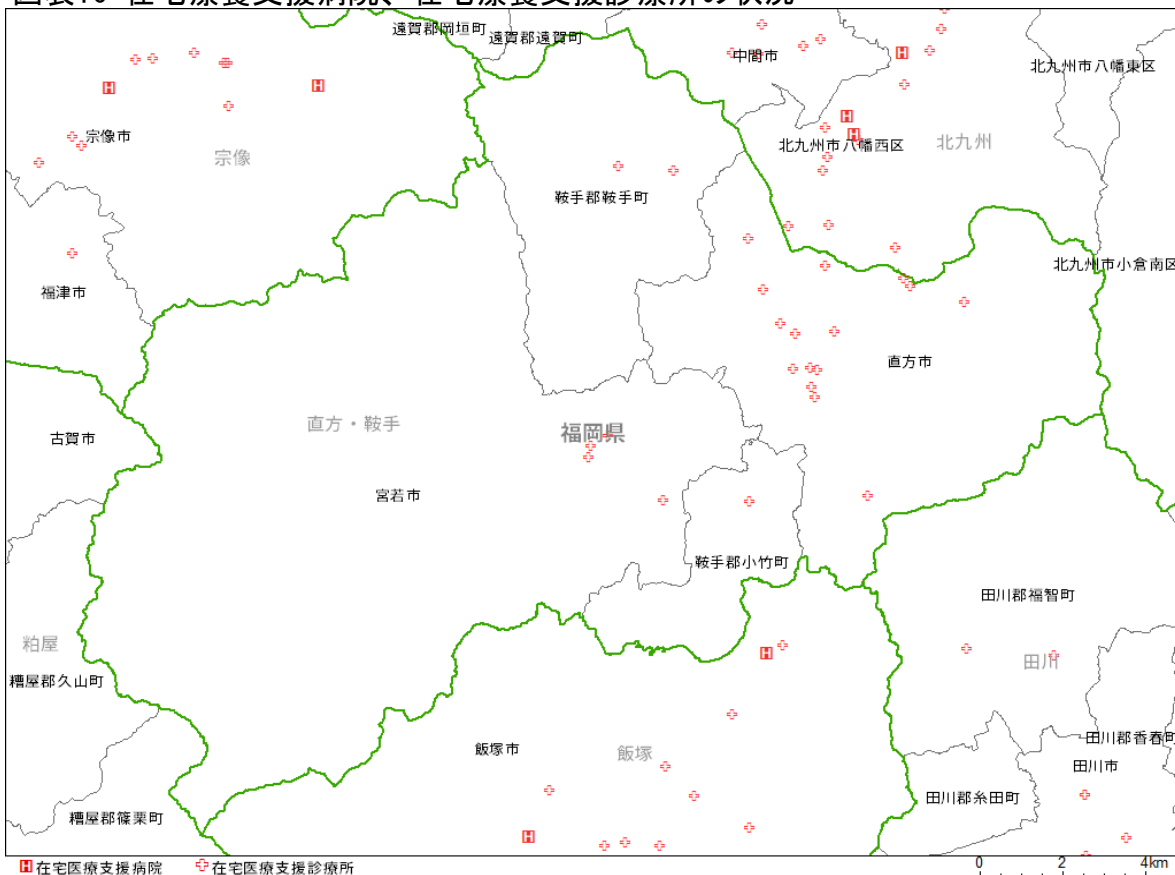
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
直方・鞍手	0	0.0%	0	38	22	2.7%	1.2	57

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
直方・鞍手	111	2.4%	101.8	58	153	2.5%	140.3	64

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



直方・鞍手

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値58と多く、訪問看護が偏差値59と多く、通所介護が偏差値59と多い。通所リハが偏差値72と非常に多く、訪問入浴が偏差値43と少なく、短期入所が偏差値55とやや多く、居宅介護支援が偏差値50と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値49と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値49と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値50と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
直方・鞍手	49	3.2%	2.7	58	16	3.1%	0.9	59	68	3.2%	3.7	59

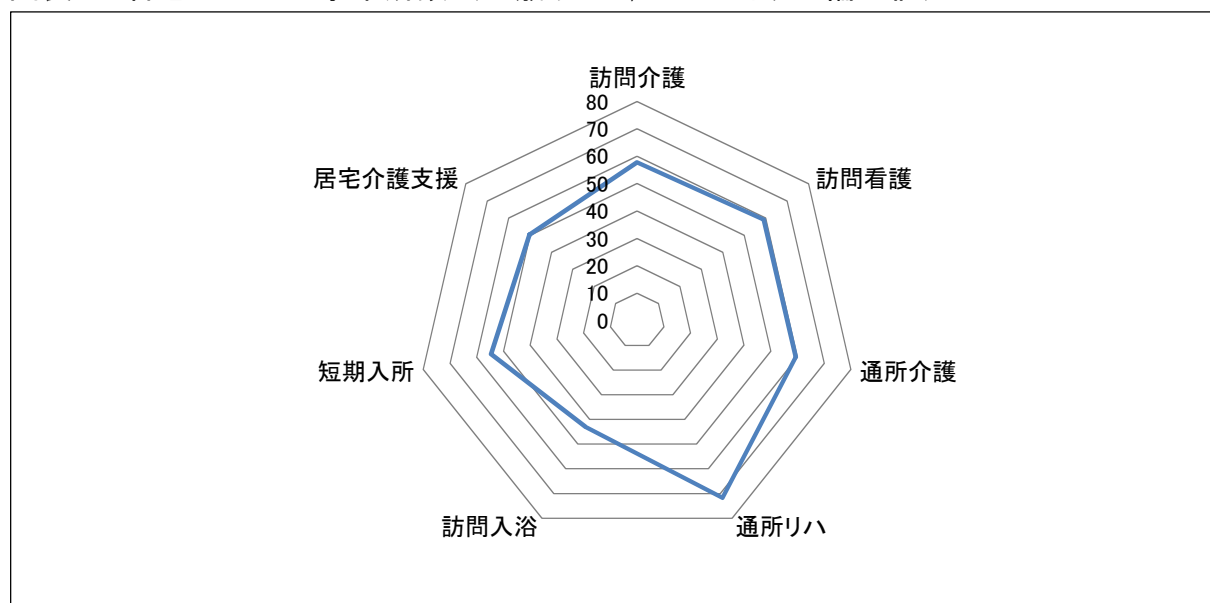
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
直方・鞍手	17	3.8%	0.9	72	1	2.0%	0.1	43	14	3.7%	0.8	55

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
直方・鞍手	46	2.8%	2.5	50

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
直方・鞍手	1,306	2.7%	71.1	49	241	2.7%	13.1	49	58	2.4%	3.2	50

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



田川

■ 人口動態と要介護者の現状

田川は、人口126,104人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は42,661人、高齢化率(65歳以上人口割合)は34%と高い。

要介護数(認定者)は5,788人、要介護認定率は14%と全国平均レベルである。うち要介護3以上は2,811人、要介護者数に占める割合は49%と全国平均レベルである。

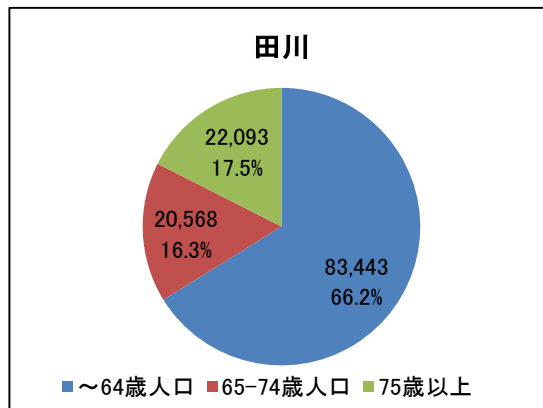
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
田川	126,104	42,661	22,093	34%	64	23,299	30%	44%

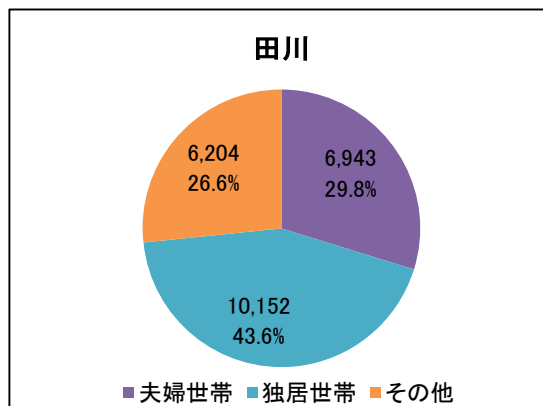
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
田川	5,788	14%	51	2,811	49%	51

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



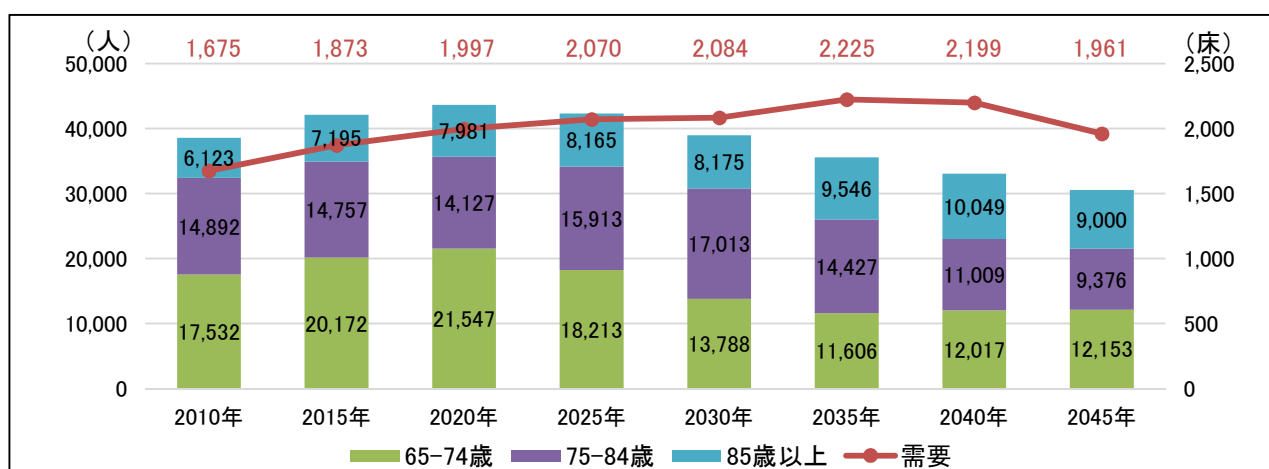
田川

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、田川の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が21,952(14,757+7,195)人であるが、ピーク時の2030年には25,188人まで増加すると推計され、2015年比15%増加する。

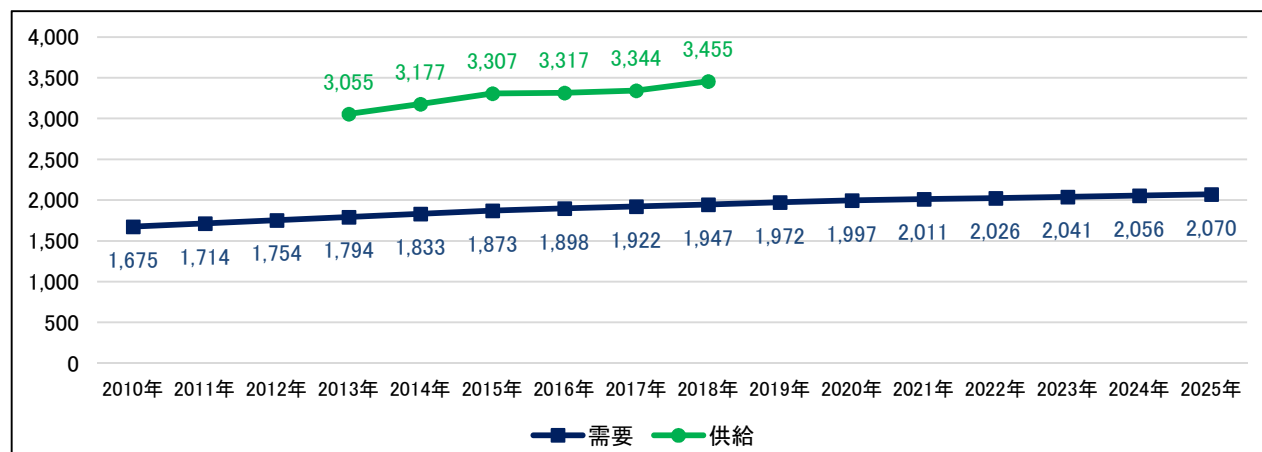
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、田川の施設需要のピークは2035年の2,225人であり、2015年の1,873人と比べ、19%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、田川の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,833人、供給3,177人と「供給>需要(+73%)」である。2018年は需要1,947人、供給3,455人と「供給>需要(+77%)」である。田川の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、かなり余裕のある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



田川

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,506人(75歳以上1,000人当たりの偏差値94)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,341床(偏差値86)、高齢者住宅等が1,165床(偏差値68)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設72、特別養護老人ホーム83、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム50、軽費ホーム60、グループホーム89、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値78と全国平均レベルを大きく上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値59と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
田川	3,506	5.4%	159	94	2,341	5.6%	106	86	1,165	5.0%	53	68

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
田川	780	5.4%	35	72	1,510	6.5%	68	83	51	1.3%	2.3	47

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
田川	312	2.6%	14.1	50	79	7.6%	3.6	60	774	7.8%	35.0	89

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

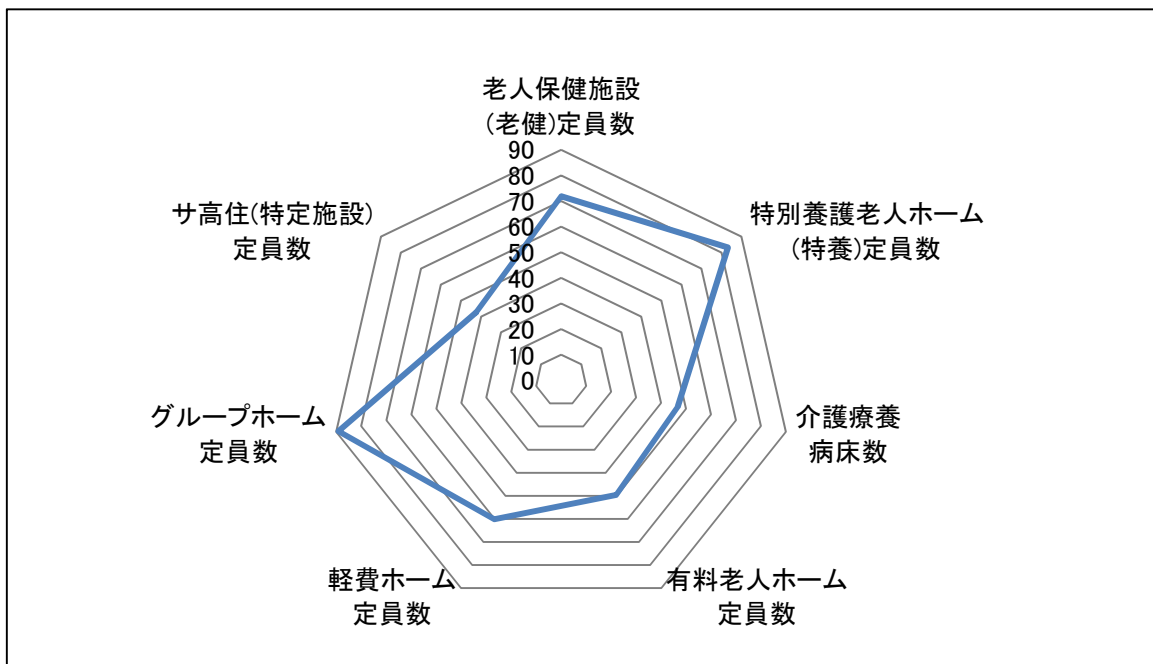
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
田川	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					244	2.9%	11.0	47

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

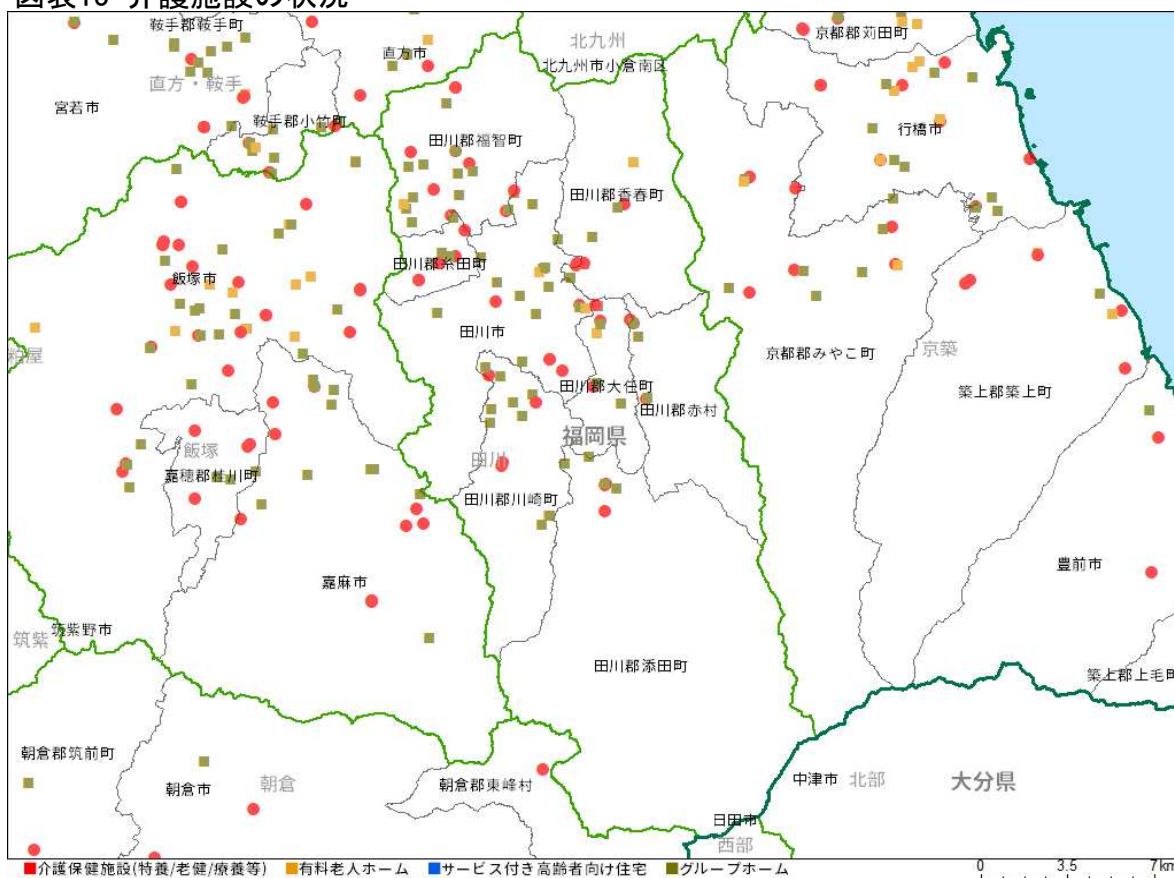
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
田川	2,444	4.6%	111	78	204	3.7%	9.2	59

田川

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



田川

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値48と全国平均レベルである。

人口当たり回復期病床は偏差値47とやや少ない。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値58と多い。

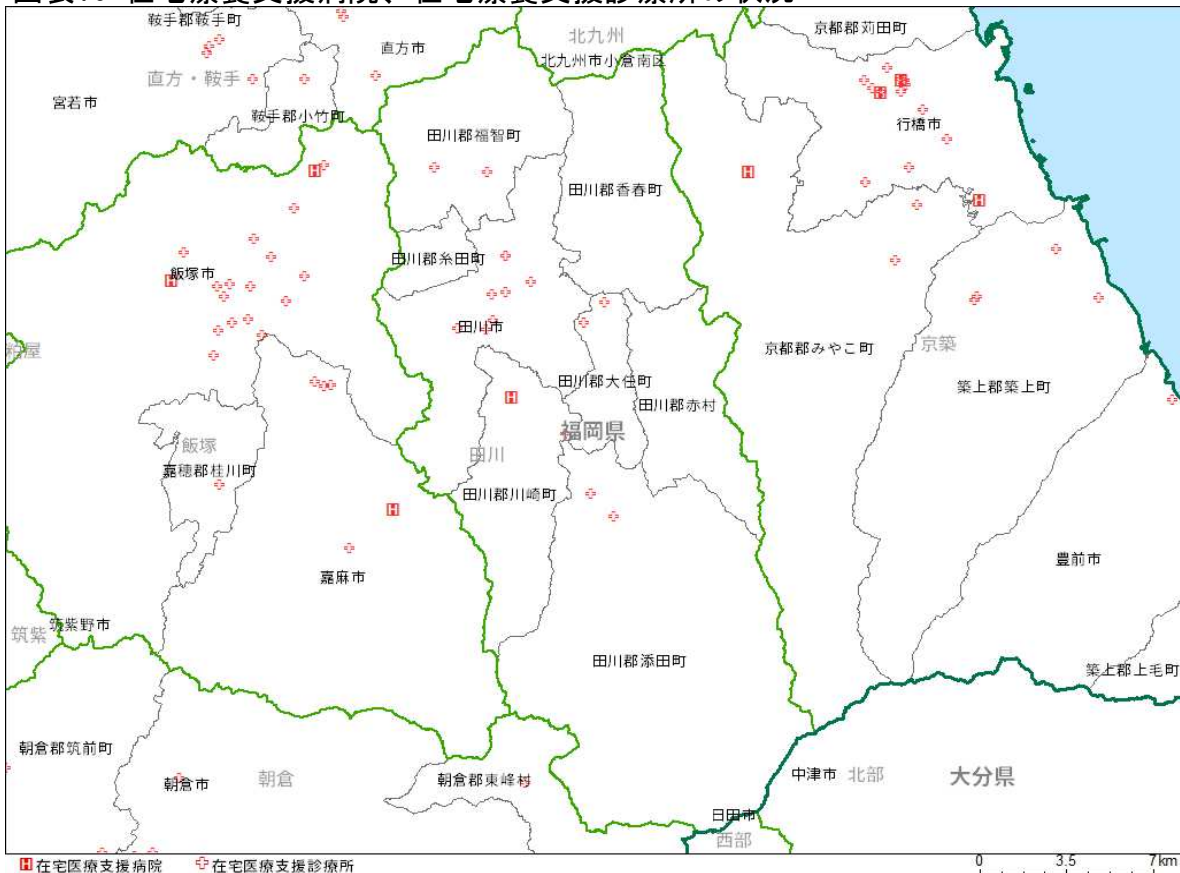
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
田川	1	1.2%	0.0	44	17	2.1%	0.8	48

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
田川	60	1.3%	47.6	47	133	2.2%	105.5	58

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



田川

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値96と非常に多く、訪問看護が偏差値75と非常に多く、通所介護が偏差値61と多い。通所リハが偏差値71と非常に多く、訪問入浴がなし(偏差値38)、短期入所が偏差値60と多く、居宅介護支援が偏差値63と多い。訪問介護利用者は偏差値59と多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値80と全国平均レベルを大きく上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値70と全国平均レベルを大きく上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
田川	125	8.2%	5.7	96	27	5.2%	1.2	75	86	4.1%	3.9	61

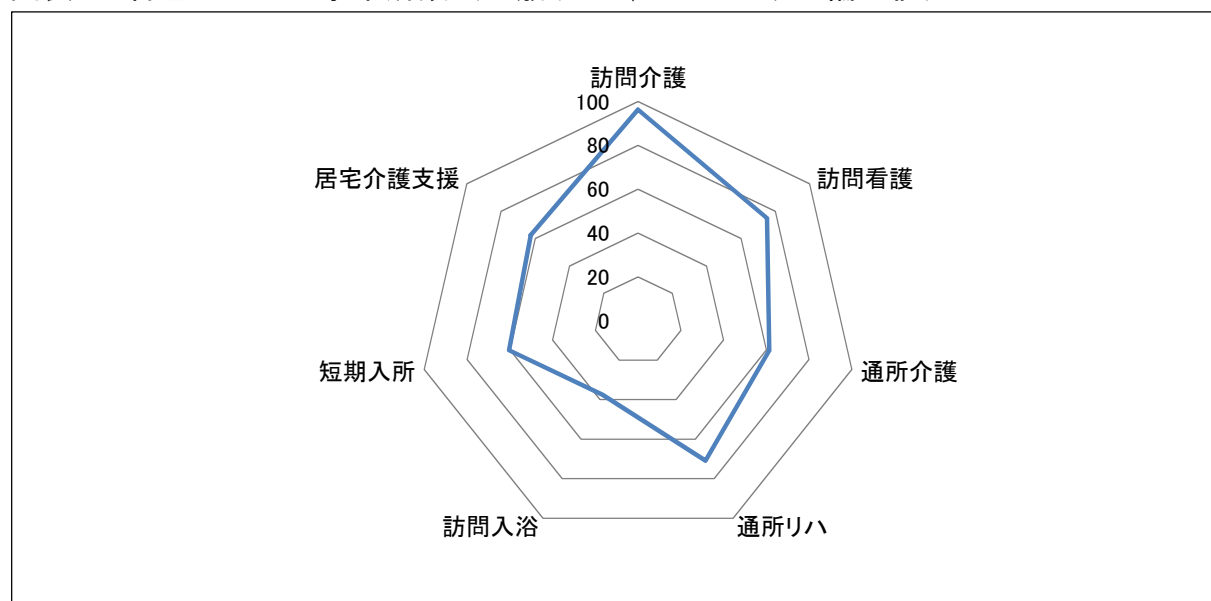
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
田川	20	4.5%	0.9	71	0	0.0%	0	38	20	5.3%	0.9	60

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
田川	71	4.4%	3.2	63

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
田川	2,159	4.4%	97.7	59	669	7.5%	30.3	80	118	4.8%	5.3	70

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



北九州

■ 人口動態と要介護者の現状

北九州は、人口1,096,744人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は325,207人、高齢化率(65歳以上人口割合)は30%と高い。

要介護数(認定者)は51,030人、要介護認定率は16%と高い。うち要介護3以上は22,266人、要介護者に占める割合は44%と低い。

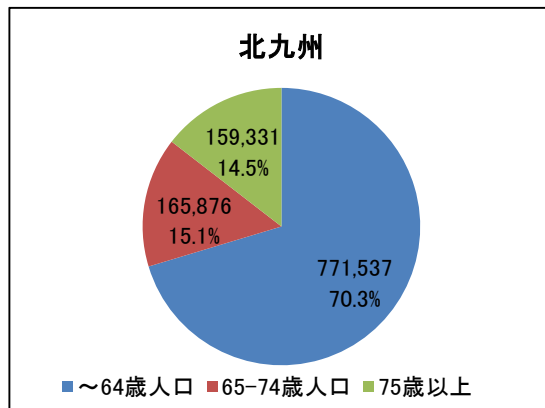
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
北九州	1,096,744	325,207	159,331	30%	56	183,240	34%	38%

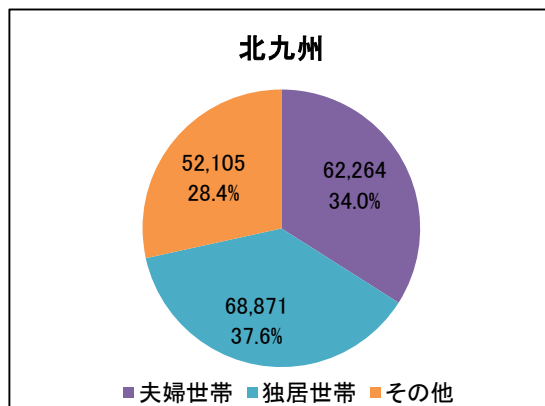
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
北九州	51,030	16%	62	22,266	44%	36

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



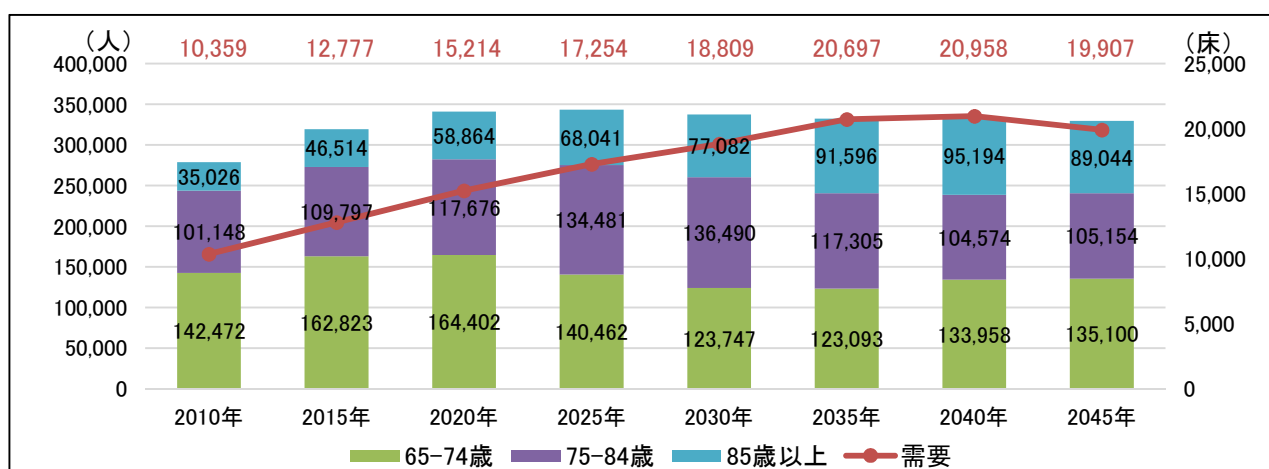
北九州

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、北九州の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が156,311(109,797+46,514)人であるが、ピーク時の2030年には213,572人まで増加すると推計され、2015年比37%増加する。

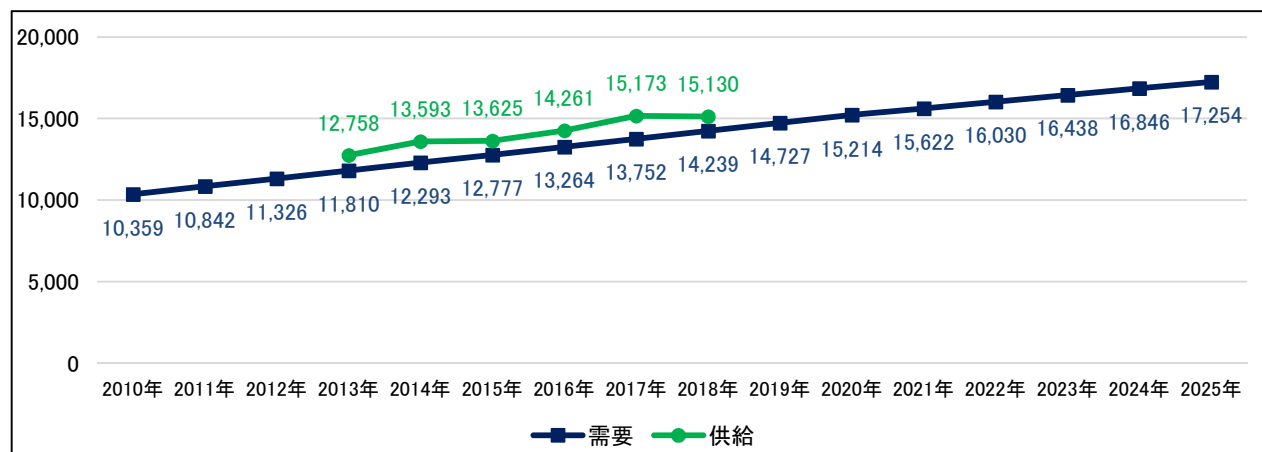
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、北九州の施設需要のピークは2040年の20,958人であり、2015年の12,777人と比べ、64%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、北九州の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要12,293人、供給13,593人と「供給>需要(+11%)」である。2018年は需要14,239人、供給15,130人と「供給>需要(+6%)」である。北九州の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、やや余裕がある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



北九州

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15,790人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,897床(偏差値51)、高齢者住宅等が5,893床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム54、軽費ホーム53、グループホーム55、サ高住(特定施設)48である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値50と全国平均レベル、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値51と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
北九州	15,790	24.4%	99	55	9,897	23.8%	62	51	5,893	25.3%	37	56

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
北九州	3,328	23.0%	21	47	5,871	25.3%	37	52	698	18.1%	4.4	52

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
北九州	3,006	25.2%	18.9	54	340	32.9%	2.1	53	2,402	24.2%	15.1	55

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
北九州	145	40.4%	0.9	48	209,785		12.9	(6.8)
					1,293	15.5%	8.1	43

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
北九州	12,536	23.8%	79	50	1,189	21.7%	7.5	51

北九州

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。在宅療養支援診療所数は偏差値57と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値57と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値61と多い。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
北九州	18	21.7%	0.1	54	187	22.9%	1.2	57

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
北九州	1,074	22.9%	97.9	57	1,301	21.6%	118.6	61

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



北九州

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値53とやや多く、訪問看護が偏差値52と全国平均レベル、通所介護が偏差値58と多い。通所リハが偏差値54とやや多く、訪問入浴が偏差値46とやや少なく、短期入所が偏差値45とやや少なく、居宅介護支援が偏差値52と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値52と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値50と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値52と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
北九州	370	24.4%	2.3	53	114	21.9%	0.7	52	575	27.1%	3.6	58

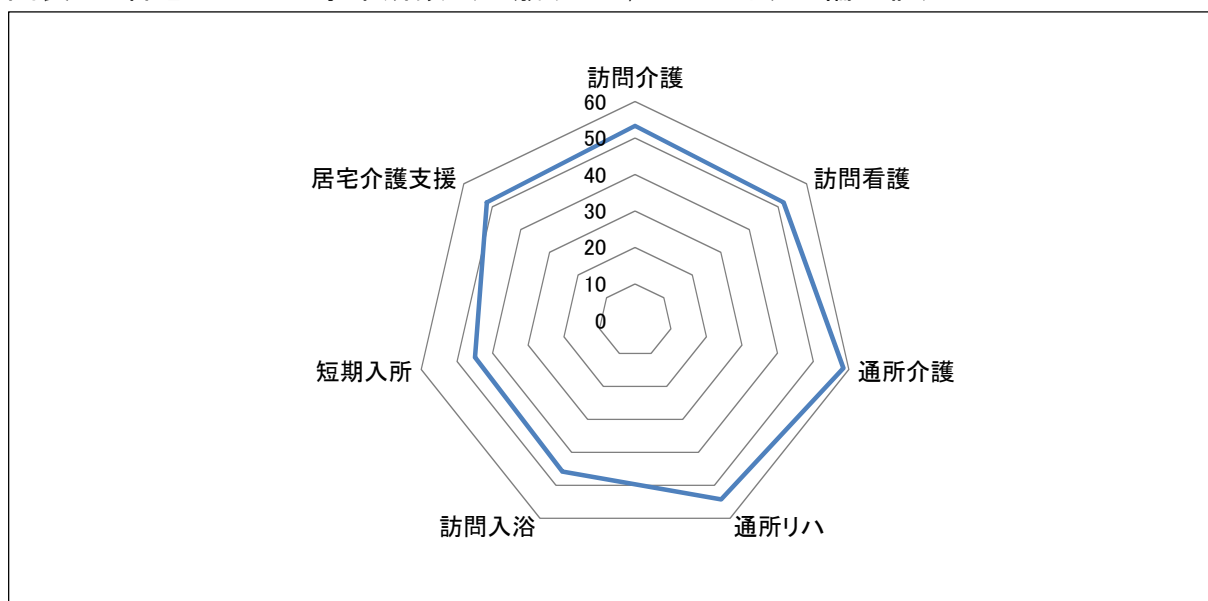
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
北九州	88	19.9%	0.6	54	13	26.5%	0.1	46	82	21.7%	0.5	45

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
北九州	414	25.5%	2.6	52

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
北九州	12,771	26.0%	80.2	52	2,120	23.8%	13.3	50	544	22.2%	3.4	52

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



京築

■ 人口動態と要介護者の現状

京築は、人口184,404人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は55,724人、高齢化率(65歳以上人口割合)は30%と高い。

要介護数(認定者)は6,627人、要介護認定率は12%と低い。うち要介護3以上は3,117人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

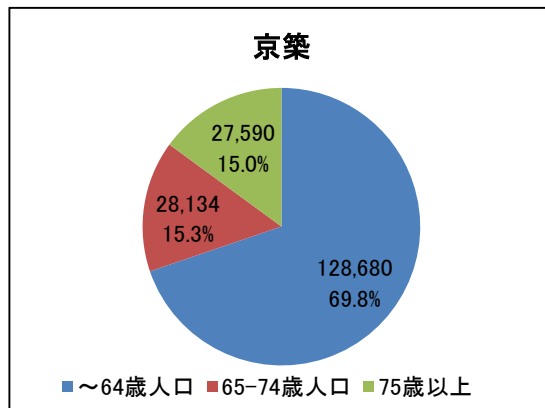
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
京築	184,404	55,724	27,590	30%	57	29,277	37%	34%

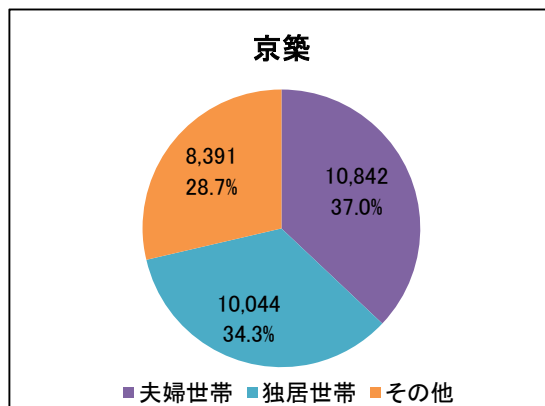
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
京築	6,627	12%	41	3,117	47%	47

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



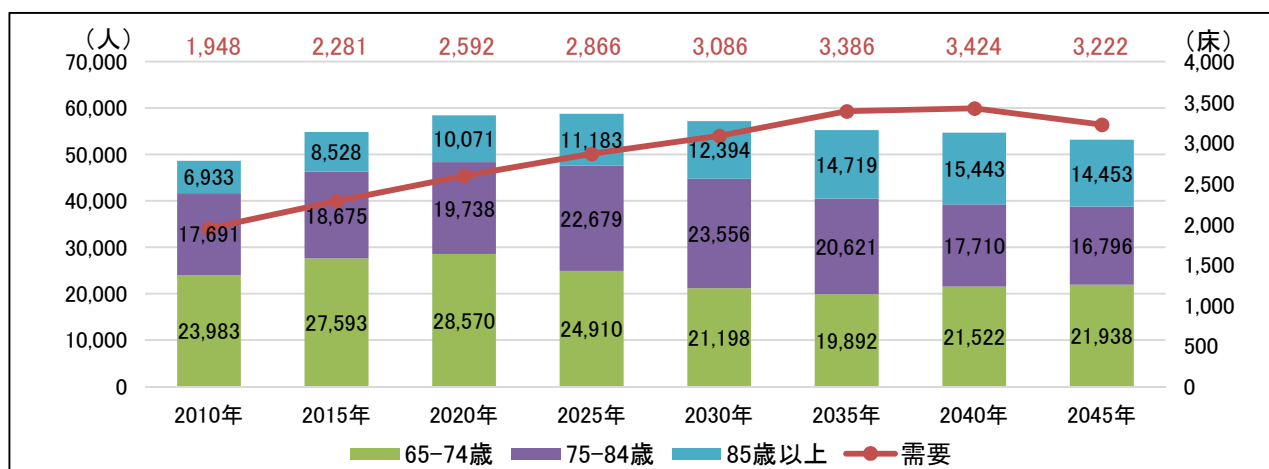
京築

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、京築の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が27,203(18,675+8,528)人であるが、ピーク時の2030年には35,950人まで増加すると推計され、2015年比32%増加する。

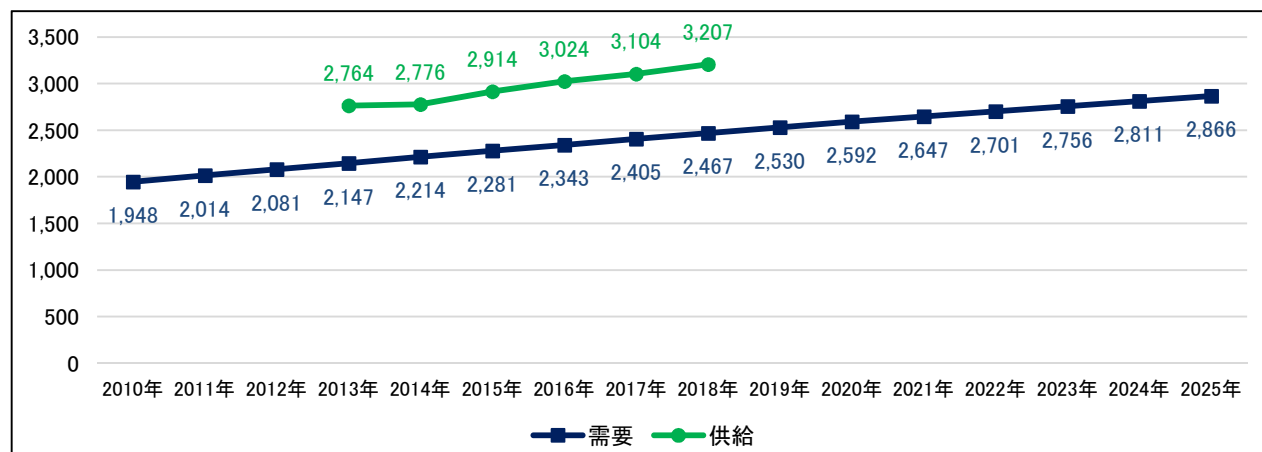
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、京築の施設需要のピークは2040年の3,424人であり、2015年の2,281人と比べ、50%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、京築の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要2,214人、供給2,776人と「供給>需要(+25%)」である。2018年は需要2,467人、供給3,207人と「供給>需要(+30%)」である。京築の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、かなり余裕のある状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



京築

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,220人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,989床(偏差値59)、高齢者住宅等が1,231床(偏差値62)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム62、軽費ホーム60、グループホーム53、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値52と全国平均レベル、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値65と全国平均レベルを上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
京築	3,220	5.0%	117	67	1,989	4.8%	72	59	1,231	5.3%	45	62

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
京築	878	6.1%	32	66	1,071	4.6%	39	54	40	1.0%	1.4	44

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
京築	745	6.2%	27.0	62	100	9.7%	3.6	60	386	3.9%	14.0	53

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

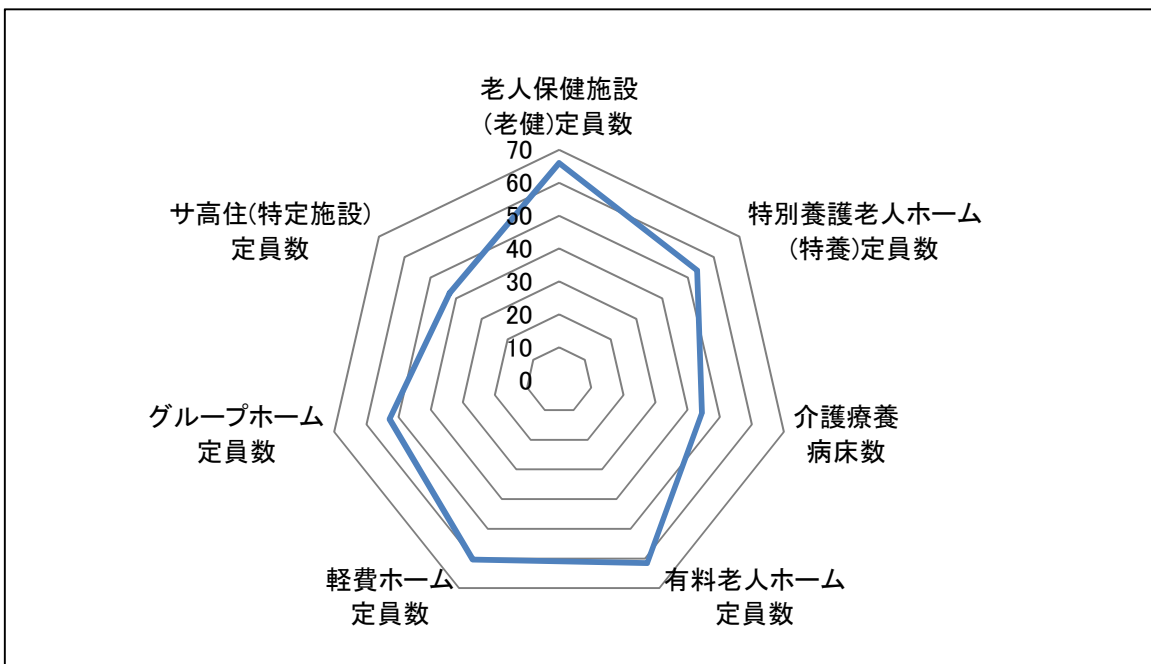
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
京築	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					245	2.9%	8.9	44

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

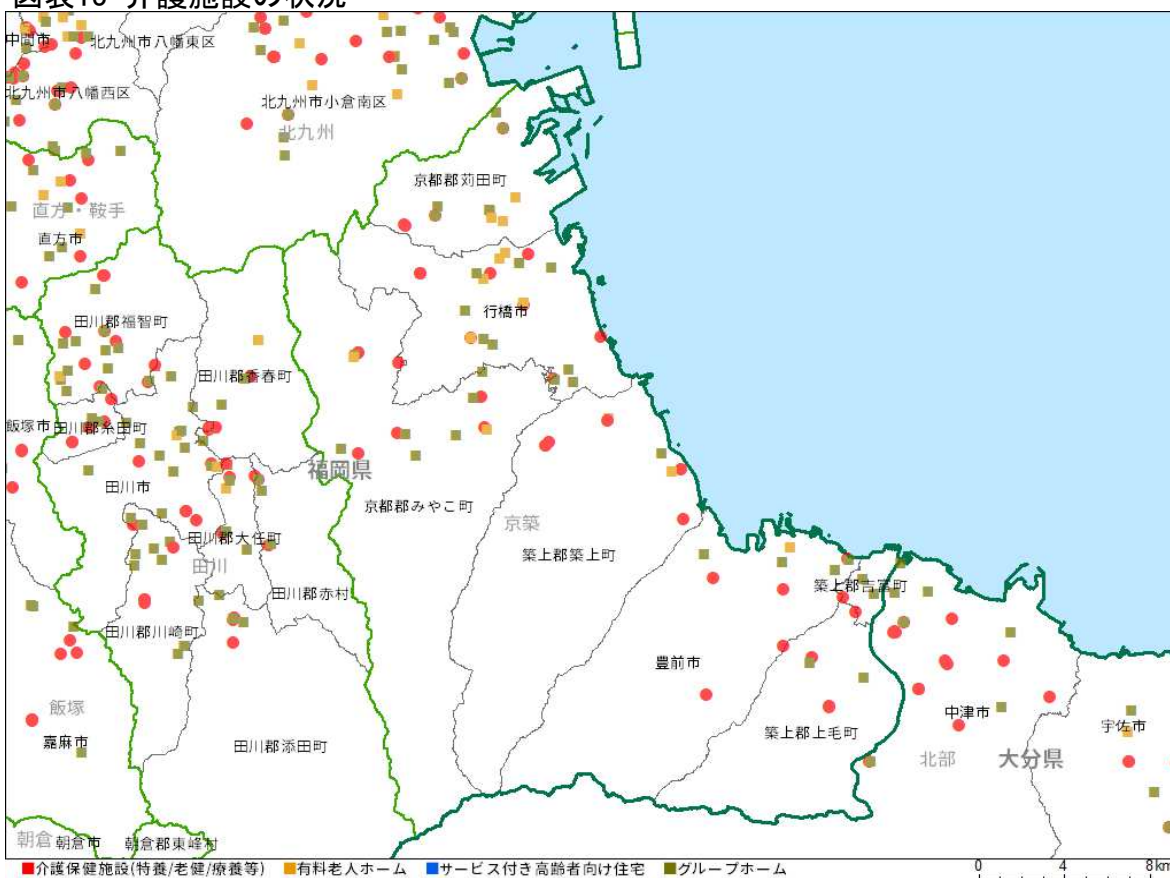
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
京築	2,227	4.2%	81	52	285	5.2%	10.3	65

京築

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



京築

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値64と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値52と全国平均レベルである。

人口当たり回復期病床は偏差値53とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値54とやや多い。

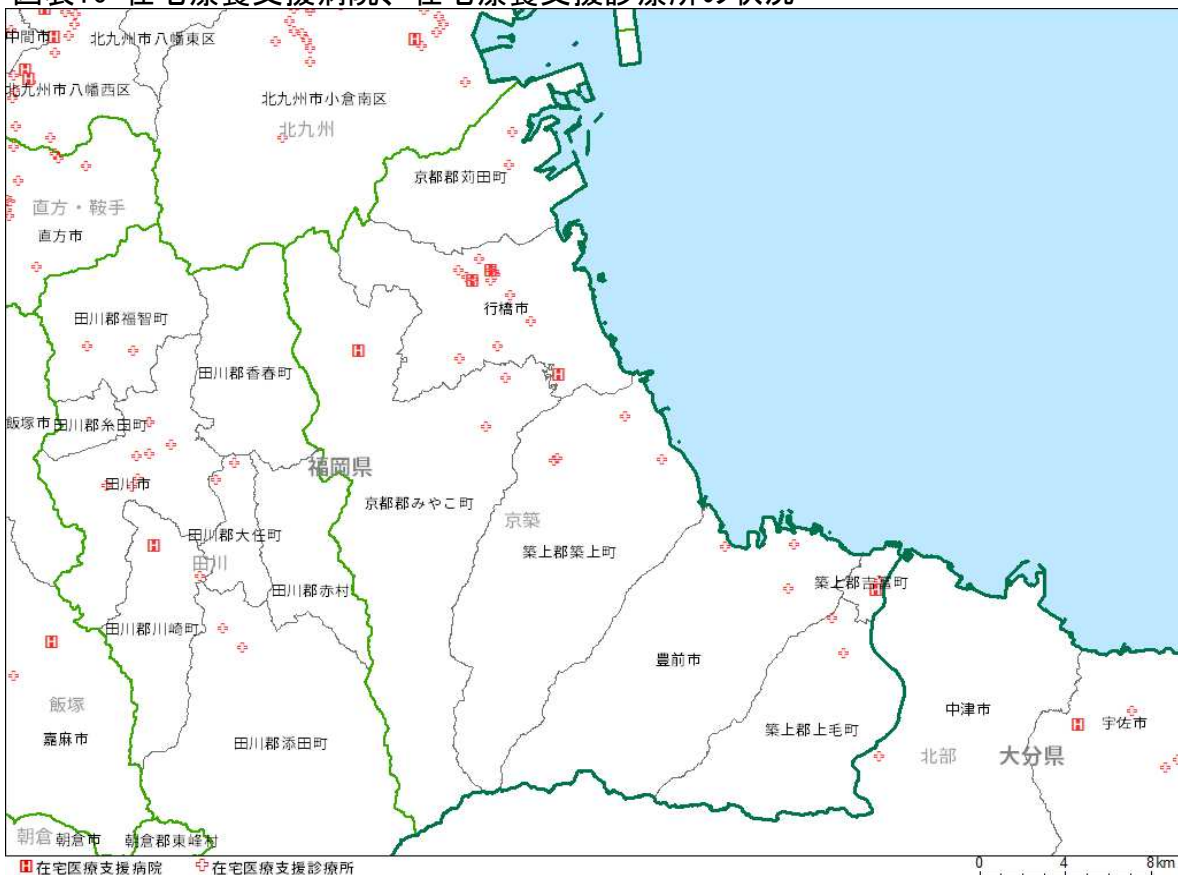
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
京築	5	6.0%	0.2	64	27	3.3%	1.0	52

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
京築	139	3.0%	75.4	53	153	2.5%	83.0	54

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



京築

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値49と全国平均レベル、訪問看護が偏差値54とやや多く、通所介護が偏差値49と全国平均レベルである。通所リハが偏差値50と全国平均レベル、訪問入浴が偏差値49と全国平均レベル、短期入所が偏差値49と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値43と少ない。訪問介護利用者数は偏差値39と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値46と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値48と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
京築	55	3.6%	2.0	49	21	4.0%	0.8	54	74	3.5%	2.7	49

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
京築	13	2.9%	0.5	50	3	6.1%	0.1	49	17	4.5%	0.6	49

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
京築	58	3.6%	2.1	43

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
京築	1,252	2.5%	45.4	39	319	3.6%	11.6	46	83	3.4%	3.0	48

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）

